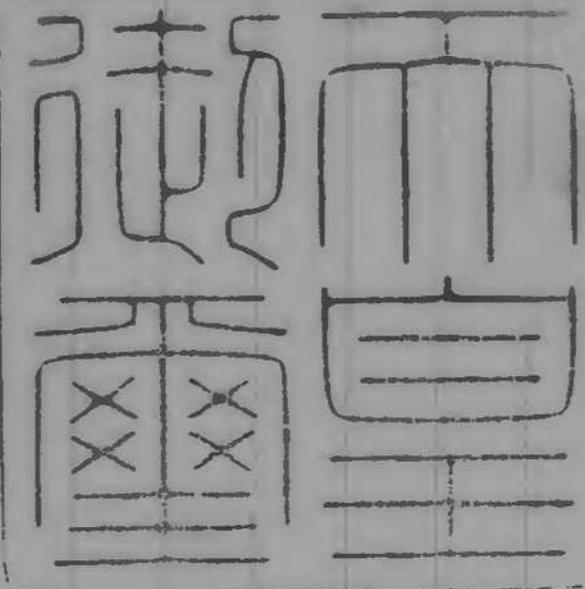


昭和三十一年十二月十二日

裕仁



千九百六十一年の麻葉に関する単一条約
をここに公布する。

(右条約の複製)

Cultural Agreement between Japan and
the United States of Brazil

The Government of Japan and the Government of the
United States of Brazil,

Inspired by the high ideals of the Charter of the
United Nations and by the traditional ties of friendship
which unite their peoples, and

Desirous of promoting and deepening the cultural
relations and understanding between the two countries,

Have decided to conclude a Cultural Agreement and
have appointed for this purpose as their respective
Plenipotentiaries:

The Government of Japan:

His Excellency Mr. Zentaro Kosaka, Minister
for Foreign Affairs of Japan,

The President of the Republic of the United States
of Brazil:

His Excellency Mr. Décio Honorato de Moura,
Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary
of Brazil in Tokyo,

Who, having communicated to each other their full
powers, found to be in good and due form, have agreed upon
the following provisions:

内閣総理大臣 佐々栄作

条約第二十二号

千九百六十一年の麻薬に関する単一条約

前文

締約国は、

人類の健康及び福祉に思いをいたし、

麻薬の医療上の使用が苦痛の軽減のために依然として不可欠であること及びこの目的のための麻薬の入手を確保するために適切な措置を執らなければならないことを認め、

麻薬の中毒が個人にとつて重大な害悪であり、人類に対する社会的及び経済的な危険を伴うものであることを認め、

この害悪を防止し、かつ、これと戦う締約国の義務を自覚し、

麻薬の濫用に対する措置が効果的であるためには、協同して、かつ、世界的規模で行動することが必要であることを考慮し、

世界的規模におけるそのような行動には、同一の原理によつて導かれ、かつ、共通の目標を有する国際協力が必要であると了解し、

麻薬統制の分野における国際連合の権限を認め、また、関係国際機関が国際連合の枠内にあることを希望し、

麻薬に関する現行の諸条約に代わる普遍的に受け入れられる国際条約であつて、麻薬の使用を医療上及び学術上の目的に制限し、かつ、前記の目標に到達するための継続的な国際協

力及び国際統制について規定するものを締結することを希望して、ここに次のとおり協定する。

第一条 定義

1 この条約においては、別段の明文の規定がある場合又は文脈により異なつた意味に解釈しなければならぬ場合を除くほか、次の定義に従う。

- (a) 「統制委員会」とは、国際麻薬統制委員会をいう。
- (b) 「大麻」とは、名称のいかんを問わず、大麻植物の花又は果実のついた枝端で樹脂が抽出されていないもの（枝端から離れた種子及び葉を除く。）をいう。
- (c) 「大麻植物」とは、カンナビス属の植物をいう。
- (d) 「大麻樹脂」とは、粗のものであると精製したものであるとを問わず、大麻植物から得た樹脂で分離されているものをいう。
- (e) 「コカ樹」とは、エリスロキシロン属の植物をいう。
- (f) 「コカ葉」とは、コカ樹の葉（すべてのエクゴニン、コカインその他のエクゴニンアルカロイドを除去したものを除く。）をいう。
- (g) 「麻薬委員会」とは、理事会の麻薬委員会をいう。
- (h) 「理事会」とは、国際連合の経済社会理事会をいう。
- (i) 「栽培」とは、けし、コカ樹又は大麻植物の栽培をいう。

(j) 「薬品」とは、天然のものであると合成のものであるとを問わず、附表I及び附表IIに掲げる物質をいう。

(k) 「総会」とは、国際連合の総会をいう。

(l) 「不正取引」とは、この条約の規定に違反する栽培又は薬品の取引をいう。

(m) 「輸入」及び「輸出」とは、それぞれの語意において、いずれかの国から他の国へ、又は同一の国のいずれかの領域から他の領域へ薬品を現実に輸送することをいう。

(n) 「製造」とは、薬品を得るためのすべての工程（生産を除くものとし、精製及び薬品の他の薬品への転換を含む。）をいう。

(o) 「薬用あへん」とは、医薬としての使用に適應させるために必要な工程を経たあへんをいう。

(p) 「あへん」とは、けしの液汁の凝固したものをいう。

(q) 「けし」とは、パバヴェル・ソムニフェルム・L種の植物をいう。

(r) 「けしがら」とは、刈取り後のけしのすべての部分（種子を除く。）をいう。

(s) 「製剤」とは、薬品を含有する混合物で固体又は液体のものをいう。

(t) 「生産」とは、あへん、コカ葉、大麻又は大麻樹脂をそれらが得られる植物から分離することを含む。

(u) 「附表I」、「附表II」、「附表III」及び「附表IV」とは、この条約に附属する薬品又は

製剤の表でそれぞれ対応する番号を附したもの（第三条の規定に従つて改正された場合には改正後のもの）をいう。

四

- (v) 「事務総長」とは、国際連合事務総長をいう。
- (w) 「特殊在庫量」とは、いずれかの国又は領域の政府が政府の特殊な目的のため及び例外的事態に應ずるためにその国又は領域に保有する薬品の数量をいう。「特殊な目的」という表現は、この規定の趣旨に従つて解釈するものとする。
- (x) 「在庫量」とは、いずれかの国又は領域に保有される薬品で(i)から(iii)までに掲げる用途に供されるものの数量をいう。ただし、(iv)及び(v)に掲げるものを除く。
- (i) その国又は領域における医療上及び学術上の目的のための消費
- (ii) その国又は領域における薬品その他の物質の製造のための使用
- (iii) 輸出
- (iv) 小売薬剤師その他の許可を受けた小口分配業者及び正当に許可を受けて治療又は学術研究の業務に従事する施設又は有資格者が保有する数量
- (v) 特殊在庫量として保有される数量
- (y) 「領域」とは、国の一部分であつて、第三十一条に定める輸入証明書及び輸出許可書の制度の適用上個別の単位として取り扱われるものをいう。この定義は、第四十二条及び

が第四十六条に用いる「領域」の語には、適用しない。

- 2 この条約の適用上、薬品が小口分配、医療上の使用又は学術研究のためにいずれかの国又は企業に供給されたときは、その薬品は、消費されたものとみなす。「消費」の語は、この規定の趣旨に従つて解釈するものとする。

第二条 統制を受ける物質

- 1 附表Iに掲げる薬品は、特定の薬品に限つて適用される統制措置を除くほか、この条約に基づいて薬品に適用されるすべての統制措置、特に第四条(c)、第十九条、第二十条、第二十一条、第二十九条、第三十条、第三十一条、第三十二条、第三十三条、第三十四条及び第三十七条に定める統制措置の適用を受けるものとする。
- 2 附表IIに掲げる薬品は、小口取引について第三十条2及び同条5に定める措置を除くほか、附表Iに掲げる薬品に適用される統制措置と同一の統制措置の適用を受けるものとする。
- 3 附表IIIに掲げる製剤以外の製剤は、その含有する薬品に適用される統制措置と同一の統制措置の適用を受けるものとする。ただし、これらの製剤については、その薬品に関する見積り（第十九条）及び統計（第二十条）と別個の見積り及び統計を必要とせず、また、第二十九条2(c)及び第三十条1(b)(ii)の規定を適用することを要しない。
- 4 附表IIIに掲げる製剤は、附表IIに掲げる薬品を含有する製剤に適用される統制措置と同

五

一の統制措置の適用を受けるものとする。ただし、これらの製剤については、第三十一条1(b)及び同条3から15までの規定を適用することを要せず、また、これらの製剤に係る見積り(第十九条)及び統計(第二十条)については、必要な資料は、これらの製剤の製造に使用される薬品の数量に関するものに限られる。

5 附表IVに掲げる薬品は、附表Iにも含まれるものとし、附表Iに掲げる薬品に適用されるすべての統制措置の適用を受けるものとする。さらに、

(a) 締約国は、これらの薬品の特に危険な特性に照らして必要であると認める特別の統制措置を執るものとし、また、

(b) 締約国は、自国における一般的状況から判断して、これらのいかなる薬品についてもその生産、製造、輸出、輸入、取引、所持又は使用を禁止することが公衆の健康及び福祉を保護するために最も適した手段であると認めるときは、これらの行為を禁止するものとする。ただし、医療上及び学術上の研究(締約国の直接の監督及び管理の下に又はこれに従って行なわれる臨床試験を含む。)にのみ必要なこれらの薬品の数量については、この限りでない。

6 附表Iに掲げるすべての薬品に適用される統制措置のほか、あへんは第二十三条及び第二十四条の規定の適用を受け、コカ葉は第二十六条及び第二十七条の規定の適用を受け、

大麻は第二十八条の規定の適用を受けるものとする。

7 けしは第二十二條から第二十四條までに定める統制措置の適用を受け、コカ樹は第二十二條、第二十六條及び第二十七條に定める統制措置の適用を受け、大麻植物は第二十二條及び第二十八條に定める統制措置の適用を受け、けしからは第二十五條に定める統制措置の適用を受け、大麻の葉は第二十八條に定める統制措置の適用を受けるものとする。

8 締約国は、この条約の適用を受けない物質で薬品の不正な製造に使用されるおそれがあるものに対して実行可能な監督措置を執るため、最善の努力を払うものとする。

9 締約国は、医療上及び学術上の目的以外の目的で産業上一般に使用される薬品に対してこの条約の規定を適用することを要求されない。ただし、次のことを条件とする。

(a) 適当な変質法その他の手段により、確実に、そのように使用される薬品が濫用され又は悪影響を及ぼすおそれ(第三条3)がないようにし、かつ、有害な物質を実際に回収することができないようにすること。

(b) 自国が提出する統計資料(第二十条)中に、そのように使用される各薬品の数量をも記載すること。

第三条 統制範囲の変更

1 締約国又は世界保健機関は、その有する資料によりいずれかの附表の改正が必要である

と認める場合には、事務総長に対し、その旨を通告し、かつ、その通告の裏付けとなる資料を提出するものとする。

2 事務総長は、前記の通告及び関係があると認める資料を締約国、麻薬委員会及び、その通告が締約国によつて行なわれたときは、世界保健機関に送付する。

3 通告が附表 I 又は附表 II に掲げられていない物質に関するものである場合には、

(i) 締約国は、入手することができる資料に照らし、附表 I に掲げる薬品に適用されるすべての統制措置をその物質に暫定的に適用することの可能性を検討するものとする。

(ii) 麻薬委員会は、(iii) に定める決定が行なわれるまでの間、附表 I に掲げる薬品に適用されるすべての統制措置を締約国がその物質に暫定的に適用すべきことを決定することができる。締約国は、その措置をその物質に暫定的に適用するものとする。

(iii) 世界保健機関は、その物質が附表 I 若しくは附表 II に掲げる薬品と同様の濫用のおそれがあり、かつ、同様の悪影響を及ぼすものであると認め、又はその物質が薬品に転換されうるものであると認めた場合には、その旨を麻薬委員会に通知する。麻薬委員会は、世界保健機関の勧告に従い、その物質を附表 I 又は附表 II に加えることを決定することができる。

4 いずれかの製剤が、その含有する物質のために、濫用のおそれがなく、かつ、悪影響を及ぼさず（この条 3）、さらに、その製剤中の薬品を容易に回収することができないものであると世界保健機関が認めた場合には、麻薬委員会は、世界保健機関の勧告に従い、その製剤を附表 III に加えることができる。

5 附表 I に掲げるいずれかの薬品が濫用され及び悪影響を及ぼすおそれ（この条 3）の著しいものであり、かつ、そのおそれが附表 IV に掲げる薬品以外の他の物質には存しない実質的な治療上の利点より大きいと世界保健機関が認めた場合には、麻薬委員会は、世界保健機関の勧告に従い、その薬品を附表 IV に加えることができる。

6 通告が附表 I 若しくは附表 II に掲げる薬品又は附表 III に掲げる製剤に関するものである場合には、麻薬委員会は、5 に定める措置のほか、世界保健機関の勧告に従い、次の方法によりいずれの附表をも改正することができる。

(a) 附表 I から附表 II へ、又は附表 II から附表 I へ薬品を転記すること。

(b) 附表から薬品又は製剤を削ること。

7 麻薬委員会がこの条の規定に基づいて行なういずれの決定も、事務総長により、すべての国際連合加盟国、国際連合の非加盟国であるこの条約の締約国、世界保健機関及び統制委員会に通告される。この決定は、各締約国がその通告を受領した日にその締約国について効力を生ずるものとし、その場合には、締約国は、この条約によつて要求される措置を

執るものとする。

8 (a) 麻薬委員会が行なつたいずれかの附表を改正する決定は、いずれかの締約国が、その決定の通告を受領した日から九十日以内に、要請を行なつたときは、理事会の審査を受けるものとする。審査の要請は、その基礎となつていゝるすべての関係資料とともに事務総長に送付するものとする。

(b) 事務総長は、審査の要請及び関係資料の写しを麻薬委員会、世界保健機関及びすべての締約国に送付し、九十日以内に意見を提出するよう要請する。事務総長が受領したすべての意見は、審議のために理事会に提出される。

(c) 理事会は、麻薬委員会の決定を確認し、変更し、又は取り消すことができるものとし、理事会の決定は、最終的なものとする。理事会の決定の通告は、すべての国際連合加盟国、国際連合の非加盟国であるこの条約の締約国、麻薬委員会、世界保健機関及び統制委員会に送付される。

(d) 審査が行なわれている間、麻薬委員会の最初の決定は、なお効力を有する。

9 この条の規定に従つて行なわれる麻薬委員会の決定は、第七条に規定する審査の手續を受けない。

第四条 一般的義務

締約国は、次のことを行なうために必要な立法上及び行政上の措置を執るものとする。

(a) 自国の領域においてこの条約の規定を実施すること。

(b) この条約の規定の実施にあたり他の国と協力すること。

(c) この条約の規定に従うことを条件として、薬品の生産、製造、輸出、輸入、分配、取引、使用及び所持を医療上及び学術上の目的にのみ制限すること。

第五条 国際統制機関

締約国は、薬品の国際統制に関する国際連合の権限を認め、この条約によつて経済社会理事会の麻薬委員会及び国際麻薬統制委員会にそれぞれ割り当てられた任務をこれらの機関に委託することに同意する。

第六条 国際統制機関の経費

麻薬委員会及び統制委員会の経費は、総会が決定する方法で国際連合が負担する。国際連合加盟国でない締約国は、総会が公平と認め、かつ、これらの締約国の政府と協議して随時決定する額をこれらの経費に充てるため分担するものとする。

第七条 麻薬委員会の決定及び勧告の審査

第三条の規定に基づく決定を除くほか、この条約の規定に基づいて麻薬委員会が採択した決定又は勧告は、麻薬委員会の他の決定又は勧告と同様に、理事会又は総会による承認又は

修正を受けるものとする。

第八条 麻薬委員会の任務

麻薬委員会は、この条約の目的に関するすべての事項を審議する権限を有し、特に次のことを行なう権限を有する。

- (a) 第三条の規定に従つて附表を改正すること。
- (b) 統制委員会の任務に関係がある事項について統制委員会の注意を喚起すること。
- (c) この条約の目的の達成及び規定の実施（学術上の研究の計画及び学術的又は技術的な性質を有する資料の交換を含む。）のために勧告を行なうこと。
- (d) 麻薬委員会がこの条約に基づいて採択する決定及び勧告について、それに沿つた措置を考慮するように、非締約国の注意を喚起すること。

第九条 統制委員会の構成

- 1 統制委員会は、理事会が選挙する次の十一人の委員で構成する。
 - (a) 世界保健機関が指名する少なくとも五人の者の名簿の中から選挙する医学上、薬理学上又は薬学上の経験のある三人の委員
 - (b) 国際連合加盟国及び国際連合加盟国でない締約国が指名する者の名簿の中から選挙する八人の委員

2 統制委員会の委員は、その能力及び公平無私であることによつて一般的信任を有する者でなければならない。統制委員会の委員は、その任期中、その任務の公平な遂行を害するおそれのある地位につき、又はそのようなおそれのある活動に従事してはならない。理事会は、統制委員会と協議の上、統制委員会の任務の遂行にあつての職権行使上の完全な独立を確保するために必要なすべての措置を執るものとする。

3 理事会は、公平な地理的代表的原則に留意しつつ、生産国、製造国及び消費国における薬品の事情について知識を有し、かつ、これらの国と関係のある者を公平な割合で統制委員会に含めることの重要性について、考慮を払わなければならない。

第十条 統制委員会の委員の任期及び報酬

- 1 統制委員会の委員の任期は、三年とする。委員は、再選されることができる。
- 2 統制委員会の各委員の任期は、その後任者が出席する資格を有する統制委員会の最初の会合の日の前日に終了する。
- 3 三会期連続して会議に出席しなかつた統制委員会の委員は、辞任したものとみなす。
- 4 理事会は、統制委員会の勧告があつたときは、第九条2の規定によつて委員に要求される条件を満たさなくなつた統制委員会の委員を解任することができる。この勧告は、統制委員会の八人の委員の賛成投票によつて行なう。

5 任期中の委員について統制委員会に欠員を生じた場合には、理事会は、第九条の關係規定に従つてその残りの任期について他の委員を選挙することにより、できる限りすみやかにその欠員を補充する。

6 統制委員会の委員は、總會が決定する妥当な額の報酬を受ける。

第十一条 統制委員会の手続規則

1 統制委員会は、議長及び必要と認める他の役員を選挙し、並びにその手続規則を採択する。

2 統制委員会は、その任務の適正な遂行上必要であると認める回数 of 会合を開催する。ただし、曆年ごとに少なくとも二回の会議を開催しなければならない。

3 統制委員会の会議に必要な定足数は、七人とする。

第十二条 見積制度の運用

1 統制委員会は、第十九条に定める見積りを提出する期限、方法及びその書式を定める。

2 統制委員会は、この条約が適用されない国及び領域につき、この条約の規定による見積りを提出するようこれらの国及び領域の政府に要請する。

3 いずれかの国がそのいずれかの領域についての見積りを定められた期限までに提出しないときは、統制委員会は、できる限りその見積りを作成するものとし、その見積りの作成

にあつては、実行可能な限度でその国の政府と協力するものとする。

4 統制委員会は、見積り（補足見積りを含む。）を検討するものとし、また、特殊な目的のための需要に関する見積りを除くほか、見積りが提出された国又は領域につき、その見積りを完全なものにし又はそれに含まれている事項を説明するために必要であると認める資料を要求することができる。

5 統制委員会は、できる限りすみやかに見積り（補足見積りを含む。）を確認するものとし、關係政府の同意を得たときは、その見積りを修正することができる。

6 統制委員会は、第十五条の報告のほか、少なくとも毎年一回、自己が定める時期に、見積りに関する資料でこの条約の実施に役だつと認めるものを発表する。

第十三条 統計報告制度の運用

1 統制委員会は、第二十条に定める統計報告を提出する方法及びその書式を定める。

2 統制委員会は、締約国又は他のいずれかの国がこの条約の規定に従つていかどうかを決定するため、統計報告を検討する。

3 統制委員会は、前記の統計報告に含まれている資料を完全なものにし又は説明するため必要であると認める資料をさらに要求することができる。

4 特殊な目的のために必要な薬品に関する統計資料について質問し又は意見を表明するこ

とは、統制委員会の権限外とする。

第十四条 この条約の規定の実施を確保するために統制委員会が執る措置

1 (a) 統制委員会は、この条約の規定に基づいて諸国の政府から統制委員会に提出された資料又は国際連合の機関からこの条約の規定の下で生じた問題に関して通知された資料を検討した結果、いずれかの国又は領域がこの条約の規定を実施していないためこの条約の目的がそこなわれるおそれが大であると信ずるに足りる理由を有するときは、その国又は領域の政府に対して説明を求め権利を有する。統制委員会は、(c)に規定する当該事件について締約国、理事会及び麻薬委員会の注意を喚起する権利を留保して、この(a)の規定に基づく資料の要求又はいずれかの政府の説明を極秘のものとして取り扱わなければならない。

(b) 統制委員会は、(a)の規定に基づく措置を執つた後、必要と認めるときは、この条約の規定を実施するために当該状況の下で必要と認められる是正措置を執るよう関係政府に求めることができる。

(c) 統制委員会は、関係政府が(a)の規定に基づいて説明を求められて十分な説明を行わず、又は(b)の規定に基づいて求められた是正措置を執らなかつたと認めるときは、当該事件について、締約国、理事会及び麻薬委員会の注意を喚起することができる。

2 統制委員会は、1(c)の規定に従いいずれかの事件について締約国、理事会及び麻薬委員会の注意を喚起する場合において、必要と認めるときは、当該国若しくは当該領域からの薬品の輸入、そこへの薬品の輸出又はその双方を一定の期間又は統制委員会が当該国若しくは当該領域における事情について満足するまでの間停止するよう締約国に勧告することができる。関係国は、当該事件を理事会に提出することができる。

3 統制委員会は、この条の規定に基づいて処理したいずれの事件についても報告を公表し及びそれを理事会に通知する権利を有し、理事会は、それをすべての締約国に送付する。統制委員会は、この条の規定に基づいて行なつた決定又はそれに関連する資料を前記の報告の中で公表する場合において関係政府が要請したときは、その政府の意見をもその報告の中で公表しなければならない。

4 この条の規定に基づいて公表される統制委員会の決定が全会一致によるものでない場合には、少数意見をも公表しなければならない。

5 いずれの国も、自国に直接関係のある問題がこの条の規定に基づいて審議される統制委員会に代表者を出席させるよう招請されるものとする。

6 この条の規定に基づく統制委員会の決定は、委員の全員の三分の二の多数によつて行なう。

第十五条 統制委員会の報告

一八

- 1 統制委員会は、その業務に関する年次報告及び必要と認める追加の報告を作成する。これらの報告には、統制委員会が自由に利用しうる見積り及び統計資料を分析して得た結果並びに、適当な場合には、諸国の政府が自発的に又は要求を受けて行なつた説明の記述並びに統制委員会が附することを希望する自己の意見及び勧告をその内容として含ませるものとする。これらの報告は、麻薬委員会を通じて理事会に提出するものとし、麻薬委員会は、適切と認める意見を附することができる。
- 2 前記の報告は、事務総長が締約国に通知し、その後公表する。締約国は、その無制限の配布を許すものとする。

第十六条 事務局

麻薬委員会及び統制委員会の事務局の役務は、事務総長が提供する。

第十七条 特別の行政機関

締約国は、この条約の規定を実施するため、特別の行政機関を維持しなければならない。

第十八条 締約国が事務総長に提出する資料

- 1 締約国は、麻薬委員会がその任務の遂行上必要なものとして要請する資料、特に次の資料を事務総長に提出しなければならない。

- (a) 自国の各領域におけるこの条約の運用に関する年次報告
 - (b) この条約を実施するために随時公布されるすべての法令の条文
 - (c) 不正取引の事件に関して麻薬委員会が定める事項（発覚した不正取引の事件のうち、不正取引のための薬品の入手源の解明に役だつ資料があるために、又はその不正取引の数量若しくは不正取引をした者が用いた方法から見て重要である各事件の詳細を含む。）
 - (d) 輸出及び輸入の許可書又は証明書を発給する権限のある政府当局の名称及び所在地
- 2 締約国は、1の資料を、麻薬委員会が要請する方法により、その要請する期限までに、その要請する書式を用いて提出する。

第十九条 薬品需要量の見積り

- 1 締約国は、毎年、統制委員会に対し、自国の各領域についての次の事項に関する見積りを、統制委員会が定める方法により、その支給する用紙を用いて提出しなければならない。
 - (a) 医療上及び学術上の目的のために消費される薬品の数量
 - (b) 他の薬品、附表Ⅲに掲げる製剤及びこの条約の適用を受けない物質を製造するために使用される薬品の数量
 - (c) 当該見積りに係る年の十二月三十一日に保有されるべき薬品の在庫量
 - (d) 特殊在庫量を増加するために必要な薬品の数量

一九

- 2 第二十一条3に規定する控除を受けることを条件として、各領域及び各薬品についての見積りの総計は、1(a)、(b)及び(d)に規定する数量の合計に、当該見積りに係る年の前年の十二月三十一日現在の現実の在庫量を1(c)の規定による見込数量の水準まで引き上げるために必要な数量を加えた数量とする。
- 3 いずれの国も、当該見積りに係る年において、補足見積りを、それを必要とする事情の説明を附して、提出することができる。
- 4 締約国は、見積りに示された数量を決定するために使用した方法及びその方法のいかなる変更をも統制委員会に通報しなければならない。
- 5 第二十一条3に規定する控除を受けることを条件として、見積りを超過することは、許されない。

第二十条 統制委員会に提出する統計報告

- 1 締約国は、統制委員会に対し、自国の各領域についての次の事項に関する統計報告を、統制委員会が定める方法により、その支給する用紙を用いて提出しなければならない。
 - (a) 薬品の生産又は製造
 - (b) 他の薬品、附表Ⅲに掲げる製剤及びこの条約の適用を受けない物質を製造するための薬品の使用並びに薬品を製造するためのけしがらの使用

- (c) 薬品の消費
- (d) 薬品及びけしがらの輸入及び輸出
- (e) 薬品の押収及び押収した薬品の処分
- (f) 報告に係る年の十二月三十一日における薬品の在庫量
 - 2 (a) 1(d)を除く。)に掲げる事項に関する統計報告は、毎年作成し、その統計報告に係る年の翌年の六月三十日までに統制委員会に提出するものとする。
 - (b) 1(d)に掲げる事項に関する統計報告は、四半期ごとに作成し、その統計報告に係る四半期の終了後一箇月以内に統制委員会に提出するものとする。
 - 3 締約国は、1に掲げる事項のほか、可能な限度において、自国の各領域についてあへんの生産のための栽培が行なわれた面積(ヘクタールで表わすものとする。)に関する資料を統制委員会に提出することができる。
 - 4 締約国は、特殊在庫量に関する統計報告の提出を要求されない。ただし、締約国は、特殊な目的のためにその国若しくは領域に輸入し又はそこで入手した薬品に関する報告及び一般国民の需要に應ずるために特殊在庫量から引き出した薬品の数量に関する報告を別に提出しなければならない。

第二十一条 製造及び輸入の制限

- 1 いずれかの国又は領域がいずれかの年において製造し及び輸入する各薬品の数量の総計は、次の数量の合計をこえてはならない。
 - (a) 該当する見積りの限度内で医療上及び学術上の目的のために消費される数量
 - (b) 該当する見積りの限度内で他の薬品、附表Ⅲに掲げる製剤及びこの条約の適用を受けない物質を製造するために使用される数量
 - (c) 輸出される数量
 - (d) 在庫量を該当する見積りに記載された水準まで引き上げるためにその在庫量に加えられる数量
 - (e) 該当する見積りの限度内で特殊な目的のために取得される数量
- 2 押収され、かつ、正当な使用のために放出された数量及び一般国民の需要のために特殊在庫量から引き出された数量は、1に掲げる数量の合計から控除するものとする。
- 3 いずれかの年において製造され及び輸入された数量が1に掲げる数量の合計から2の規定に基づいて控除される数量を差し引いた数量をこえると統制委員会が認めるときは、その年の末に残存するそのように認められた超過量は、翌年において、製造され又は輸入される数量及び第十九条2に定める見積りの総計から控除するものとする。
- 4 (a) 輸入又は輸出に関する統計報告(第二十條)により、いずれかの国又は領域に輸出さ

れた数量が、その国又は領域についての第十九条2に定める見積りの総計にその国又は領域から輸出された数量として記入されている数量を加え、かつ、3に規定する超過量を控除した数量をこえていることが明らかである場合には、統制委員会は、知らせておくべきであると認める国にこの事実を通告することができる。

- (b) 締約国は、前記の通告を受領したときは、その年においては、その国又は領域への当該薬品のその後の輸出を許可してはならない。ただし、次の場合は、この限りでない。
 - (i) 当該国又は領域について過剰輸入量及び追加需要量の双方に関する補足見積りが提出された場合
 - (ii) 輸出が医療上不可欠であると輸出国の政府が認める例外的な場合

第二十二條 栽培に適用される特別規定

締約国は、自国又はその領域における一般的状态から判断して、けし、コカ樹又は大麻植物の栽培を禁止することが公衆の健康及び福祉を保護し並びに薬品が不正取引に向けられることを防止するために最も適した措置であると認めるときは、栽培を禁止しなければならない。

第二十三條 国のあへん機関

- 1 あへんの生産のためのけしの栽培を許す締約国は、この条に定める任務を遂行する一又

は二以上の政府機関（以下この条において「機関」という。）を、それがまだ設置されていない場合にはそれを設置した上で、維持しなければならない。

2 前記の各締約国は、あへんの生産のためのけしの栽培及びあへんについて次の規定を適用しなければならない。

- (a) 機関は、あへんの生産のためのけしの栽培を許す地域及び土地を指定しなければならない。
- (b) 機関が免許を与える栽培者のみが、前記の栽培に従事することを許されるものとする。
- (c) 各免許証には、栽培を許す土地の面積を明記するものとする。
- (d) すべてのけしの栽培者は、収穫したすべてのあへんを機関に納入することを要求されるものとする。機関は、できる限りすみやかに、おそくとも収穫の終了後四箇月以内に、前記の収穫したあへんを買い上げ、かつ、これを占有しなければならない。
- (e) 機関は、あへんに関し、輸入、輸出及び卸取引を行ない、並びに在庫量（あへんアルカロイド、薬用あへん又はあへん製剤の製造業者が保有するものを除く。）を保有する独占的権利を有するものとする。締約国は、この独占的権利を薬用あへん及びあへん製剤に及ぼすことを要しない。

3 2に定める政府の任務は、当該締約国の憲法上許容される場合には、単一の政府機関が

遂行しなければならない。

第二十四条 国際取引に向けられるあへんの生産の制限

1 (a) いずれの締約国も、あへんの生産を開始し又はその現在の生産を従来よりも増加しようとするときは、自国のあへんの生産の結果世界におけるあへんの生産過剰を生ずることがないようにするため、統制委員会が公表する見積りによるその時の世界のあへんの需要量を考慮に入れなければならない。

(b) 締約国は、その領域におけるあへんの生産又はその生産の増加の結果あへんの不正取引を生ずるおそれがあると認めるときは、あへんの生産を許し、又はその生産を増加してはならない。

2 (a) 1の規定に従うことを条件として、千九百六十一年一月一日においてあへんを輸出のために生産していなかった締約国がその生産するあへんを年間五トンを限度として輸出することを希望するときは、その締約国は、次の事項に関する資料を附して、その旨を統制委員会に通告しなければならない。統制委員会は、この通告を承認することも、また、当該締約国に対して輸出のためのあへんの生産に従事しないよう勧告することもできる。

(i) 生産され、かつ、輸出されるあへんについてこの条約に基づいて実施されている統

- (ii) 当該締約国が前記のあへんを輸出しようとしている国の名称
- (b) 3に規定する締約国以外の締約国が年間五トンをこえる数量のあへんを輸出のために生産することを希望するときは、その締約国は、次の事項を含む関係資料を附して、その旨を理事会に通告しなければならず、理事会は、この通告を承認することも、また、当該締約国に対して輸出のためのあへんの生産に従事しないよう勧告することもできる。
 - (i) 輸出のために生産される数量の見積り
 - (ii) 生産されるあへんに関する実施中又は計画中の統制
 - (iii) 当該締約国が前記のあへんを輸出しようとしている国の名称
- 3 2(a)及び(b)の規定にかかわらず、自国が生産したあへんを千九百六十一年一月一日の直前の十年間に輸出した締約国は、その生産するあへんを引き続き輸出することができる。
- 4 (a) 締約国は、次の締約国の領域で生産されたあへんを除くほか、いずれの国又は領域からもあへんを輸入してはならない。
 - (i) 3に規定する締約国
 - (ii) 2(a)に定めるところに従って統制委員会に通告した締約国

- (iii) 2(b)に定めるところに従って理事会の承認を受けた締約国
- (b) (a)の規定にかかわらず、締約国は、千九百六十一年一月一日前の十年間にあへんを生産し、かつ、輸出したいいずれの国が生産するあへんをも輸入することができる。ただし、その輸出国が第二十三条に規定する目的のために国の統制機関を設置して維持しており、かつ、その生産するあへんが不正取引に向けられないことを確保する効果的な手段を講じていることを条件とする。
- 5 この条の規定は、締約国が次のことを行なうことを妨げない。
 - (a) 自国の需要を満たすために十分な数量のあへんを生産すること。
 - (b) 不正取引において押収したあへんをこの条約の要件に従って他の締約国に輸出すること。

第二十五条 けしがらの統制

- 1 あへんの生産以外の目的のためのけしの栽培を許す締約国は、次のことを確保するため必要なすべての措置を執らなければならない。
 - (a) 前記のけしからあへんを生産しないこと。
 - (b) けしがらからの薬品の製造を十分に統制すること。
- 2 締約国は、第三十一条4から15までに規定する輸入証明書及び輸出許可書の制度をけし

がらに適用しなければならない。

3 締約国は、けしがらの輸入及び輸出に関し、第二十条1(d)及び2(b)の規定により薬品について要求されるものと同様の統計資料を提出しなければならない。

第二十六条 コカ樹及びコカ葉

1 締約国は、コカ樹の栽培を許すときは、コカ樹及びコカ葉につき、けしの統制について第二十三条に規定する統制制度と同様の統制制度を適用しなければならない。ただし、同条2(d)の規定については、同条の機関に課される義務は、収穫の終了後できる限りすみやかに収穫物を占有することのみとする。

2 締約国は、野生のコカ樹を根絶する措置をできる限り実施するものとする。締約国は、コカ樹が不法に栽培されたときは、これを廃棄しなければならない。

第二十七条 コカ葉に関する追加規定

1 締約国は、芳香剤(いかなるアルカロイドをも含有するものであつてはならない。)の調製のためのコカ葉の使用を許し、並びにそのような使用に必要な限度においてコカ葉の生産、輸入、輸出、取引及び所持を許すことができる。

2 締約国は、前記の芳香剤の調製のためのコカ葉に関しては、見積り(第十九条)及び統計資料(第二十条)を別に提出しなければならない。ただし、同一のコカ葉がアルカロイ

ド及び芳香剤の抽出のために使用され、かつ、見積り及び統計資料中にその旨が説明されている場合は、この限りでない。

第二十八条 大麻の統制

1 締約国は、大麻又は大麻樹脂の生産のための大麻植物の栽培を許すときは、大麻植物につき、けしの統制について第二十三条に規定する統制制度と同様の統制制度を適用しなければならない。

2 この条約は、もつはら産業上の目的(繊維及び種子に関する場合に限る。)又は園芸上の目的のための大麻植物の栽培には、適用しない。

3 締約国は、大麻植物の葉の悪用及び不正取引を防止するために必要な措置を執るものとする。

第二十九条 製造

1 締約国は、薬品の製造を免許制度の下に置かなければならない。ただし、その製造が国营企業によつて行なわれる場合は、この限りでない。

2 締約国は、次のことを行なわなければならない。

- (a) 薬品の製造を行ない又はそれに従事するすべての人及び企業を監督すること。
- (b) 薬品の製造を行なう事業所及びその構内を免許制度によつて監督すること。

(c) 製造することを許される薬品の種類及び数量を明記した許可書を免許を受けた薬品の製造業者が定期的に取得すべきものと定めること。もつとも、この許可書は、製剤については、必要とすることを要しない。

3 締約国は、市場の一般的状況を考慮して、薬品の製造業者の手もとにその業務の正常な遂行に必要な数量をこえる数量の薬品及びけしがらが蓄積されることを防止しなければならない。

第三十条 取引及び分配

1 (a) 締約国は、薬品の取引及び分配を免許制度の下に置かなければならない。ただし、その取引又は分配が国营企業によつて行なわれる場合は、この限りでない。

(b) 締約国は、次のことを行なわなければならない。

(i) 薬品の取引若しくは分配を行ない又はそれに従事するすべての人及び企業を監督すること。

(ii) 薬品の取引又は分配を行なう事業所及びその構内を免許制度によつて監督すること。免許制度は、製剤については、適用することを要しない。

(c) 免許に関する(a)及び(b)の規定は、治療又は学術研究の業務に従事することを正当に許可されてその業務に従事している者に対しては、適用することを要しない。

2 締約国は、また、次のことを行なわなければならない。

(a) 市場の一般的状況を考慮して、取引業者、分配業者、国营企業又は前記の正当に許可された者の手もとにその業務の正常な遂行に必要な数量をこえる数量の薬品及びけしがらが蓄積されることを防止すること。

(b) (i) 個人に対して薬品を供給し又は調剤するためには処方せんを要するものと定めるところ。この規定は、個人がその正当に許可された治療の業務に関連して合法的に取得し、使用し、調剤し、又は施用する薬品については、適用することを要しない。

(ii) 必要であり又は望ましいと認めるときは、附表Iに掲げる薬品の処方権限のある政府当局又は権限を与えられた職業団体が控付きの冊子の形で発給する公定の用紙に記入すべきものと定めること。

3 締約国は、手書き又は印刷の薬品販売の申込み文書、薬品に関する商業用の各種の広告又は説明書、薬品の包装における内包装の包み及び薬品を販売に供する場合に用いるレツテルに世界保健機関から通知された国際一般名称を表示すべきものと定めることが望ましい。

4 締約国は、必要であり又は望ましいと認めるときは、薬品の内包装又はその包みに明らかな二本の赤帯を附すべきものと定めなければならない。薬品の外包装の外側には、二本

の赤帯を附してはならない。

- 5 締約国は、薬品を販売に供する場合に用いるレッテルに正確な薬品の含有量を重量又は百分率によつて表示すべきものと定めなければならない。この規定は、個人に対して処方せんに従つて調剤される薬品については、適用することを要しない。
- 6 2及び5の規定は、附表Ⅱに掲げる薬品の小口取引又は小口分配には、適用することを要しない。

第三十一条 国際取引に関する特別規定

- 1 締約国は、いずれの国又は領域に対しても、事情を知らながら、次の条件に適合しない薬品の輸出を許してはならない。
 - (a) その国又は領域の法令に従つて行なわれること。
 - (b) その国又は領域についての第十九条2に定める見積りの総計にその国又は領域が再輸出しようとする数量を加えた数量の限度内で行なわれること。
- 2 締約国は、自由港及び自由地帯において、自国の領域の他の部分における監督及び統制と同一の監督及び統制を実施しなければならない。もつとも、一層厳重な措置を執ることを妨げない。
- 3 締約国は、次のことを行なわなければならない。

- (a) 薬品の輸入及び輸出を免許制度によつて統制すること。ただし、その輸入又は輸出が国营企業によつて行なわれる場合は、この限りでない。
- (b) 薬品の輸入若しくは輸出を行ない又はそれに従事するすべての人及び企業を監督すること。
- 4 (a) 薬品の輸入又は輸出を許す締約国は、その各輸入又は輸出（その薬品が一種類であるか二種類以上であるかを問わない。）について個別に輸入又は輸出の許可書を取得すべきものと定めなければならない。
 - (b) この許可書には、薬品の名称、国際一般名称（もしあれば）、輸入し又は輸出する数量並びに輸入業者及び輸出業者の氏名及び住所を記載し、かつ、その輸入又は輸出を行なわなければならない期間を明示するものとする。
 - (c) 輸出許可書には、また、輸入証明書（この条5）の番号及び日付並びにそれを発給した当局を記載するものとする。
 - (d) 輸入許可書は、二回以上の荷送りによる輸入を許すことができる。
- 5 締約国は、輸出許可書を発給する前に、輸入する国又は領域の権限のある当局が発給した輸入証明書でそれに掲げる薬品の輸入が承認されたことを証明するものを要求するものとし、この証明書は、輸出許可書を申請する人又は企業が提出するものとする。締約国は、

麻薬委員会が承認した様式に実行可能な限り従つて輸入証明書を作成するものとする。

6 各送り荷には、輸出許可書一通が添附されるものとし、また、輸出許可書を発給する政府は、輸入する国又は領域の政府に対し、その一通を送付するものとする。

7 (a) 輸入する国又は領域の政府は、輸入が行なわれたとき、又は輸入のために定められた期間が満了したときは、その旨の裏書きを附して、輸出許可書を輸出する国又は領域の政府に返送するものとする。

(b) その裏書きには、実際に輸入された数量を明示するものとする。

(c) 輸出許可書中に明示された数量より少ない数量が実際に輸出された場合には、権限のある当局は、その実際に輸出された数量を輸出許可書及びその公の写しに記載するものとする。

8 郵便私書箱あて又は輸出許可書に記載された者以外の者の銀行口座あての荷送りによる輸出は、禁止する。

9 保税倉庫あての荷送りによる輸出は、禁止する。ただし、輸出許可書を申請する人又は企業が提出する輸入証明書において、その送り荷を保税倉庫に入れておく目的でその輸入を承認したことを輸入国政府が証明する場合は、この限りでない。このような証明がある場合には、輸出許可書に、その送り荷がそのような目的で輸出される旨を明示しなければ

ならない。保税倉庫から出すためには、そのつど、当該保税倉庫を管轄する当局の許可を受けることを必要とし、外国を仕向地とする場合には、新規のこの条約上の輸出として取り扱う。

10 締約国の領域に入り又はその領域を出る薬品の送り荷で輸出許可書が添附されていないものは、権限のある当局が留置するものとする。

11 締約国は、他の国へ送られる薬品に対し、その送り荷がそれを運搬する輸送手段からおろされるか否かを問わず、自国の領域の通過を許してはならない。ただし、その送り荷に対する輸出許可書が当該締約国の権限のある当局に提示される場合は、この限りでない。

12 薬品の送り荷の通過を許す国又は領域の権限のある当局は、その送り荷に添附されている輸出許可書に記載された仕向地と異なる仕向地へその送り荷が転送されることを防止するため、必要なすべての措置を執らなければならない。ただし、送り荷が通過する国又は領域の政府が転送を許可する場合は、この限りでない。送り荷が通過する国又は領域の政府は、要請された転送をその国又は領域から新たな仕向地である国又は領域への輸出として取り扱う。転送が許可された場合には、7(a)及び(b)の規定は、送り荷が通過する国又は領域と最初にその送り荷を輸出した国又は領域との間にも適用する。

13 薬品の送り荷に対しては、通過中又は保税倉庫に保管中は、当該薬品の性質を変化させ

るいかなる加工をも施してはならない。その包装は、権限のある当局の許可を得ないで変更してはならない。

14 薬品の締約国の領域の通過に関する11から13までの規定は、通過する国又は領域に着陸しない航空機によつて当該送り荷が輸送される場合には、適用しない。航空機がこれらの国又は領域に着陸する場合には、これらの規定は、必要に応じて適用するものとする。

15 この条の規定は、通過中の薬品について締約国が実施する統制を制限する国際協定の規定を害するものではない。

16 1(a)及び2の規定を除くほか、この条のいかなる規定も、附表Ⅲに掲げる製剤については、適用することを要しない。

第三十二条 国際交通に従事する船舶又は航空機の救急箱内の薬品の運搬に関する特別規定

1 船舶又は航空機が、その航行中に救急の目的のため又は緊急の場合のために必要とされることのある少量の薬品を国際間で運搬することは、この条約上の輸入又は輸出として取り扱わない。

2 船舶又は航空機の登録国は、1に規定する薬品の適正でない使用又は不正な目的への流用を防止するため、適当な保障措置を執らなければならない。麻薬委員会は、適当な国際

機関と協議して、その保障措置を勧告する。

3 船舶又は航空機が1の規定に従つて運搬する薬品は、当該船舶又は航空機の登録国の法令、許可及び免許によつて規律される。ただし、関係地の権限のある当局が船舶上又は航空機上において点検、検査その他の取締りの措置を実施する権利は、害されない。緊急の場合におけるこれらの薬品の施用は、第三十条2(b)の規定の違反として取り扱わない。

第三十三条 薬品の所持

締約国は、法律により認められて所持する場合を除くほか、薬品の所持を許してはならない。

第三十四条 監督及び監視の措置

(a) 締約国は、この条約に従つて免許を取得するすべての者又はこの条約に従つて設立された国営企業において管理者若しくは監督者の地位を有するすべての者が、この条約に基づいて制定される法令の規定を効果的かつ忠実に実施するために十分な資格を有することを要するものと定めなければならない。

(b) 締約国は、政府当局、製造業者、取引業者、学術研究者、学術研究施設及び病院が、製造した各薬品の数量並びに取得及び処分ごとに取得し又は処分した各薬品の数量を記録すべきものと定めなければならない。これらの記録は、それぞれ、二年以上の期間保存しな

なければならない。処方せん用紙の控付きの冊子（第三十条2(b)）を使用する場合には、その冊子の控えの部分も、二年以上の期間保存しなければならない。

第三十五条 不正取引に対する措置

締約国は、その憲法上、法律上及び行政上の制度に妥当な考慮を払いつつ、次のことを行なわなければならない。

- (a) 不正取引に対する防止及び抑圧の措置について全国的規模における調整を確保すること。締約国は、この目的のため、そのような調整について責任を有する適当な機関を指定して活用することができる。
- (b) 麻薬の不正取引をなくすための活動において相互に援助すること。
- (c) 不正取引をなくすための協同活動を維持するため、相互に、及び自国が構成員となつている関係国際機関と密接に協力すること。
- (d) 適当な機関の間における国際協力が迅速に行なわれるようにすること。
- (e) 司法書類が訴追のために国際間で送付される場合には、その送付が締約国の指定する機関に対して迅速に行なわれるようにすること。この規定は、司法書類が外交上の経路によつて自国へ送付されることを要求する締約国の権利を害するものではない。

第三十六条 刑罰規定

1 各締約国は、その憲法上の制限に従うことを条件として、この条約の規定に違反する栽培並びに薬品の生産、製造、抽出、製剤、所持、提供、販売のための提供、分配、購入、販売、交付（名目のいかんを問わない）、仲介、発送、通過発送、輸送、輸入、輸出その他この条約の規定に違反すると当該締約国が認めるいかなる行為も、それが故意に行なわれたときは処罰すべき犯罪となることを確保し、並びに重大な犯罪に対しては特に拘禁刑又はその他の自由を剝奪する刑による相当な処罰が行なわれることを確保する措置を執らなければならない。

2 締約国の憲法上の制限、法制及び国内法に従うことを条件として、

- (a) (i) 1に掲げる犯罪は、二以上の国にわたつて行なわれたときは、国ごとに別個の犯罪とみなす。
- (ii) これらの犯罪への故意による参加、その犯罪の共謀及び未遂並びにこの条に掲げる犯罪に関連する予備行為及び資金の操作は、1に定める処罰すべき犯罪とする。
- (iii) これらの犯罪に対する外国の有罪判決は、累犯の認定のために考慮される。
- (iv) 自国民又は外国人によつて行なわれた前記の重大な犯罪は、その犯罪が行なわれた領域の属する締約国により、又は犯罪者が発見された領域の属する締約国により（犯罪人引渡しとその請求を受けた締約国の法律上認められず、かつ、その犯罪者がまだ

訴追及び判決を受けていない場合に限る。訴追される。

(b) 1及び2(a)(ii)に掲げる犯罪は、締約国の間で締結されており又は将来締結される犯罪人引渡条約においても、また、条約の存在又は相互主義を犯罪人引渡しの条件としない締約国間の関係においても、犯罪人引渡しの対象となる犯罪とすることが望ましい。ただし、犯罪人引渡しは、その請求を受けた締約国の法律に従つて行なわなければならない。その締約国は、権限のある当局がその犯罪を重大でないものと認めるときは、逮捕をし又は犯罪人引渡しをすることを拒絶する権利を有する。

3 この条の規定は、裁判管轄権の問題に関しては、当該締約国の刑事法の規定を害するものではない。

4 この条のいかなる規定も、この条に掲げる犯罪を締約国の国内法に従つて定義し、訴追し、及び処罰するという原則に影響を及ぼすものではない。

第三十七条 押収及び没収

第三十六条に掲げる犯罪の実行にあつて用い、又は用いようとした薬品、物質及び装置は、押収し、及び没収することができる。

第三十八条 薬品の中毒者に対する措置

1 締約国は、薬品の中毒者の治療、保護及び更生のための便益の供与に特別の考慮を払わなければならない。

2 いずれかの締約国に重大な薬品の中毒の問題がある場合においてその財源が許すときは、当該締約国は、薬品の中毒者に対する効果的な措置のために十分な施設を設けることが望ましい。

第三十九条 この条約が要求する措置より嚴重な国内統制措置の適用

この条約のいかなる規定にもかかわらず、締約国は、この条約で定める措置より精細な又は嚴重な統制措置を執ること特に、附表IIIに掲げる製剤又は附表IIに掲げる薬品に対し、附表Iに掲げる薬品に適用されるすべての統制措置又はこれらのうち公衆の健康及び福祉を保護するために必要であり又は望ましいと認める統制措置を適用するものと定めることを妨げられないものとする。

第四十条 この条約の用語並びに署名、批准及び加入の手續

1 この条約は、中国語、英語、フランス語、ロシア語及びスペイン語による本文をひとしく正文とし、国際連合加盟国、国際司法裁判所規程の当事国であり又は国際連合の専門機関の加盟国である国際連合の非加盟国その他理事会が締約国となるよう招請する国による署名のため、千九百六十一年八月一日まで開放しておく。

2 この条約は、批准されなければならない。批准書は、事務総長に寄託するものとする。

3 この条約は、千九百六十一年八月一日後は、1に規定する国による加入のため開放して

おく。加入書は、事務総長に寄託するものとする。

四二

第四十一条 効力発生

- 1 この条約は、四十番目に寄託される批准書又は加入書が第四十条の規定に従つて寄託された日の後三十日目の日に効力を生ずる。
- 2 前記の四十番目の批准書又は加入書の寄託の日の後に批准書又は加入書を寄託する国については、この条約は、その国の批准書又は加入書の寄託の日の後三十日目の日に効力を生ずる。

第四十二条 適用領域

この条約は、いずれかの締約国が国際関係について責任を有するすべての非本土領域に、それらの領域の事前の同意が当該締約国若しくは当該領域の憲法により又は慣行上必要とされる場合を除くほか、適用する。非本土領域の事前の同意が必要とされる場合には、当該締約国は、できる限り短い期間内に当該領域の必要な同意を得るよう努力しなければならない。その同意を得た場合には、その旨を事務総長に通告するものとする。この条約は、事務総長がその通告を受領した日から、その通告に掲げる領域に適用する。非本土領域の事前の同意が必要とされない場合には、当該締約国は、署名、批准又は加入の際に、この条約を適用する非本土領域を宣言するものとする。

第四十三条 第十九条、第二十条、第二十一条及び第三十一条の規定の適用上の領域

- 1 締約国は、第十九条、第二十条、第二十一条及び第三十一条の規定の適用上その一の領域を二以上の領域に分割し、又は二以上の領域を単一の領域に統合することを事務総長に通告することができる。
- 2 二以上の締約国は、それらの締約国の間に関税同盟を設立した結果それらの締約国が第十九条、第二十条、第二十一条及び第三十一条の規定の適用上単一の領域を形成することを事務総長に通告することができる。
- 3 1及び2の規定に基づく通告は、その通告が行なわれた年の翌年の一月一日に効力を生ずる。

第四十四条 従前の国際条約の終了

- 1 この条約の規定は、効力を生じたときは、締約国間において次の条約の規定を終了させ、かつ、これらに代わるものとする。
 - (a) 千九百十二年一月二十三日にヘーグで署名された国際あへん条約
 - (b) 千九百二十五年二月十一日にジュネーヴで署名されたあへん煙膏の製造、国内取引及び使用に関する協定

四三

- (c) 千九百二十五年二月十九日にジュネーヴで署名された国際あへん条約
- (d) 千九百三十一年七月十三日にジュネーヴで署名された麻薬の製造制限及び分配取締に関する条約
- (e) 千九百三十一年十一月二十七日にバンコックで署名された極東におけるあへん吸食管理に関する協定
- (f) 千九百四十六年十二月十一日にレーク・サクセスで署名された千九百十二年一月二十三日にヘーグで、千九百二十五年二月十一日、千九百二十五年二月十九日及び千九百三十一年七月十三日にジュネーヴで、千九百三十一年十一月二十七日にバンコックで、並びに千九百三十六年六月二十六日にジュネーヴで締結された麻薬に関する協定、条約及び議定書を改正する議定書。ただし、千九百三十六年六月二十六日の条約に関する部分を除く。
- (g) (f)に掲げる千九百四十六年の議定書によつて改正された(a)から(e)までに掲げる条約及び協定
- (h) 千九百四十八年十一月十九日にバリで署名された千九百四十六年十二月十一日にレーク・サクセスで署名された議定書によつて改正された麻薬の製造制限及び分配取締に関する千九百三十一年七月十三日の条約の範囲外の薬品を国際統制の下に置く議定書

- (i) 千九百五十三年六月二十三日にニュー・ヨークで署名されたけしの栽培並びにあへんの生産、国際取引、卸取引及び使用の制限及び取締に関する議定書(効力を生じた場合)
- 2 この条約が効力を生じたときは、千九百三十六年六月二十六日にジュネーヴで署名された危険薬品の不正取引の防止のための条約第九条の規定は、同条約の締約国で同時にこの条約の締約国であるもの間で終了し、この条約の第三十六条2(b)の規定がこれに代わるものとする。ただし、これらの締約国は、事務総長にあてた通告により前記の第九条の規定を引き続き有効とすることができる。

第四十五条 経過規定

- 1 第九条に定める統制委員会の任務は、この条約の効力発生の日(第四十一条1)から、それぞれの任務の性質に応じ、暫定的に、第四十四条(c)に掲げる条約(改正後のもの)の第六章の規定に基づいて構成された常設中央委員会及び第四十四条(d)に掲げる条約(改正後のもの)の第二章の規定に基づいて構成された監督機関が行なう。
- 2 理事会は、第九条の統制委員会がその任務の遂行を開始する日を定める。この日以後、統制委員会は、第四十四条に掲げる条約の締約国でこの条約の締約国でないものに関し、1に規定する常設中央委員会及び監督機関の任務を行なうものとする。

第四十六条 廃棄

- 1 締約国は、この条約の効力発生の日（第四十一条1）から二年の期間が満了した後は、自国のために、又は自国が国際関係について責任を有する領域で第四十二条の規定に従つて与えた同意を撤回したもののために、事務総長に文書を寄託することによつてこの条約を廃棄することができる。
- 2 廃棄は、事務総長がいずれの年においても七月一日以前にその文書を受領したときは翌年の一月一日に効力を生じ、七月一日後にその文書を受領したときは翌年の七月一日以前に受領したものと同様に効力を生ずる。
- 3 この条約は、1の規定に従つて行なわれる廃棄の結果第四十一条1に定める効力発生のための条件が存在しなくなつたときは、終了する。

第四十七条 改正

- 1 いずれの締約国も、この条約の改正を提案することができる。改正案の本文及びその理由は、事務総長に通告するものとし、事務総長は、これを締約国及び理事会に通知する。理事会は、次のいずれかのことを決定することができる。
 - (a) 改正案を審議するため、国際連合憲章第六十二条4の規定に従つて会議を招集すること。
 - (b) 締約国に対し、改正案を受諾するかどうかを照会し、及びその提案についての意見を

理事会に提出するよう求めること。

- 2 1(b)の規定に基づいて配布した改正案に対してその配布の後十八箇月以内にいずれの締約国からも反対がなかつたときは、その改正案は、直ちに効力を生ずる。改正案に対していずれかの締約国から反対があつたときは、理事会は、締約国から受領した意見を考慮して、その改正案を審議するための会議を招集するかどうかを決定することができる。

第四十八条 紛争

- 1 この条約の解釈又は適用に関して二以上の締約国間に紛争を生じたときは、それらの締約国は、交渉、調査、仲介、調停、仲裁、地域的機関への依頼、司法上の手続その他それらの締約国が選ぶ平和的手段によつて紛争を解決するため、協議しなければならぬ。
- 2 前記の方法によつて解決することができない紛争は、決定のために国際司法裁判所に付託するものとする。

第四十九条 過渡的留保

- 1 締約国は、署名、批准又は加入の際に、自国のいずれかの領域において、次の事項を暫定的に許す権利を確保することができる。
 - (a) あへんの医療に準ずる場合における使用
 - (b) あへんの吸食

- (c) コカ葉の咀嚼モシグク
- (d) 大麻、大麻樹脂並びに大麻のエキス及びチンキの医療以外の目的のための使用
- (e) (a)から(d)までに規定する薬品の(a)から(d)までに掲げる使用のための生産、製造及び取引

2 1の規定に基づく留保は、次の制限に従うものとする。

- (a) 1に掲げる行為は、留保の対象である領域において慣習的なものであり、かつ、千九百六十一年一月一日に許されていた限りにおいてのみ許される。
- (b) 1に規定する薬品の1に掲げる使用のための輸出を非締約国又は第四十二条の規定に基づいてこの条約が適用される領域以外の領域に対して行なうことは、許されない。
- (c) あへんの吸食は、千九百六十四年一月一日において権限のある当局によつて登録されている者へのみ許される。
- (d) あへんの医療に準ずる場合における使用は、第四十一条1に定めるこの条約の効力発生の日から十五年以内に廃止しなければならない。
- (e) コカ葉の咀嚼モシグクは、第四十一条1に定めるこの条約の効力発生の日から二十五年以内に禁止しなければならない。
- (f) 大麻の医療上及び学術上の目的以外の目的のための使用は、できる限りすみやかに、

いかなる場合にも第四十一条1に定めるこの条約の効力発生の日から二十五年以内に、廃止しなければならない。

- (g) 1に規定する薬品の1に掲げる使用のための生産、製造及び取引は、そのような使用の減少に応じて減少させ、最終的には廃止しなければならない。

3 1の規定に基づいて留保を行なう締約国は、次のことを行なわなければならない。

- (a) 第十八条1(a)の規定に従つて事務総長に提出する年次報告中に、1に掲げる使用、生産、製造又は取引の廃止の方向に向かつて前年中に遂げられた進展についての記述を含めること。
- (b) 留保の対象であるそれぞれの行為につき、統制委員会に対し、統制委員会が定める方法による見積り（第十九条）及び統計報告（第二十条）を提出すること。
- 4 (a) 統制委員会又は事務総長は、1の規定に基づいて留保を行なう締約国が次のいずれかのことを行なわなわなときは、当該締約国に対し、遅延を指摘した通告を送付し、その通告の受領の後三箇月の期間内に当該年次報告、見積り又は統計報告を提出するよう要請するものとする。
- (i) 3(a)に規定する記述を含む年次報告を報告内容に係る年の終了後六箇月以内に提出すること。

- (ii) 3 (b)の見積りを第十二条1の規定に従つて統制委員会が定める提出期限の後三箇月以内に提出すること。
- (iii) 3 (b)の統計報告を第二十条2の規定に基づく提出期限の後三箇月以内に提出すること。
- (b) 締約国が前記の期間内に統制委員会又は事務総長の要請に従わないときは、1の規定に基づいて行なわれた当該留保は、効力を失うものとする。
- 5 留保を行なつた国は、いつでも、書面で通告することによつてその留保の全部又は一部を撤回することができる。

第五十条 その他の留保

- 1 留保は、第四十九条又は2及び3の規定に従つて行なわれるものを除くほか、認められない。
- 2 いずれの国も、署名、批准又は加入の際に、この条約の次の規定について留保を行なうことができる。
- 3 締約国となることを希望する国で2又は第四十九条の規定に従つて行なわれる留保以外の留保を認められることを希望するものは、その意向を事務総長に通告することができる。

当該留保について事務総長が通知した日の後十二箇月の期間の満了までに、この期間の末日以前にこの条約を批准し又はこれに加入した国の三分の一が異議を申し出ないときは、その留保は、認められたものとする。ただし、留保に対して異議を申し出た国は、留保を行なつた国に対し、この条約に基づく法的義務で当該留保によつて影響を受けるものを負うことを要しないものと了解される。

- 4 留保を行なつた国は、いつでも、書面で通告することによつてその留保の全部又は一部を撤回することができる。

第五十一条 通告

事務総長は、第四十条1に規定するすべての国に対し、次の事項を通知するものとする。

- (a) 第四十条の規定に従つて行なわれる署名、批准及び加入
- (b) 第四十一条の規定に従つてこの条約が効力を生ずる日
- (c) 第四十六条の規定に従つて行なわれる廃棄
- (d) 第四十二条、第四十三条、第四十七条、第四十九条及び第五十条の規定に基づいて行なわれる宣言及び通告

以上の証拠として、下名は、正当に委任を受け、各自の政府のためにこの条約に署名した。

千九百六十一年三月三十日にニュー・ヨークで本書一通を作成した。この本書は、国際連合に寄託するものとし、その認証謄本は、すべての国際連合加盟国及び第四十条1に規定するその他の国に送付するものとする。

アフガニスタンのために

アブドウル・H・タビビ

アルバニアのために

アルゼンティンのために

第四十八条2の規定に関する留保　アルゼンティン共和国は、国際司法裁判所の義務的管轄を承認しない。

第四十九条の規定に関する留保　アルゼンティン共和国は、1(c)の「コカ葉の咀嚼」及び1(e)の「(c)に規定する薬品の(c)に掲げる使用のための取引」についての権利を留保する。

M・アマデオ

千九百六十一年七月三十一日

オーストラリアのために

H・S・ウォーレン

オーストリアのために

ベルギーのために

ワルター・ロリダン

千九百六十一年七月二十八日

ポリヴェイアのために

ブラジルのために

政府の承認を条件として

アルイジオ・ゲデス・レジス・ビッテンクール

ブルガリアのために

第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2、第三十一条1(b)並びに第四十八条2の規定に関する留保(別紙参照)を附して

A・ゲオルギエフ

千九百六十一年七月三十一日

留保の本文（別紙）

(1) ブルガリア人民共和国政府は、第四十八条2の規定を、決定のために国際司法裁判所に付託されるいかなる紛争についてもそれぞれの場合においてすべての紛争当事国の同意が必要である旨の留保を附して、受諾する。

(2) ブルガリア人民共和国政府は、千九百六十一年の麻薬に関する単一条約第四十条の規定により同条約の締約国となる機会を奪われた国に關しては、第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定の拘束を受けると考えない。

ビルマのために

本官は、この単一条約への本官の署名が、シャン州が次の権利を留保することを許される旨の了解を条件とすることを宣言する。

(1) シャン州における中毒者に対し、この単一条約の効力発生の日から二十年の過渡的期間中、あへんの吸食を許す権利

(2) 前記の使用のためにあへんを生産し及び製造する権利

(3) シャン州政府が千九百六十三年十二月三十一日にあへん消費者の名簿の作成を完了した後にその名簿を提出する権利

ティン・モン

白ロシア・ソヴィエト社会主義共和国のために

第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定に關する留保を附して。留保の本文は、別紙のとおりである。

F・グリヤズノフ

千九百六十一年七月三十一日

留保の本文（別紙）

白ロシア・ソヴィエト社会主義共和国政府は、麻薬に關する単一条約第四十条に定める手続により同条約の締約国となる可能性を奪われた国に關しては、同条約第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定の拘束を受けると考えない。

カンボディアのために

カンボディアの議会による批准を条件として

ノン・キムニイ

カメルーンのために

カナダのために

R・E・カラン

中央アフリカ共和国のために

セイロンのために

チャードのために

J・シャルロ

批准を条件として

チリのために

D・シュヴァイツァー

批准を条件として

中国のために

魏学仁

コロンビアのために

コンゴ(ブラザヴィル)のために

E・ダデ

コンゴ(レオポルドヴィル)のために

ジェルヴェ・P・バヒジ

千九百六十一年四月二十八日

コスタ・リカのために

G・オルティス・マルティン

キューバのために

サイプラスのために

チェッコスロヴァキアのために

第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定に関

する留保を附して署名。留保の本文は、別紙のとおりである。

ドクトル　ズデネツク・チェルニーク

千九百六十一年七月三十一日

留保の本文（別紙）

チェッコスロヴァキア社会主義共和国政府は、千九百六十一年の麻薬に関する単一条約第四十条に定める手続により同条約の締約国となる可能性を奪われた国に関しては、同条約第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定の拘束を受けない。

ダホメのために

ルイ・イグナシオロピント

デンマークのために

A・ヘッセルンド・イエンセン

ドミニカ共和国のために

エクアドルのために

エル・サルヴァドルのために

M・ラファエル・ウルキア

エテイオピアのために

ドイツ連邦共和国のために

マラヤ連邦のために

フィンランドのために

ヘンリック・プロムステット

フランスのために

ガボンのために

ガーナのために

アレックス・サッキイ

政府の承認を条件として

ギリシヤのために

グアテマラのために

ギニアのために

ハイティのために

エルネスト・ジャンルイ

千九百六十一年四月三日

ヴァチカンのために

ジェイムズ・H・グリフィス

批准を条件として

ホンデュラスのために

ハンガリーのために

第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2、第三十一条1(b)並びに第四十八条2の規定に関する留保(千九百六十一年七月三十一日付文書第一三九号参照)を附して

レーリントツ・タマーシ

千九百六十一年七月三十一日

留保の本文(別紙)

1 ハンガリー人民共和国政府は、第四十八条2の規定を、決定のために国際司法裁判所に付託されるいかなる紛争についてもそれぞれの場合においてすべての紛争当事国の同意が必要である旨の留保を附して、受諾する。

2 ハンガリー人民共和国政府は、千九百六十一年の麻薬に関する単一条約第四十条の規定により同条約の締約国となる可能性を奪われた国に関しては、第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定の拘束を受けると考えない。

インドのために

B・N・バナージ

批准並びに第四十九条1(a)、(b)、(d)及び(e)に定める留保を条件として。インド政府は、第四十二条第二段の規定に従い、シッキムに対するこの条約の適用についてのシッキムの同意をできる限り短い期間内に得るよう努力する。

インドネシアのために

批准並びに第四十八条2の規定に関する留保並びに第四十条及び第四十二条の規定に関する留保を別紙の声明に従って行なう意図の宣言を条件として

S・ウィルヨブラフト

千九百六十一年七月二十八日

声明の本文(別紙)

- 1 インドネシア政府は、第四十条1の規定に関し、この条約の締約国になることを希望する国に対してそれを許さない現行の方式に同意しない。
- 2 インドネシア政府は、第四十二条の規定に関し、非本土領域に対するこの条約の適用を妨げることがある現行の方式に同意しない。
- 3 インドネシア政府は、第四十八条2の規定に関し、同条1の条項によつて解決することができない紛争の国際司法裁判所への強制付託を

定めるこの規定の拘束を受けると考えない。インドネシア政府は、決定のために国際司法裁判所に付託されるいかなる紛争についてもそれぞれの場合においてすべての紛争当事国の同意が必要であるとの立場をとる。

イランのために

将来の批准を条件として

ドクトル アザラクシ

イラクのために

アドナン・パチャーチ

批准を条件として

アイルランドのために

イスラエルのために

イタリアのために

批准を条件として

G・オルトーナ

千九百六十一年四月四日

象牙海岸のために

日本国のために

ヨルダンのために

批准を条件として

J・ジョーリイ

クウェイトのために

ラオスのために

レバノンのために

批准を条件として

ジョルジュ・ハキム

リベリアのために

批准を条件として

アーチバルド・ジョンソン M・D

リビアのために

リヒテンシュタインのために

ルクセンブルグのために

マダガスカルのために

アンドリアマハロ

マリのために

モーリタニアのために

メキシコのために

モナコのために

モロッコのために

ネパールのために

オランダのために

オランダとスリナムとオランダ領アンティューとの公法上の平等の關係に照らして、この条約の第四十二条の「非本土」の語は、スリナム及びオランダ領アンティューに関する限り、本来の意味を失い、したがつて、「非ヨーロッパ」を意味するものと解されるものとする。

J・ポルダーマン

千九百六十一年七月三十一日

ニュー・ジラランドのために

D・P・ケネディ

R・W・シャープ

ニカラグアのために

ルイス・マヌエル・デバイレ

ニジェールのために

ナイジェリアのために

アルハジ・ムハマッド

ノールウェーのために

批准を条件として

シーヴェルト・A・ニールセン

パキスタンのために

M・アスラム

パナマのために

セサル・A・キンテーロ

パラグアイのために

ミゲル・ソラノ・ロペス

ペルーのために

政府の承認を条件とし、かつ、第四十九条2(b)及び4(b)の規定に関する留保を附して

M・F・マウルトゥア

フィリピンのために

F・A・デルガド

ポーランドのために

第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定に関する留保を附して。留保の本文は、別紙のとおりである。

B・レヴァンドフスキ

千九百六十一年七月三十一日

留保の本文(別紙)

ポーランド人民共和国政府は、千九百六十一年の麻薬に関する単一条約に参加する機会を奪われた国に関しては、同条約第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定の拘束を受けると考えない。

ポーランド人民共和国政府は、前記の規定に含まれる義務を同条約の

他の規定により同条約に加入する機会を奪われる国に課することは承認し難いと考ええる。

ポルトガルのために

ルイス・ソアレス・デ・オリヴェイラ

政府の承認を条件として

大韓民国のために

文徳周

ヴェトナム共和国のために

ルーマニアのために

サン・マリノのために

サウデイ・アラビアのために

セネガルのために

ソマリアのために

スペインのために

スーダンのために

スウェーデンのために

アグダ・レッセル

千九百六十一年四月三日

スイスのために

ミハエル・フォン・シェンク

千九百六十一年四月二十日

タイのために

トーゴのために

テュニジアのために

アヤリ

トルコのために

ウクライナ・ソヴェイエト社会主義共和国のために

第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定に関する留保を附して。留保の本文は、別紙のとおりである。

ルカ・キジャ

千九百六十一年七月三十一日

留保の本文（別紙）

ウクライナ・ソヴェイエト社会主義共和国政府は、麻薬に関する単一条約第四十条に定める手続により同条約の締約国になる可能性を奪われた国に關しては、同条約第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び

2並びに第三十一条1(b)の規定の拘束を受けると考えない。
南アフリカ連邦のために

ソヴェイエト社会主義共和国連邦のために

第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定に関する留保を附して。留保の本文は、別紙のとおりである。

ブラトン・モロゾフ

千九百六十一年七月三十一日

留保の本文(別紙)

ソヴェイエト社会主義共和国連邦政府は、麻薬に関する単一条約第四十条に定める手続により同条約の締約国になる可能性を奪われた国に関しては、同条約第十二条2及び3、第十三条2、第十四条1及び2並びに第三十一条1(b)の規定の拘束を受けると考えない。

アラブ連合共和国のために

批准を条件として

ドクトル アミン・イズマイル

グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国のために

バトリック・デイン

アメリカ合衆国のために

上ヴォルタのために

ウルグアイのために

ヴェネズエラのために

ラファエル・ダリオ・ベルテイ

政府の承認を条件として

イエメンのために

ユーゴスラヴィアのために

ドラガン・ニコリッチ

附表

附表I

アセチルメサドール(二一アセトキシ一六一ジメチルアミノ一四一四一ジフェニルヘプタン)
 アリルプロジン(二一アリル一四一フェニル一四一プロピオンオキシビペリジン)
 アルファアセチルメサドール(アルファ一三一二アセトキシ一六一ジメチルアミノ一四一四一ジフェニルヘプタン)
 アルファメプロジン(アルファ一三一二エチル一四一フェニル一四一プロピオンオキシビペリジン)
 アルファメサドール(アルファ一六一ジメチルアミノ一四一四一ジフェニル一三一二ヘプタノール)
 アルファプロジン(アルファ一三一二ジメチル一四一フェニル一四一プロピオンオキシビペリジン)
 アニレリジン(一ニ一パラ一アミノフェニル一四一フェニルビペリジン一四一カルボン酸エチルエステル)
 ベンゼチジン(二一(二一ベンジルオキシエチル)一四一フェニルビペリジン一四一カルボン酸エチルエステル)

エチルエステル

ベンジルモルヒネ(二一ベンジルモルヒネ)
 ベータアセチルメサドール(ベータ一三一二アセトキシ一六一ジメチルアミノ一四一四一ジフェニルヘプタン)
 ベータメプロジン(ベータ一三一二エチル一四一フェニル一四一プロピオンオキシビペリジン)
 ベータメサドール(ベータ一六一ジメチルアミノ一四一四一ジフェニル一三一二ヘプタノール)
 ベータプロジン(ベータ一三一二ジメチル一四一フェニル一四一プロピオンオキシビペリジン)
 大麻、大麻樹脂並びに大麻のエキス及びチンキ
 クロニタゼン(二一パラ一クロルベンジル一四一エチルアミノエチル一五一二トロペンズイミダゾール)
 コカ葉
 コカイン(ベンゾイルエクゴニンのメチルエステル)
 けしがらの濃厚物(けしがらのアルカロイドを濃厚化する工程により得られる物質で取引に供されるもの)

デソモルヒネ (ジヒドロデオキシモルヒネ)
 デキストロモラミド (4-4-1-2-メチル-4-オキソ-3-3-ジフェニル-4-1-ピロリ
 ジニル) プチル) モルフオリン)
 ジアンプロミド (エヌ) 2-1-メチルフエネチルアミノ) プロピル) プロピオンアニリド)
 ジエチルチアンブテン (3-ジエチルアミノ-1-1-ジ-2-チエニル) 1-ブテン)
 ジヒドロモルヒネ
 ジメノキサドール (2-ジメチルアミノエチル-1-エトキシ-1-1-ジフェニルアセター
 ト)
 ジメフエブタノール (6-ジメチルアミノ-4-4-ジフェニル-3-ヘブタノール)
 ジメチルチアンブテン (3-ジメチルアミノ-1-1-ジ-2-チエニル) 1-ブテン)
 ジオキサフェチルブチレート (エチル4-1-モルフオリノ-2-2-ジフェニルブチレート)
 ジフェノキシレート (1-3-シアノ-3-3-ジフェニルプロピル) 4-フェニルピペリ
 ジン-4-カルボン酸エチルエステル)
 ジピバノン (4-4-ジフェニル-6-ピペリジン-3-ヘブタノン)
 エクゴニン並びにそのエステル及び誘導体でエクゴニン及びコカインに転換しうるもの
 エチルメチルチアンブテン (3-エチルメチルアミノ-1-1-ジ-2-チエニル) 1-ブ
 テン)

テン)

エトニタゼン (1-ジエチルアミノエチル-2-パラ-エトキシベンジル-5-ニトロベンズ
 イミダゾール)
 エトキシセリジン (1-2-ヒドロキシエトキシ) エチル) 4-フェニルピペリジン-
 4-カルボン酸エチルエステル)
 フレチジン (1-2-テトラヒドロフルフリルオキシエチル) 4-フェニルピペリジン-
 4-カルボン酸エチルエステル)
 ヘロイン (ジアセチルモルヒネ)
 ヒドロコドン (ジヒドロコデイノン)
 ヒドロモルヒノール (14-1-ヒドロキシジヒドロモルヒネ)
 ヒドロモルフオン (ジヒドロモルヒノン)
 ヒドロキシペチジン (4-メタ-ヒドロキシフェニル-1-メチルピペリジン-4-カルボン
 酸エチルエステル)
 イソメサドン (6-ジメチルアミノ-5-メチル-4-4-ジフェニル-3-ヘキサノン)
 ケトベミドン (4-メタ-ヒドロキシフェニル-1-メチル-4-プロピオニルピペリジン)
 レボメソルファン (注) (1-3-メトキシ-エヌ-メチルモルヒナン)

レボモラミド (一)一四 (二)一メチル一四一オキソ一三・三一二ジフェニル一四一(一)一ピロリジン
ル)ブチル)モルフオリン)

レボフェナシルモルフアン (一)一三一二ヒドロキシ一エヌ一フェナシルモルヒナン)

レボルファノール (注) (一)一三一二ヒドロキシ一エヌ一メチルモルヒナン)

メタゾシン (二)一ヒドロキシ一五・九一トリメチル一六・七一ベンゾモルフアン)

メサドン (六)一ジメチルアミノ一四・四一二ジフェニル一三一二ヘプタノン)

メチルデソルフィン (六)一メチル一デルタ六一デオキシモルヒネ)

メチルジヒドロモルヒネ (六)一メチルジヒドロモルヒネ)

一メチル一四一フェニルビペリジン一四一カルボン酸

メトボン (五)一メチルジヒドロモルヒノン)

モルフエリジン (一)一(二)一モルフオリノエチル)一四一フェニルビペリジン一四一カルボン酸

エチルエステル)

モルヒネ

モルヒネメソプロミドその他の五価窒素モルヒネ誘導体

モルヒネ一エヌ一オキシド

ミロフィン (ミリスチルベンジルモルヒネ)

ニコモルヒネ (三・六)一ジニコチニルモルヒネ)

ノルレボルファノール (一)一三一二ヒドロキシモルヒナン)

ノルメサドン (六)一ジメチルアミノ一四・四一二ジフェニル一三一二ヘキサノン)

ノルモルヒネ (デメチルモルヒネ)

あへん

オキシコドン (十四)一ヒドロキシジヒドロコデイノン)

オキシモルフオン (十四)一ヒドロキシジヒドロモルヒノン)

ペチジン (一)一メチル一四一フェニルビペリジン一四一カルボン酸エチルエステル)

フェナドキソン (六)一モルフオリノ一四・四一二ジフェニル一三一二ヘプタノン)

フェナンプロミド (エヌ)一(一)一メチル一三一二ヒドロキシ一エチル)プロピオンアニリド)

フェナゾシン (二)一ヒドロキシ一五・九一二ジメチル一三一二フェネチル一六・七一二ベンゾモルフア

ン)

フェノモルフアン (二)一ヒドロキシ一エヌ一フェネチルモルヒナン)

フェノペリジン (一)一(二)一ヒドロキシ一三一二フェニルプロピル)一四一フェニルビペリジン一

四一カルボン酸エチルエステル)

ピミノジン (四)一フェニル一(一)一(二)一フェニルアミノプロピル)ビペリジン一四一カルボン酸

エチルエステル)

プロヘプタジン(一・三・ジメチル―四―フェニル―四―プロピオンオキシアザシクロヘプタ
ン)

プロペリジン(一―メチル―四―フェニルビペリジン―四―カルボン酸イソプロピルエステ
ル)

ラセメソルフアン(±)三―メトキシ―エヌ―メチルモルヒナン)

ラセモラミド(±)四―二―メチル―四―オキソ―三・三―ジフェニル―四―(一―ピロリジニ
ル)ブチル)モルフオリン)

ラセモルフアン(±)三―ヒドロキシ―エヌ―メチルモルヒナン)

テバコン(アセチルジヒドロコデイノン)

テバイン

トリメペリジン(一・二・五―トリメチル―四―フェニル―四―プロピオンオキシビペリジ
ン)

この附表Iに掲げる薬品の異性体が特定の化学名の下に存在しうるときはその異性体(特
に除外されるものを除く。)

この附表Iに掲げる薬品のエステル又はエーテルが存在しうるときはそのエステル及び

エーテル(他の附表に掲げるものを除く。)

この附表Iに掲げる薬品の塩類(前記のエステル、エーテル及び異性体の塩類を含む。)
が存在しうるときはその塩類

注 デキストロメソルフアン(±)三―メトキシ―エヌ―メチルモルヒナン)及びデキス

トルルフアン(±)三―ヒドロキシ―エヌ―メチルモルヒナン)は、特にこの附表Iか
ら除く。

附表II

アセチルジヒドロコデイン

コデイン(三―メチルモルヒネ)

デキストロプロボキシフェン(±)四―ジメチルアミノ―三―メチル―一・二―ジフェニル―
二―プロピオンオキシブタン)

ジヒドロコデイン

エチルモルヒネ(三―エチルモルヒネ)

ノルコデイン(エヌ―デメチルコデイン)

フォルコジン(モルフオリニルエチルモルヒネ)

この附表Ⅱに掲げる薬品の異性体が特定の化学名の下に存在しうるときはその異性体（特に除外されるものを除く。）

この附表Ⅱに掲げる薬品の塩類（前記の異性体の塩類を含む。）が存在しうるときはその塩類

附表Ⅲ

- 1 アセチルジヒドロコデイン、コデイン、デキストロプロボキシフェン、ジヒドロコデイン、エチルモルヒネ、ノルコデイン及びフォルコジンのそれぞれの製剤であつて、次の条件を満たすもの
 - (a) 濫用の危険が全く又はほとんどないような態様で他の一又は二以上の成分と複合しており、かつ、容易に用いうる手段により又は公衆の健康に危険をもたらすような収量で薬品を回収することができないこと。
 - (b) 一回の用量につき百ミリグラム以下の薬品を含有し、又は、分割されていない製剤については、濃度二・五パーセント以下であること。
- 2 コカイン塩基として計算して一パーセント以下のコカインを含有するコカイン製剤及び無水モルヒネ塩基として計算して二パーセント以下のモルヒネを含有するあへん

製剤又はモルヒネ製剤であつて、濫用の危険が全く又はほとんどないような態様で他の一又は二以上の成分と複合しており、かつ、容易に用いうる手段により又は公衆の健康に危険をもたらすような収量で薬品を回収することができないもの

- 3 用量ごとに分割されたジフェノキシレートの固体の製剤であつて、一回の用量につき、塩基として計算して二・五ミリグラム以下のジフェノキシレート及び二十五マイクログラム以上の硫酸アトロピンを含有するもの

4 複方アヘントコン散

あへん末十パーセント、トコン末十パーセント及び薬品を含有しない他の粉末成分八十パーセントの割合でこれらをよく混和したもの

- 5 この附表Ⅲに掲げるいずれかの処方適合する製剤及びこれらの製剤と薬品を含有しない物との混合物

附表Ⅳ

大麻及び大麻樹脂

デソモルヒネ（ジヒドロデオキシモルヒネ）

ヘロイン（ジアセチルモルヒネ）

Liste des stupéfiants inclus au Tableau IV

CANNABIS ET RÉSINE DE CANNABIS

DÉSOMORPHINE (dihydrodésomorphine)

HÉROÏNE (diacétylmorphine)

CÉTOBÉMIDONE (méta-hydroxyphényl-4 méthyl-1 propionyl-4 pipéridine)

Les sels des stupéfiants inscrits au présent Tableau, dans tous les cas où ces sels peuvent exister.

ケトベミドン (四メターヒドロキシフェニル-一メチル-四-プロピオニルピペリジン)
この附表IVに掲げる薬品の塩類が存在しうるときはその塩類

外務大臣

椎名 望郎

厚生大臣

伊田 博

内閣総理大臣

坂 谷 榮 作

(右条約の英文及和文)

SINGLE CONVENTION ON NARCOTIC DRUGS, 1961

PREAMBLE

The Parties,

Concerned with the health and welfare of mankind,

Recognizing that the medical use of narcotic drugs continues to be indispensable for the relief of pain and suffering and that adequate provision must be made to ensure the availability of narcotic drugs for such purposes,

Recognizing that addiction to narcotic drugs constitutes a serious evil for the individual and is fraught with social and economic danger to mankind,

Conscious of their duty to prevent and combat this evil,

Considering that effective measures against abuse of narcotic drugs require co-ordinated and universal action,

Understanding that such universal action calls for international co-operation guided by the same principles and aimed at common objectives,

Acknowledging the competence of the United Nations in the field of narcotics control and desirous that the international organs concerned should be within the framework of that Organization,

Desiring to conclude a generally acceptable international convention replacing existing treaties on narcotic drugs, limiting such drugs to medical and scientific use, and providing for continuous international co-operation and control for the achievement of such aims and objectives,

Hereby agree as follows:

ARTICLE 1

Definitions

1. Except where otherwise expressly indicated or where the context otherwise requires, the following definitions shall apply throughout the Convention:

(a) "Board" means the International Narcotics Control Board.

(b) "Cannabis" means the flowering or fruiting tops of the cannabis plant (excluding the seeds and leaves when not accompanied by the tops) from which the resin has not been extracted, by whatever name they may be designated.

(c) "Cannabis plant" means any plant of the genus cannabis.

(d) "Cannabis resin" means the separated resin, whether crude or purified, obtained from the cannabis plant.

(e) "Coca bush" means the plant of any species of the genus erythroxylon.

(f) "Coca leaf" means the leaf of the coca bush except a leaf from which all ecgonine, cocaine and any other ecgonine alkaloids have been removed.

(g) "Commission" means the Commission on Narcotic Drugs of the Council.

(h) "Council" means the Economic and Social Council of the United Nations.

(i) "Cultivation" means the cultivation of the opium poppy, coca bush or cannabis plant.

(j) "Drug" means any of the substances in Schedules I and II, whether natural or synthetic.

(k) "General Assembly" means the General Assembly of the United Nations.

(l) "Illicit traffic" means cultivation or trafficking in drugs contrary to the provisions of this Convention.

(m) "Import" and "export" mean in their respective connotations the physical transfer of drugs from one State to another State, or from one territory to another territory of the same State.

(n) "Manufacture" means all processes, other than production, by which drugs may be obtained and includes refining as well as the transformation of drugs into other drugs.

(o) "Medicinal opium" means opium which has undergone the processes necessary to adapt it for medicinal use.

(p) "Opium" means the coagulated juice of the opium poppy.

(q) "Opium poppy" means the plant of the species *Papaver somniferum L.*

(r) "Poppy straw" means all parts (except the seeds) of the opium poppy, after mowing.

(s) "Preparation" means a mixture, solid or liquid, containing a drug.

(t) "Production" means the separation of opium, coca leaves, cannabis and cannabis resin from the plants from which they are obtained.

(u) "Schedule I", "Schedule II", "Schedule III" and "Schedule IV" mean the correspondingly numbered list of drugs or preparations annexed to this Convention, as amended from time to time in accordance with article 3.

(v) "Secretary-General" means the Secretary-General of the United Nations.

(w) "Special stocks" means the amounts of drugs held in a country or territory by the government of such country or territory for special Government purposes and to meet exceptional

circumstances; and the expression "special purposes" shall be construed accordingly.

(x) "Stocks" means the amounts of drugs held in a country or territory and intended for:

(i) Consumption in the country or territory for medical and scientific purposes,

(ii) Utilization in the country or territory for the manufacture of drugs and other substances, or

(iii) Export; but does not include the amounts of drugs held in the country or territory

(iv) By retail pharmacists or other authorized retail distributors and by institutions or qualified persons in the duly authorized exercise of therapeutic or scientific functions, or

(v) As "special stocks".

(y) "Territory" means any part of a State which is treated as a separate entity for the application of the system of import certificates and export authorizations provided for in article 31. This definition shall not apply to the term "territory" as used in articles 42 and 46.

2. For the purposes of this Convention a drug shall be regarded as "consumed" when it has been supplied to any person or enterprise for retail distribution, medical use or scientific research; and "consumption" shall be construed accordingly.

ARTICLE 2

Substances under control

1. Except as to measures of control which are limited to specified drugs, the drugs in Schedule I are subject to all measures of control applicable to drugs under this Convention and in particular to those prescribed in articles 4 (c), 19, 20, 21, 29, 30, 31, 32, 33, 34 and 37.

2. The drugs in Schedule II are subject to

the same measures of control as drugs in Schedule I with the exception of the measures prescribed in article 30, paragraphs 2 and 5, in respect of the retail trade.

3. Preparations other than those in Schedule III are subject to the same measures of control as the drugs which they contain, but estimates (article 19) and statistics (article 20) distinct from those dealing with these drugs shall not be required in the case of such preparations, and article 29, paragraph 2 (c) and article 30, paragraph 1 (b) (ii) need not apply.

4. Preparations in Schedule III are subject to the same measures of control as preparations containing drugs in Schedule II except that article 31, paragraphs 1 (b) and 4 to 15 need not apply, and that for the purpose of estimates (article 19) and statistics (article 20) the information required shall be restricted to the quantities of drugs used in the manufacture of such preparations.

5. The drugs in Schedule IV shall also be included in Schedule I and subject to all measures of control applicable to drugs in the latter schedule, and in addition thereto:

(a) A Party shall adopt any special measures of control which in its opinion are necessary having regard to the particularly dangerous properties of a drug so included; and

(b) A Party shall, if in its opinion the prevailing conditions in its country render it the most appropriate means of protecting the public health and welfare, prohibit the production, manufacture, export and import of, trade in, possession or use of any such drug except for amounts which may be necessary for medical and scientific research only, including clinical trials therewith to be conducted under or subject to the direct supervision and control of the Party.

6. In addition to the measures of control applicable to all drugs in Schedule I, opium is

subject to the provisions of articles 23 and 24, the coca leaf to those of articles 26 and 27 and cannabis to those of article 28.

7. The opium poppy, the coca bush, the cannabis plant, poppy straw and cannabis leaves are subject to the control measures prescribed in articles 22 to 24; 22, 26 and 27; 22 and 28; 25; and 28, respectively.

8. The Parties shall use their best endeavours to apply to substances which do not fall under this Convention, but which may be used in the illicit manufacture of drugs, such measures of supervision as may be practicable.

9. Parties are not required to apply the provisions of this Convention to drugs which are commonly used in industry for other than medical or scientific purposes, provided that:

(a) They ensure by appropriate methods of denaturing or by other means that the drugs so used are not liable to be abused or have ill effects (article 3, paragraph 3) and that the harmful substances cannot in practice be recovered; and

(b) They include in the statistical information (article 20) furnished by them the amount of each drug so used.

ARTICLE 3

Changes in the scope of control

1. Where a Party or the World Health Organization has information which in its opinion may require an amendment to any of the Schedules, it shall notify the Secretary-General and furnish him with the information in support of the notification.

2. The Secretary-General shall transmit such notification, and any information which he considers relevant, to the Parties, to the Commission, and, where the notification is made by a Party, to the World Health Organization.

3. Where a notification relates to a substance not already in Schedule I or in Schedule II,

(i) The Parties shall examine in the light of the available information the possibility of the provisional application to the substance of all measures of control applicable to drugs in Schedule I;

(ii) Pending its decision as provided in sub-paragraph (iii) of this paragraph, the Commission may decide that the Parties apply provisionally to that substance all measures of control applicable to drugs in Schedule I. The Parties shall apply such measures provisionally to the substance in question;

(iii) If the World Health Organization finds that the substance is liable to similar abuse and productive of similar ill effects as the drugs in Schedule I or Schedule II or is convertible into a drug, it shall communicate that finding to the Commission which may, in accordance with the recommendation of the World Health Organization, decide that the substance shall be added to Schedule I or Schedule II.

4. If the World Health Organization finds that a preparation because of the substances which it contains is not liable to abuse and cannot produce ill effects (paragraph 3) and that the drug therein is not readily recoverable, the Commission may, in accordance with the recommendation of the World Health Organization, add that preparation to Schedule III.

5. If the World Health Organization finds that a drug in Schedule I is particularly liable to abuse and to produce ill effects (paragraph 3) and that such liability is not offset by substantial therapeutic advantages not possessed by substances other than drugs in Schedule IV, the Commission may, in accordance with the recommendation of the World Health Organization, place that drug in Schedule IV.

6. Where a notification relates to a drug already in Schedule I or Schedule II or to a

preparation in Schedule III, the Commission, apart from the measure provided for in paragraph 5, may, in accordance with the recommendation of the World Health Organization, amend any of the Schedules by:

(a) Transferring a drug from Schedule I to Schedule II or from Schedule II to Schedule I; or

(b) Deleting a drug or a preparation as the case may be, from a Schedule.

7. Any decision of the Commission taken pursuant to this article shall be communicated by the Secretary-General to all States Members of the United Nations, to non-member States Parties to this Convention, to the World Health Organization and to the Board. Such decision shall become effective with respect to each Party on the date of its receipt of such communication, and the Parties shall thereupon take such action as may be required under this Convention.

8. (a) The decisions of the Commission amending any of the schedules shall be subject to review by the Council upon the request of any Party filed within ninety days from receipt of notification of the decision. The request for review shall be sent to the Secretary-General together with all relevant information upon which the request for review is based;

(b) The Secretary-General shall transmit copies of the request for review and relevant information to the Commission, the World Health Organization and to all the Parties inviting them to submit comments within ninety days. All comments received shall be submitted to the Council for consideration;

(c) The Council may confirm, alter or reverse the decision of the Commission, and the decision of the Council shall be final. Notification of the Council's decision shall be transmitted to all States Members of the United Nations, to non-member States Parties to this

Convention, to the Commission, to the World Health Organization, and to the Board.

(d) During pendency of the review the original decision of the Commission shall remain in effect.

9. Decisions of the Commission taken in accordance with this article shall not be subject to the review procedure provided for in article 7.

ARTICLE 4

General obligations

1. The Parties shall take such legislative and administrative measures as may be necessary:

(a) To give effect to and carry out the provisions of this Convention within their own territories;

(b) To co-operate with other States in the execution of the provisions of this Convention; and

(c) Subject to the provisions of this Convention, to limit exclusively to medical and scientific purposes the production, manufacture, export, import, distribution of, trade in, use and possession of drugs.

ARTICLE 5

The international control organs

The Parties, recognizing the competence of the United Nations with respect to the international control of drugs, agree to entrust to the Commission on Narcotic Drugs of the Economic and Social Council, and to the International Narcotics Control Board, the functions respectively assigned to them under this Convention.

ARTICLE 6

Expenses of the international control organs

The expenses of the Commission and the Board will be borne by the United Nations in

such manner as shall be decided by the General Assembly. The Parties which are not members of the United Nations shall contribute to these expenses such amounts as the General Assembly finds equitable and assess from time to time after consultation with the Governments of these Parties.

ARTICLE 7

Review of decisions and recommendations of the Commission

Except for decisions under article 3, each decision or recommendation adopted by the Commission pursuant to the provisions of this Convention shall be subject to approval or modification by the Council or the General Assembly in the same way as other decisions or recommendations of the Commission.

ARTICLE 8

Functions of the Commission

The Commission is authorized to consider all matters pertaining to the aims of this Convention, and in particular:

(a) To amend the Schedules in accordance with article 3;

(b) To call the attention of the Board to any matters which may be relevant to the functions of the Board;

(c) To make recommendations for the implementation of the aims and provisions of this Convention, including programmes of scientific research and the exchange of information of a scientific or technical nature; and

(d) To draw the attention of non-parties to decisions and recommendations which it adopts under this Convention, with a view to their considering taking action in accordance therewith.

ARTICLE 9

Composition of the Board

1. The Board shall consist of eleven members to be elected by the Council as follows:

(a) Three members with medical, pharmacological or pharmaceutical experience from a list of at least five persons nominated by the World Health Organization; and

(b) Eight members from a list of persons nominated by the Members of the United Nations and by Parties which are not Members of the United Nations.

2. Members of the Board shall be persons who, by their competence, impartiality and disinterestedness, will command general confidence. During their term of office they shall not hold any position or engage in any activity which would be liable to impair their impartiality in the exercise of their functions. The Council shall, in consultation with the Board, make all arrangements necessary to ensure the full technical independence of the Board in carrying out its functions.

3. The Council, with due regard to the principle of equitable geographic representation, shall give consideration to the importance of including on the Board, in equitable proportion, persons possessing a knowledge of the drug situation in the producing, manufacturing, and consuming countries, and connected with such countries.

ARTICLE 10

Terms of office and remuneration of members of the Board

1. The members of the Board shall serve for a period of three years, and shall be eligible for re-election.

2. The term of office of each member of the Board shall end on the eve of the first meeting

of the Board which his successor shall be entitled to attend.

3. A member of the Board who has failed to attend three consecutive sessions shall be deemed to have resigned.

4. The Council, on the recommendation of the Board, may dismiss a member of the Board who has ceased to fulfil the conditions required for membership by paragraph 2 of article 9. Such recommendation shall be made by an affirmative vote of eight members of the Board.

5. Where a vacancy occurs on the Board during the term of office of a member, the Council shall fill such vacancy as soon as possible and in accordance with the applicable provisions of article 9, by electing another member for the remainder of the term.

6. The members of the Board shall receive an adequate remuneration as determined by the General Assembly.

ARTICLE 11

Rules of procedure of the Board

1. The Board shall elect its own President and such other officers as it may consider necessary and shall adopt its rules of procedure.

2. The Board shall meet as often as, in its opinion, may be necessary for the proper discharge of its functions, but shall hold at least two sessions in each calendar year.

3. The quorum necessary at meetings of the Board shall consist of seven members.

ARTICLE 12

Administration of the estimate system

1. The Board shall fix the date or dates by which, and the manner in which, the estimates as provided in article 19 shall be furnished and shall prescribe the forms therefor.

2. The Board shall, in respect of countries and territories to which this Convention does not apply, request the Governments concerned to furnish estimates in accordance with the provisions of this Convention.

3. If any State fails to furnish estimates in respect of any of its territories by the date specified, the Board shall, as far as possible, establish the estimates. The Board in establishing such estimates shall, to the extent practicable, do so in co-operation with the Government concerned.

4. The Board shall examine the estimates, including supplementary estimates, and, except as regards requirements for special purposes, may require such information as it considers necessary in respect of any country or territory on behalf of which an estimate has been furnished, in order to complete the estimate or to explain any statement contained therein.

5. The Board shall as expeditiously as possible confirm the estimates, including supplementary estimates, or, with the consent of the Government concerned, may amend such estimates.

6. In addition to the reports mentioned in article 15, the Board shall, at such times as it shall determine but at least annually, issue such information on the estimates as in its opinion will facilitate the carrying out of this Convention.

ARTICLE 13

Administration of the statistical returns system

1. The Board shall determine the manner and form in which statistical returns shall be furnished as provided in article 20 and shall prescribe the forms therefor.

2. The Board shall examine the returns with a view to determining whether a Party or any

other State has complied with the provisions of this Convention.

3. The Board may require such further information as it considers necessary to complete or explain the information contained in such statistical returns.

4. It shall not be within the competence of the Board to question or express an opinion on statistical information respecting drugs required for special purposes.

ARTICLE 14

Measures by the Board to ensure the execution of provisions of the Convention

1. (a) If, on the basis of its examination of information submitted by Governments to the Board under the provisions of this Convention, or of information communicated by United Nations organs and bearing on questions arising under those provisions, the Board has reason to believe that the aims of this Convention are being seriously endangered by reason of the failure of any country or territory to carry out the provisions of this Convention, the Board shall have the right to ask for explanations from the Government of the country or territory in question. Subject to the right of the Board to call the attention of the Parties, the Council and the Commission to the matter referred to in sub-paragraph (c) below, it shall treat as confidential a request for information or an explanation by a Government under this sub-paragraph.

(b) After taking action under sub-paragraph (a) above, the Board, if satisfied that it is necessary to do so, may call upon the Government concerned to adopt such remedial measures as shall seem under the circumstances to be necessary for the execution of the provisions of this Convention.

(c) If the Board finds that the Government concerned has failed to give satisfactory ex-

planations when called upon to do so under sub-paragraph (a) above, or has failed to adopt any remedial measures which it has been called upon to take under sub-paragraph (b) above, it may call the attention of the Parties, the Council and the Commission to the matter.

2. The Board, when calling the attention of the Parties, the Council and the Commission to a matter in accordance with paragraph 1 (c) above, may, if it is satisfied that such a course is necessary, recommend to Parties that they stop the import of drugs, the export of drugs, or both, from or to the country or territory concerned, either for a designated period or until the Board shall be satisfied as to the situation in that country or territory. The State concerned may bring the matter before the Council.

3. The Board shall have the right to publish a report on any matter dealt with under the provisions of this article, and communicate it to the Council, which shall forward it to all Parties. If the Board publishes in this report a decision taken under this article or any information relating thereto, it shall also publish therein the views of the Government concerned if the latter so requests.

4. If in any case a decision of the Board which is published under this article is not unanimous, the views of the minority shall be stated.

5. Any State shall be invited to be represented at a meeting of the Board at which a question directly interesting it is considered under this article.

6. Decisions of the Board under this article shall be taken by a two-thirds majority of the whole number of the Board.

ARTICLE 15

Reports of the Board

1. The Board shall prepare an annual re-

port on its work and such additional reports as it considers necessary containing also an analysis of the estimates and statistical information at its disposal, and, in appropriate cases, an account of the explanations, if any, given by or required of Governments, together with any observations and recommendations which the Board desires to make. These reports shall be submitted to the Council through the Commission, which may make such comments as it sees fit.

2. The reports shall be communicated to the Parties and subsequently published by the Secretary-General. The Parties shall permit their unrestricted distribution.

ARTICLE 16

Secretariat

The secretariat services of the Commission and the Board shall be furnished by the Secretary-General.

ARTICLE 17

Special administration

The Parties shall maintain a special administration for the purpose of applying the provisions of this Convention.

ARTICLE 18

Information to be furnished by Parties to the Secretary-General

1. The Parties shall furnish to the Secretary-General such information as the Commission may request as being necessary for the performance of its functions, and in particular:

(a) An annual report on the working of the Convention within each of their territories;

(b) The text of all laws and regulations from time to time promulgated in order to give effect to this Convention;

(c) Such particulars as the Commission shall determine concerning cases of illicit traffic, including particulars of each case of illicit traffic discovered which may be of importance, because of the light thrown on the source from which drugs are obtained for the illicit traffic, or because of quantities involved or the method employed by illicit traffickers; and

(d) The names and addresses of the governmental authorities empowered to issue export and import authorizations or certificates.

2. Parties shall furnish the information referred to in the preceding paragraph in such manner and by such dates and use such forms as the Commission may request.

ARTICLE 19

Estimates of drug requirements

1. The Parties shall furnish to the Board each year for each of their territories, in the manner and form prescribed by the Board, estimates on forms supplied by it in respect of the following matters:

(a) Quantities of drugs to be consumed for medical and scientific purposes;

(b) Quantities of drugs to be utilized for the manufacture of other drugs, of preparations in Schedule III, and of substances not covered by this Convention;

(c) Stocks of drugs to be held as at 31 December of the year to which the estimates relate; and

(d) Quantities of drugs necessary for addition to special stocks.

2. Subject to the deductions referred to in paragraph 3 of article 21, the total of the estimates for each territory and each drug shall consist of the sum of the amounts specified under sub-paragraphs (a), (b) and (d) of paragraph 1 of this article, with the addition of any amount required to bring the actual

stocks on hand at 31 December of the preceding year to the level estimated as provided in sub-paragraph (c) of paragraph 1.

3. Any State may during the year furnish supplementary estimates with an explanation of the circumstances necessitating such estimates.

4. The Parties shall inform the Board of the method used for determining quantities shown in the estimates and of any changes in the said method.

5. Subject to the deductions referred to in paragraph 3 of article 21, the estimates shall not be exceeded.

ARTICLE 20

Statistical returns to be furnished to the Board

1. The Parties shall furnish to the Board for each of their territories, in the manner and form prescribed by the Board, statistical returns on forms supplied by it in respect of the following matters:

(a) Production or manufacture of drugs;

(b) Utilization of drugs for the manufacture of other drugs, of preparations in Schedule III and of substances not covered by this Convention, and utilization of poppy straw for the manufacture of drugs;

(c) Consumption of drugs;

(d) Imports and exports of drugs and poppy straw;

(e) Seizures of drugs and disposal thereof; and

(f) Stocks of drugs as at 31 December of the year to which the returns relate.

2. (a) The statistical returns in respect of the matters referred to in paragraph 1, except sub-paragraph (d), shall be prepared annually and shall be furnished to the Board not later

than 30 June following the year to which they relate.

(b) The statistical returns in respect to the matters referred to in sub-paragraph (d) of paragraph 1 shall be prepared quarterly and shall be furnished to the Board within one month after the end of the quarter to which they relate.

3. In addition to the matters referred to in paragraph 1 of this article the Parties may as far as possible also furnish to the Board for each of their territories information in respect of areas (in hectares) cultivated for the production of opium.

4. The Parties are not required to furnish statistical returns respecting special stocks, but shall furnish separately returns respecting drugs imported into or procured within the country or territory for special purposes, as well as quantities of drugs withdrawn from special stocks to meet the requirements of the civilian population.

ARTICLE 21

Limitation of manufacture and importation

1. The total of the quantities of each drug manufactured and imported by any country or territory in any one year shall not exceed the sum of the following:

(a) The quantity consumed, within the limit of the relevant estimate, for medical and scientific purposes;

(b) The quantity used, within the limit of the relevant estimate, for the manufacture of other drugs, of preparations in Schedule III, and of substances not covered by this Convention;

(c) The quantity exported;

(d) The quantity added to the stock for the purpose of bringing that stock up to the level specified in the relevant estimate; and

(e) The quantity acquired within the limit of the relevant estimate for special purposes.

2. From the sum of the quantities specified in paragraph 1 there shall be deducted any quantity that has been seized and released for licit use, as well as any quantity taken from special stocks for the requirements of the civilian population.

3. If the Board finds that the quantity manufactured and imported in any one year exceeds the sum of the quantities specified in paragraph 1, less any deductions required under paragraph 2 of this article, any excess so established and remaining at the end of the year shall, in the following year, be deducted from the quantity to be manufactured or imported and from the total of the estimates as defined in paragraph 2 of article 19.

4. (a) If it appears from the statistical returns on imports or exports (article 20) that the quantity exported to any country or territory exceeds the total of the estimates for that country or territory, as defined in paragraph 2 of article 19, with the addition of the amounts shown to have been exported, and after deduction of any excess as established in paragraph 3 of this article, the Board may notify this fact to States which, in the opinion of the Board, should be so informed;

(b) On receipt of such a notification, Parties shall not during the year in question authorize any further exports of the drug concerned to that country or territory, except:

(i) In the event of a supplementary estimate being furnished for that country or territory in respect both of any quantity over-imported and of the additional quantity required, or

(ii) In exceptional cases where the export, in the opinion of the government of the exporting country, is essential for the treatment of the sick.

ARTICLE 22

Special provision applicable to cultivation

Whenever the prevailing conditions in the country or a territory of a Party render the prohibition of the cultivation of the opium poppy, the coca bush or the cannabis plant the most suitable measure, in its opinion, for protecting the public health and welfare and preventing the diversion of drugs into the illicit traffic, the Party concerned shall prohibit cultivation.

ARTICLE 23

National opium agencies

1. A Party that permits the cultivation of the opium poppy for the production of opium shall establish, if it has not already done so, and maintain, one or more government agencies (hereafter in this article referred to as the Agency) to carry out the functions required under this article.

2. Each such Party shall apply the following provisions to the cultivation of the opium poppy for the production of opium and to opium:

(a) The Agency shall designate the areas in which, and the plots of land on which, cultivation of the opium poppy for the purpose of producing opium shall be permitted.

(b) Only cultivators licensed by the Agency shall be authorized to engage in such cultivation.

(c) Each licence shall specify the extent of the land on which the cultivation is permitted.

(d) All cultivators of the opium poppy shall be required to deliver their total crops of opium to the Agency. The Agency shall purchase and take physical possession of such crops as soon as possible, but not later than four months after the end of the harvest.

(e) The Agency shall, in respect of opium,

have the exclusive right of importing, exporting, wholesale trading and maintaining stocks other than those held by manufacturers of opium alkaloids, medicinal opium or opium preparations. Parties need not extend this exclusive right to medicinal opium and opium preparations.

3. The governmental functions referred to in paragraph 2 shall be discharged by a single government agency if the constitution of the Party concerned permits it.

ARTICLE 24

Limitation on production of opium for international trade

1. (a) If any Party intends to initiate the production of opium or to increase existing production, it shall take account of the prevailing world need for opium in accordance with the estimates thereof published by the Board so that the production of opium by such Party does not result in over-production of opium in the world.

(b) A Party shall not permit the production of opium or increase the existing production thereof if in its opinion such production or increased production in its territory may result in illicit traffic in opium.

2. (a) Subject to paragraph 1, where a Party which as of 1 January 1961 was not producing opium for export desires to export opium which it produces, in amounts not exceeding five tons annually, it shall notify the Board, furnishing with such notification information regarding:

(i) The controls in force as required by this Convention respecting the opium to be produced and exported; and

(ii) The name of the country or countries to which it expects to export such opium; and the Board may either approve such notifi-

cation or may recommend to the Party that it not engage in the production of opium for export.

(b) Where a Party other than a Party referred to in paragraph 3 desires to produce opium for export in amounts exceeding five tons annually, it shall notify the Council, furnishing with such notification relevant information including:

(i) The estimated amounts to be produced for export;

(ii) The controls existing or proposed respecting the opium to be produced;

(iii) The name of the country or countries to which it expects to export such opium; and the Council shall either approve the notification or may recommend to the Party that it not engage in the production of opium for export.

3. Notwithstanding the provisions of subparagraphs (a) and (b) of paragraph 2, a Party that during ten years immediately prior to 1 January 1961 exported opium which such country produced may continue to export opium which it produces.

4. (a) A Party shall not import opium from any country or territory except opium produced in the territory of:

(i) A Party referred to in paragraph 3;

(ii) A Party that has notified the Board as provided in subparagraph (a) of paragraph 2; or

(iii) A Party that has received the approval of the Council as provided in subparagraph (b) of paragraph 2.

(b) Notwithstanding subparagraph (a) of this paragraph, a Party may import opium produced by any country which produced and exported opium during the ten years prior to 1 January 1961 if such country has established and maintains a national control organ or agency for the purposes set out in article 23

and has in force an effective means of ensuring that the opium it produces is not diverted into the illicit traffic.

5. The provisions of this article do not prevent a Party:

(a) From producing opium sufficient for its own requirements; or

(b) From exporting opium seized in the illicit traffic, to another Party in accordance with the requirements of this Convention.

ARTICLE 25

Control of poppy straw

1. A Party that permits the cultivation of the opium poppy for purposes other than the production of opium shall take all measures necessary to ensure:

(a) That opium is not produced from such opium poppies; and

(b) That the manufacture of drugs from poppy straw is adequately controlled.

2. The Parties shall apply to poppy straw the system of import certificates and export authorizations as provided in article 31, paragraphs 4 to 15.

3. The Parties shall furnish statistical information on the import and export of poppy straw as required for drugs under article 20, paragraphs 1 (d) and 2 (b).

ARTICLE 26

The coca bush and coca leaves

1. If a Party permits the cultivation of the coca bush, it shall apply thereto and to coca leaves the system of controls as provided in article 23 respecting the control of the opium poppy, but as regards paragraph 2 (d) of that article, the requirements imposed on the

Agency therein referred to shall be only to take physical possession of the crops as soon as possible after the end of the harvest.

2. The Parties shall so far as possible enforce the uprooting of all coca bushes which grow wild. They shall destroy the coca bushes if illegally cultivated.

ARTICLE 27

Additional provisions relating to coca leaves

1. The Parties may permit the use of coca leaves for the preparation of a flavouring agent, which shall not contain any alkaloids, and, to the extent necessary for such use, may permit the production, import, export, trade in and possession of such leaves.

2. The Parties shall furnish separately estimates (article 19) and statistical information (article 20) in respect of coca leaves for preparation of the flavouring agent, except to the extent that the same coca leaves are used for the extraction of alkaloids and the flavouring agent, and so explained in the estimates and statistical information.

ARTICLE 28

Control of cannabis

1. If a Party permits the cultivation of the cannabis plant for the production of cannabis or cannabis resin, it shall apply thereto the system of controls as provided in article 23 respecting the control of the opium poppy.

2. This Convention shall not apply to the cultivation of the cannabis plant exclusively for industrial purposes (fibre and seed) or horticultural purposes.

3. The Parties shall adopt such measures as may be necessary to prevent the misuse of, and illicit traffic in, the leaves of the cannabis plant.

ARTICLE 29

Manufacture

1. The Parties shall require that the manufacture of drugs be under licence except where such manufacture is carried out by a State enterprise or State enterprises.

2. The Parties shall:

(a) Control all persons and enterprises carrying on or engaged in the manufacture of drugs;

(b) Control under licence the establishments and premises in which such manufacture may take place; and

(c) Require that licensed manufacturers of drugs obtain periodical permits specifying the kinds and amounts of drugs which they shall be entitled to manufacture. A periodical permit, however, need not be required for preparations.

3. The Parties shall prevent the accumulation, in the possession of drug manufacturers, of quantities of drugs and poppy straw in excess of those required for the normal conduct of business, having regard to the prevailing market conditions.

ARTICLE 30

Trade and distribution

1. (a) The Parties shall require that the trade in and distribution of drugs be under licence except where such trade or distribution is carried out by a State enterprise or State enterprises.

(b) The Parties shall:

(i) Control all persons and enterprises carrying on or engaged in the trade in or distribution of drugs;

(ii) Control under licence the establishments and premises in which such trade or dis-

tribution may take place. The requirement of licensing need not apply to preparations.

(c) The provisions of sub-paragraphs (a) and (b) relating to licensing need not apply to persons duly authorized to perform and while performing therapeutic or scientific functions.

2. The Parties shall also:

(a) Prevent the accumulation in the possession of traders, distributors, State enterprises or duly authorized persons referred to above, of quantities of drugs and poppy straw in excess of those required for the normal conduct of business, having regard to the prevailing market conditions; and

(b) (i) Require medical prescriptions for the supply or dispensation of drugs to individuals. This requirement need not apply to such drugs as individuals may lawfully obtain, use, dispense or administer in connexion with their duly authorized therapeutic functions; and

(ii) If the Parties deem these measures necessary or desirable, require that prescriptions for drugs in Schedule I should be written on official forms to be issued in the form of counterfoil books by the competent governmental authorities or by authorized professional associations.

3. It is desirable that Parties require that written or printed offers of drugs, advertisements of every kind or descriptive literature relating to drugs and used for commercial purposes, interior wrappings of packages containing drugs, and labels under which drugs are offered for sale indicate the international non-proprietary name communicated by the World Health Organization.

4. If a Party considers such measure necessary or desirable, it shall require that the inner package containing a drug or wrapping thereof shall bear a clearly visible double red band.

The exterior wrapping of the package in which such drug is contained shall not bear a double red band.

5. A Party shall require that the label under which a drug is offered for sale show the exact drug content by weight or percentage. This requirement of label information need not apply to a drug dispensed to an individual on medical prescription.

6. The provisions of paragraphs 2 and 5 need not apply to the retail trade in or retail distribution of drugs in Schedule II.

ARTICLE 31

Special provisions relating to international trade

1. The Parties shall not knowingly permit the export of drugs to any country or territory except:

(a) In accordance with the laws and regulations of that country or territory; and

(b) Within the limits of the total of the estimates for that country or territory, as defined in paragraph 2 of article 19, with the addition of the amounts intended to be re-exported.

2. The Parties shall exercise in free ports and zones the same supervision and control as in other parts of their territories, provided, however, that they may apply more drastic measures.

3. The Parties shall:

(a) Control under licence the import and export of drugs except where such import or export is carried out by a State enterprise or enterprises;

(b) Control all persons and enterprises carrying on or engaged in such import or export.

4. (a) Every Party permitting the import or export of drugs shall require a separate import or export authorization to be obtained for each such import or export whether it consists of one or more drugs.

(b) Such authorization shall state the name of the drug, the international non-proprietary name if any, the quantity to be imported or exported, and the name and address of the importer and exporter, and shall specify the period within which the importation or exportation must be effected.

(c) The export authorization shall also state the number and date of the import certificate (paragraph 5) and the authority by whom it has been issued.

(d) The import authorization may allow an importation in more than one consignment.

5. Before issuing an export authorization the Parties shall require an import certificate, issued by the competent authorities of the importing country or territory and certifying that the importation of the drug or drugs referred to therein, is approved and such certificate shall be produced by the person or establishment applying for the export authorization. The Parties shall follow as closely as may be practicable the form of import certificate approved by the Commission.

6. A copy of the export authorization shall accompany each consignment, and the Government issuing the export authorization shall send a copy to the Government of the importing country or territory.

7. (a) The Government of the importing country or territory, when the importation has been effected or when the period fixed for the importation has expired, shall return the export authorization, with an endorsement to that effect, to the Government of the exporting country or territory.

(b) The endorsement shall specify the amount actually imported.

(c) If a lesser quantity than that specified in the export authorization is actually exported, the quantity actually exported shall be stated by the competent authorities on the export authorization and on any official copy thereof.

8. Exports of consignments to a post office box, or to a bank to the account of a party other than the party named in the export authorization, shall be prohibited.

9. Exports of consignments to a bonded warehouse are prohibited unless the government of the importing country certifies on the import certificate, produced by the person or establishment applying for the export authorization, that it has approved the importation for the purpose of being placed in a bonded warehouse. In such case the export authorization shall specify that the consignment is exported for such purpose. Each withdrawal from the bonded warehouse shall require a permit from the authorities having jurisdiction over the warehouse and, in the case of a foreign destination shall be treated as if it were a new export within the meaning of this Convention.

10. Consignments of drugs entering or leaving the territory of a Party not accompanied by an export authorization shall be detained by the competent authorities.

11. A Party shall not permit any drugs consigned to another country to pass through its territory, whether or not the consignment is removed from the conveyance in which it is carried, unless a copy of the export authorization for such consignment is produced to the competent authorities of such Party.

12. The competent authorities of any country or territory through which a consignment of drugs is permitted to pass shall take all due measures to prevent the diversion of the consignment to a destination other than that named

in the accompanying copy of the export authorization unless the Government of that country or territory through which the consignment is passing authorizes the diversion. The Government of the country or territory of transit shall treat any requested diversion as if the diversion were an export from the country or territory of transit to the country or territory of new destination. If the diversion is authorized, the provisions of paragraph 7 (a) and (b) shall also apply between the country or territory of transit and the country or territory which originally exported the consignment.

13. No consignment of drugs while in transit, or whilst being stored in a bonded warehouse, may be subjected to any process which would change the nature of the drugs in question. The packing may not be altered without the permission of the competent authorities.

14. The provisions of paragraphs 11 to 13 relating to the passage of drugs through the territory of a Party do not apply where the consignment in question is transported by aircraft which does not land in the country or territory of transit. If the aircraft lands in any such country or territory, those provisions shall be applied so far as circumstances require.

15. The provisions of this article are without prejudice to the provisions of any international agreements which limit the control which may be exercised by any of the Parties over drugs in transit.

16. Nothing in this article other than paragraphs 1 (a) and 2 need apply in the case of preparations in Schedule III.

ARTICLE 32

Special provisions concerning the carriage of drugs in first-aid kits of ships or aircraft engaged in international traffic

1. The international carriage by ships or aircraft of such limited amounts of drugs as

may be needed during their journey or voyage for first-aid purposes or emergency cases shall not be considered to be import, export or passage through a country within the meaning of this Convention.

2. Appropriate safeguards shall be taken by the country of registry to prevent the improper use of the drugs referred to in paragraph 1 or their diversion for illicit purposes. The Commission, in consultation with the appropriate international organizations, shall recommend such safeguards.

3. Drugs carried by ships or aircraft in accordance with paragraph 1 shall be subject to the laws, regulations, permits and licences of the country of registry, without prejudice to any rights of the competent local authorities to carry out checks, inspections and other control measures on board ships or aircraft. The administration of such drugs in the case of emergency shall not be considered a violation of the requirements of article 30, paragraph 2 (b).

ARTICLE 33

Possession of drugs

The Parties shall not permit the possession of drugs except under legal authority.

ARTICLE 34

Measures of supervision and inspection

The Parties shall require:

(a) That all persons who obtain licences as provided in accordance with this Convention, or who have managerial or supervisory positions in a State enterprise established in accordance with this Convention, shall have adequate qualifications for the effective and faithful execution of the provisions of such laws and regulations as are enacted in pursuance thereof; and

(b) That governmental authorities, manufacturers, traders, scientists, scientific institutions and hospitals keep such records as will show the quantities of each drug manufactured and of each individual acquisition and disposal of drugs. Such records shall respectively be preserved for a period of not less than two years. Where counterfoil books (article 30, paragraph 2 (b)) of official prescriptions are used, such books including the counterfoils shall also be kept for a period of not less than two years.

ARTICLE 35

Action against the illicit traffic

Having due regard to their constitutional, legal and administrative systems, the Parties shall:

(a) Make arrangements at the national level for co-ordination of preventive and repressive action against the illicit traffic; to this end they may usefully designate an appropriate agency responsible for such co-ordination;

(b) Assist each other in the campaign against the illicit traffic in narcotic drugs;

(c) Co-operate closely with each other and with the competent international organizations of which they are members with a view to maintaining a co-ordinated campaign against the illicit traffic;

(d) Ensure that international co-operation between the appropriate agencies be conducted in an expeditious manner; and

(e) Ensure that where legal papers are transmitted internationally for the purposes of a prosecution, the transmittal be effected in an expeditious manner to the bodies designated by the Parties; this requirement shall be without prejudice to the right of a Party to require that legal papers be sent to it through the diplomatic channel.

ARTICLE 36

Penal provisions

1. Subject to its constitutional limitations, each Party shall adopt such measures as will ensure that cultivation, production, manufacture, extraction, preparation, possession, offering, offering for sale, distribution, purchase, sale, delivery on any terms whatsoever, brokerage, dispatch, dispatch in transit, transport, importation and exportation of drugs contrary to the provisions of this Convention, and any other action which in the opinion of such Party may be contrary to the provisions of this Convention, shall be punishable offences when committed intentionally, and that serious offences shall be liable to adequate punishment particularly by imprisonment or other penalties of deprivation of liberty.

2. Subject to the constitutional limitations of a Party, its legal system and domestic law,

(a) (i) Each of the offences enumerated in paragraph 1, if committed in different countries, shall be considered as a distinct offence;

(ii) Intentional participation in, conspiracy to commit and attempts to commit, any of such offences, and preparatory acts and financial operations in connexion with the offences referred to in this article, shall be punishable offences as provided in paragraph 1;

(iii) Foreign convictions for such offences shall be taken into account for the purpose of establishing recidivism; and

(iv) Serious offences heretofore referred to committed either by nationals or by foreigners shall be prosecuted by the Party in whose territory the offence was committed, or by the Party in whose territory the offender is found if extradition is not acceptable in conformity with the law of the Party to which application is made, and if such offender has not already been prosecuted and judgement given.

(b) It is desirable that the offences referred to in paragraph 1 and paragraph 2 (a) (ii) be included as extradition crimes in any extradition treaty which has been or may hereafter be concluded between any of the Parties, and, as between any of the Parties which do not make extradition conditional on the existence of a treaty or on reciprocity, be recognized as extradition crimes; provided that extradition shall be granted in conformity with the law of the Party to which application is made, and that the Party shall have the right to refuse to effect the arrest or grant the extradition in cases where the competent authorities consider that the offence is not sufficiently serious.

3. The provisions of this article shall be subject to the provisions of the criminal law of the Party concerned on questions of jurisdiction.

4. Nothing contained in this article shall affect the principle that the offences to which it refers shall be defined, prosecuted and punished in conformity with the domestic law of a Party.

ARTICLE 37

Seizure and confiscation

Any drugs, substances and equipment used in or intended for the commission of any of the offences, referred to in article 36, shall be liable to seizure and confiscation.

ARTICLE 38

Treatment of drug addicts

1. The Parties shall give special attention to the provision of facilities for the medical treatment, care and rehabilitation of drug addicts.

2. If a Party has a serious problem of drug addiction and its economic resources permit, it is desirable that it establish adequate facilities for the effective treatment of drug addicts.

ARTICLE 39

Application of stricter national control measures than those required by this Convention

Notwithstanding anything contained in this Convention, a Party shall not be, or be deemed to be, precluded from adopting measures of control more strict or severe than those provided by this Convention and in particular from requiring that preparations in Schedule III or drugs in Schedule II be subject to all or such of the measures of control applicable to drugs in Schedule I as in its opinion is necessary or desirable for the protection of the public health or welfare.

ARTICLE 40

Languages of the Convention and procedure for signature, ratification and accession

1. This Convention, of which the Chinese, English, French, Russian and Spanish texts are equally authentic, shall be open for signature until 1 August 1961 on behalf of any Member of the United Nations, of any non-member State which is a Party to the Statute of the International Court of Justice or member of a specialized agency of the United Nations, and also of any other State which the Council may invite to become a Party.

2. This Convention is subject to ratification. The instruments of ratification shall be deposited with the Secretary-General.

3. This Convention shall be open after 1 August 1961 for accession by the States referred to in paragraph 1. The instruments of accession shall be deposited with the Secretary-General.

ARTICLE 41

Entry into force

1. This Convention shall come into force on the thirtieth day following the date on which

the fortieth instrument of ratification or accession is deposited in accordance with article 40.

2. In respect of any other State depositing an instrument of ratification or accession after the date of deposit of the said fortieth instrument, this Convention shall come into force on the thirtieth day after the deposit by that State of its instrument of ratification or accession.

ARTICLE 42

Territorial application

This Convention shall apply to all non-metropolitan territories for the international relations of which any Party is responsible, except where the previous consent of such a territory is required by the Constitution of the Party or of the territory concerned, or required by custom. In such case the Party shall endeavour to secure the needed consent of the territory within the shortest period possible, and when that consent is obtained the Party shall notify the Secretary-General. This Convention shall apply to the territory or territories named in such notification from the date of its receipt by the Secretary-General. In those cases where the previous consent of the non-metropolitan territory is not required, the Party concerned shall, at the time of signature, ratification or accession, declare the non-metropolitan territory or territories to which this Convention applies.

ARTICLE 43

Territories for the purposes of articles 19, 20, 21 and 31

1. Any Party may notify the Secretary-General that, for the purposes of articles 19, 20, 21 and 31, one of its territories is divided into two or more territories, or that two or more of its territories are consolidated into a single territory.

2. Two or more Parties may notify the Secretary-General that, as the result of the establishment of a customs union between them, those Parties constitute a single territory for the purposes of articles 19, 20, 21 and 31.

3. Any notification under paragraph 1 or 2 above shall take effect on 1 January of the year following the year in which the notification was made.

ARTICLE 44

Termination of previous international treaties

1. The provisions of this Convention, upon its coming into force, shall, as between Parties hereto, terminate and replace the provisions of the following treaties:

(a) International Opium Convention, signed at The Hague on 23 January 1912;

(b) Agreement concerning the Manufacture of, Internal Trade in and Use of Prepared Opium, signed at Geneva on 11 February 1925;

(c) International Opium Convention, signed at Geneva on 19 February 1925;

(d) Convention for Limiting the Manufacture and Regulating the Distribution of Narcotic Drugs, signed at Geneva on 13 July 1931;

(e) Agreement for the Control of Opium Smoking in the Far East, signed at Bangkok on 27 November 1931;

(f) Protocol signed at Lake Success on 11 December 1946, amending the Agreements, Conventions and Protocols on Narcotic Drugs concluded at The Hague on 23 January 1912, at Geneva on 11 February 1925 and 19 February 1925 and 13 July 1931, at Bangkok on 27 November 1931 and at Geneva on 26 June 1936, except as it affects the last-named Convention;

(g) The Conventions and Agreements referred to in sub-paragraphs (a) to (e) as amended by the Protocol of 1946 referred to in sub-paragraph (f);

(h) Protocol signed at Paris on 19 November 1948 Bringing under International Control Drugs outside the Scope of the Convention of 13 July 1931 for Limiting the Manufacture and Regulating the Distribution of Narcotic Drugs, as amended by the Protocol signed at Lake Success on 11 December 1946;

(i) Protocol for Limiting and Regulating the Cultivation of the Poppy Plant, the Production of, International and Wholesale Trade in, and Use of Opium, signed at New York on 23 June 1953, should that Protocol have come into force.

2. Upon the coming into force of this Convention, article 9 of the Convention for the Suppression of the Illicit Traffic in Dangerous Drugs, signed at Geneva on 26 June 1936, shall, between the Parties thereto which are also Parties to this Convention, be terminated, and shall be replaced by paragraph 2 (b) of article 36 of this Convention; provided that such a Party may by notification to the Secretary-General continue in force the said article 9.

ARTICLE 45

Transitional provisions

1. The functions of the Board provided for in article 9 shall, as from the date of the coming into force of this Convention (article 41, paragraph 1), be provisionally carried out by the Permanent Central Board constituted under chapter VI of the Convention referred to in article 44 (c) as amended, and by the Supervisory Body constituted under chapter II of the Convention referred to in article 44 (d) as amended, as such functions may respectively require.

2. The Council shall fix the date on which the new Board referred to in article 9 shall enter upon its duties. As from that date that Board shall, with respect to the States Parties to the treaties enumerated in article 44 which

are not Parties to this Convention, undertake the functions of the Permanent Central Board and of the Supervisory Body referred to in paragraph 1.

ARTICLE 46

Denunciation

1. After the expiry of two years from the date of the coming into force of this Convention (article 41, paragraph 1) any Party may, on its own behalf or on behalf of a territory for which it has international responsibility, and which has withdrawn its consent given in accordance with article 42, denounce this Convention by an instrument in writing deposited with the Secretary-General.

2. The denunciation, if received by the Secretary-General on or before the first day of July in any year, shall take effect on the first day of January in the succeeding year, and, if received after the first day of July, shall take effect as if it had been received on or before the first day of July in the succeeding year.

3. This Convention shall be terminated if, as a result of denunciations made in accordance with paragraph 1, the conditions for its coming into force as laid down in article 41, paragraph 1, cease to exist.

ARTICLE 47

Amendments

1. Any Party may propose an amendment to this Convention. The text of any such amendment and the reasons therefor shall be communicated to the Secretary-General who shall communicate them to the Parties and to the Council. The Council may decide either:

(a) That a conference shall be called in accordance with Article 62, paragraph 4, of the Charter of the United Nations to consider the proposed amendment; or

(b) That the Parties shall be asked whether they accept the proposed amendment and also asked to submit to the Council any comments on the proposal.

2. If a proposed amendment circulated under paragraph 1 (b) of this article has not been rejected by any Party within eighteen months after it has been circulated, it shall thereupon enter into force. If however a proposed amendment is rejected by any Party, the Council may decide, in the light of comments received from Parties, whether a conference shall be called to consider such amendment.

ARTICLE 48

Disputes

1. If there should arise between two or more Parties a dispute relating to the interpretation or application of this Convention, the said Parties shall consult together with a view to the settlement of the dispute by negotiation, investigation, mediation, conciliation, arbitration, recourse to regional bodies, judicial process or other peaceful means of their own choice.

2. Any such dispute which cannot be settled in the manner prescribed shall be referred to the International Court of Justice for decision.

ARTICLE 49

Transitional reservations

1. A Party may at the time of signature, ratification or accession reserve the right to permit temporarily in any one of its territories:

(a) The quasi-medical use of opium;

(b) Opium smoking;

(c) Coca leaf chewing;

(d) The use of cannabis, cannabis resin, extracts and tinctures of cannabis for non-medical purposes; and

(e) The production and manufacture of and trade in the drugs referred to under (a) to (d) for the purposes mentioned therein.

2. The reservations under paragraph 1 shall be subject to the following restrictions:

(a) The activities mentioned in paragraph 1 may be authorized only to the extent that they were traditional in the territories in respect of which the reservation is made, and were there permitted on 1 January 1961.

(b) No export of the drugs referred to in paragraph 1 for the purposes mentioned therein may be permitted to a non-party or to a territory to which this Convention does not apply under article 42.

(c) Only such persons may be permitted to smoke opium as were registered by the competent authorities to this effect on 1 January 1964.

(d) The quasi-medical use of opium must be abolished within 15 years from the coming into force of this Convention as provided in paragraph 1 of article 41.

(e) Coca leaf chewing must be abolished within twenty-five years from the coming into force of this Convention as provided in paragraph 1 of article 41.

(f) The use of cannabis for other than medical and scientific purposes must be discontinued as soon as possible but in any case within twenty-five years from the coming into force of this Convention as provided in paragraph 1 of article 41.

(g) The production and manufacture of and trade in the drugs referred to in paragraph 1 for any of the uses mentioned therein must be reduced and finally abolished simultaneously with the reduction and abolition of such uses.

3. A Party making a reservation under paragraph 1 shall:

(a) Include in the annual report to be furnished to the Secretary-General, in accordance with article 18, paragraph 1 (a), an account of the progress made in the preceding year towards the abolition of the use, production, manufacture or trade referred to under paragraph 1; and

(b) Furnish to the Board separate estimates (article 19) and statistical returns (article 20) in respect of the reserved activities in the manner and form prescribed by the Board.

4. (a) If a Party which makes a reservation under paragraph 1 fails to furnish:

(i) The report referred to in paragraph 3 (a) within six months after the end of the year to which the information relates;

(ii) The estimates referred to in paragraph 3 (b) within three months after the date fixed for that purpose by the Board in accordance with article 12, paragraph 1;

(iii) The statistics referred to in paragraph 3 (b) within three months after the date on which they are due in accordance with article 20, paragraph 2,

the Board or the Secretary-General, as the case may be, shall send to the Party concerned a notification of the delay, and shall request such information within a period of three months after the receipt of that notification.

(b) If the Party fails to comply within this period with the request of the Board or the Secretary-General, the reservation in question made under paragraph 1 shall cease to be effective.

5. A State which has made reservations may at any time by notification in writing withdraw all or part of its reservations.

ARTICLE 50

Other reservations

1. No reservations other than those made

in accordance with article 49 or with the following paragraphs shall be permitted.

2. Any State may at the time of signature, ratification or accession make reservations in respect of the following provisions of this Convention: article 12, paragraphs 2 and 3; article 13, paragraph 2; article 14, paragraphs 1 and 2; article 31, paragraph 1 (b), and article 48.

3. A State which desires to become a Party but wishes to be authorized to make reservations other than those made in accordance with paragraph 2 of this article or with article 49 may inform the Secretary-General of such intention. Unless by the end of twelve months after the date of the Secretary-General's communication of the reservation concerned, this reservation has been objected to by one third of the States that have ratified or acceded to this Convention before the end of that period, it shall be deemed to be permitted, it being understood however that States which have objected to the reservation need not assume towards the reserving State any legal obligation under this Convention which is affected by the reservation.

4. A State which has made reservations may at any time by notification in writing withdraw all or part of its reservations.

ARTICLE 51

Notifications

The Secretary-General shall notify to all the States referred to in paragraph 1 of article 40:

(a) Signatures, ratifications and accessions in accordance with article 40;

(b) The date upon which this Convention enters into force in accordance with article 41;

(c) Denunciations in accordance with article 46; and

(d) Declarations and notifications under articles 42, 43, 47, 49 and 50.

IN WITNESS WHEREOF, the undersigned, duly authorized, have signed this Convention on behalf of their respective Governments:

DONE at New York, this thirtieth day of March one thousand nine hundred and sixty

one, in a single copy, which shall be deposited in the archives of the United Nations, and of which certified true copies shall be transmitted to all the Members of the United Nations and to the other States referred to in article 40, paragraph 1.

CONVENTION UNIQUE SUR LES STUPEFIANTS DE 1961

PRÉAMBULE

Les Parties,

Soucieuses de la santé physique et morale de l'humanité,

Reconnaissant que l'usage médical des stupéfiants demeure indispensable pour soulager la douleur et que les mesures voulues doivent être prises pour assurer que des stupéfiants soient disponibles à cette fin,

Reconnaissant que la toxicomanie est un fléau pour l'individu et constitue un danger économique et social pour l'humanité,

Conscientes du devoir qui leur incombe de prévenir et de combattre ce fléau,

Considérant que pour être efficaces les mesures prises contre l'abus des stupéfiants doivent être coordonnées et universelles,

Estimant qu'une action universelle de cet ordre exige une coopération internationale guidée par les mêmes principes et visant des buts communs,

Reconnaissant la compétence de l'Organisation des Nations Unies en matière de contrôle des stupéfiants et désireuses que les organes internationaux intéressés soient groupés dans le cadre de cette Organisation,

Désireuses de conclure une convention internationale acceptable pour tous, remplaçant la plupart des traités existants relatifs aux stupéfiants, limitant l'usage des stupéfiants aux fins médicales et scientifiques et établissant une coopération internationale constante pour mettre en œuvre ces principes et atteindre ces buts,

Conviennent de ce qui suit:

ARTICLE PREMIER

Définitions

1. Sauf indication expresse en sens contraire ou sauf si le contexte exige qu'il en soit autrement, les définitions ci-après s'appliquent à toutes les dispositions de la présente Convention:

a) Le terme "Organe" désigne l'Organe international de contrôle des stupéfiants.

b) Le terme "cannabis" désigne les sommités florifères ou fructifères de la plante de cannabis (à l'exclusion des graines et des feuilles qui ne sont pas accompagnées des sommités) dont la résine n'a pas été extraite, quelle que soit leur application.

c) L'expression "plante de cannabis" désigne toute plante du genre cannabis.

d) L'expression "résine de cannabis" désigne la résine séparée, brute ou purifiée, obtenue à partir de la plante de cannabis.

e) Le terme "cocaïer" désigne toute espèce d'arbustes du genre érythroxyton.

f) L'expression "feuille de coca" désigne la feuille du cocaïer à l'exception de la feuille dont toute l'ecgonine, la cocaïne et tout autre alcaloïde ecgoninique ont été enlevés.

g) Le terme "Commission" désigne la Commission des stupéfiants du Conseil.

h) Le terme "Conseil" désigne le Conseil économique et social des Nations Unies.

i) Le terme "culture" désigne la culture du pavot à opium, du cocaïer et de la plante de cannabis.

j) Le terme "stupéfiant" désigne toute substance des Tableaux I et II, qu'elle soit naturelle ou synthétique.

k) L'expression "Assemblée générale" désigne l'Assemblée générale des Nations Unies.

l) L'expression "trafic illicite" désigne la culture ou tout trafic de stupéfiants contraires aux buts de la présente Convention.

m) Les termes "importation" et "exportation" désignent, chacun avec son sens particulier, le transport matériel de stupéfiants d'un Etat dans un autre Etat ou d'un territoire dans un autre territoire du même Etat.

n) Le terme "fabrication" désigne toutes les opérations, autres que la production, permettant d'obtenir des stupéfiants et comprend la purification de même que la transformation de stupéfiants en d'autres stupéfiants.

o) L'expression "opium médicinal" désigne l'opium qui a subi les préparations nécessaires pour son utilisation thérapeutique.

p) Le terme "opium" désigne le latex épais du pavot à opium.

q) L'expression "pavot à opium" désigne la plante de l'espèce *Papaver somniferum*, L.

r) L'expression "paille de pavot" désigne toutes les parties (à l'exception des graines) du pavot à opium, après fauchage.

s) Le terme "préparation" désigne un mélange, solide ou liquide, contenant un stupéfiant.

t) Le terme "production" désigne l'opération qui consiste à recueillir l'opium, la feuille de coca, le cannabis et la résine de cannabis des plantes qui les fournissent.

u) Les expressions "Tableau I", "Tableau II", "Tableau III" et "Tableau IV" s'entendent des listes de stupéfiants ou de préparations annexées à la présente Convention et qui pourront être modifiées de temps à autre conformément à l'article 3.

v) L'expression "Secrétaire général" désigne le Secrétaire général de l'Organisation des Nations Unies.

w) L'expression "stocks spéciaux" désigne les quantités de stupéfiants détenues dans un pays ou territoire par le gouvernement de ce pays ou territoire pour ses besoins spéciaux et en prévision de circonstances exceptionnelles; l'expression "besoins spéciaux" doit s'entendre en conséquence.

x) Le terme "stocks" désigne les quantités de stupéfiants détenues dans un pays ou territoire et destinées:

i) A une consommation médicale et scientifique dans ce pays ou territoire;

ii) A la fabrication et à la préparation de stupéfiants et d'autres substances dans ce pays ou territoire;

iii) A l'exportation;

mais n'inclut pas les quantités de stupéfiants détenues dans un pays ou territoire par:

iv) Les pharmaciens ou d'autres distributeurs détaillants autorisés et les établissements ou les personnes qualifiés dans l'exercice dûment autorisé de leurs fonctions thérapeutiques ou scientifiques; ou

v) En tant que stocks spéciaux.

y) Le terme "territoire" désigne toute partie d'un Etat qui est traitée comme une entité distincte pour l'application du système de certificats d'importation et d'autorisations d'exportation prévu à l'article 31. Cette définition ne s'applique pas au terme "territoire" tel qu'il est employé aux articles 42 et 46.

2. Aux fins de cette Convention, un stupéfiant sera considéré comme consommé lorsqu'il aura été fourni à toute personne ou entreprise pour la distribution au détail, pour l'usage médical ou pour la recherche scientifique; le mot "consommation" s'entendra conformément à cette définition.

ARTICLE 2

Substances soumises au contrôle

1. Sauf en ce qui concerne les mesures de contrôle limitées à des stupéfiants donnés, les

stupéfiants du Tableau I sont soumis à toutes les mesures de contrôle applicables aux stupéfiants visés par la présente Convention et, en particulier, aux mesures prévues dans les articles ci-après: 4 (paragraphe c), 19, 20, 21, 29, 30, 31, 32, 33, 34 et 37.

2. Les stupéfiants du Tableau II sont soumis aux mêmes mesures de contrôle que les stupéfiants du Tableau I, à l'exception des mesures prévues aux paragraphes 2 et 5 de l'article 30, en ce qui concerne le commerce de détail.

3. Les préparations autres que celles du Tableau III sont soumises aux mêmes mesures de contrôle que les stupéfiants qu'elles contiennent, mais les évaluations (article 19) et les statistiques (article 20) autres que celles se rapportant à ces stupéfiants ne seront pas requises dans le cas de telles préparations et les dispositions de l'article 29 (paragraphe 2, c) et de l'article 30 (paragraphe 1, b, ii) ne seront pas appliquées.

4. Les préparations du Tableau III sont soumises aux mêmes mesures de contrôle que les préparations qui contiennent des stupéfiants du Tableau II, sauf que les paragraphes 1, b, et 3 à 15 de l'article 31 ne seront pas appliqués et que pour les évaluations (article 19) et les statistiques (article 20) les renseignements demandés seront limités aux quantités de stupéfiants utilisées dans la fabrication desdites préparations.

5. Les stupéfiants du Tableau IV seront également inclus au Tableau I et soumis à toutes les mesures de contrôle applicables aux stupéfiants de ce dernier Tableau, et en outre:

a) Les Parties devront adopter toutes les mesures spéciales de contrôle qu'elles jugeront nécessaires en raison des propriétés particulièrement dangereuses des stupéfiants visés; et

b) Les Parties devront si, à leur avis, la situation dans leur pays fait que c'est là le moyen le plus approprié de protéger la santé publique,

interdire la production, la fabrication, l'exportation et l'importation, le commerce, la détention ou l'utilisation de tels stupéfiants à l'exception des quantités qui pourront être nécessaires exclusivement pour la recherche médicale et scientifique, y compris les essais cliniques avec lesdits stupéfiants, qui devront avoir lieu sous la surveillance et le contrôle directs de ladite Partie ou être subordonnés à cette surveillance et à ce contrôle.

6. En plus des mesures de contrôle applicables à tous les stupéfiants du Tableau I, l'opium est soumis aux dispositions des articles 23 et 24, la feuille de coca aux dispositions des articles 26 et 27 et le cannabis aux dispositions de l'article 28.

7. Le pavot à opium, le cocaïer, la plante de cannabis, la paille de pavot et les feuilles de cannabis sont soumis aux mesures de contrôle prévues respectivement aux articles 22 à 24; 22, 26 et 27; 22 et 28; 25; et 28.

8. Les Parties feront tout ce qui est en leur pouvoir afin de soumettre à des mesures de surveillance autant que faire se pourra les substances qui ne sont pas visées par la présente Convention, mais qui peuvent être utilisées pour la fabrication illicite de stupéfiants.

9. Les Parties ne sont pas tenues d'appliquer les dispositions de la présente Convention aux stupéfiants qui sont couramment employés dans l'industrie à des fins autres que les fins médicales ou scientifiques, à condition:

a) Qu'elles prennent des mesures pour empêcher, en recourant à des procédés appropriés de dénaturation ou par tout autre moyen, que les stupéfiants ainsi employés puissent donner lieu à des abus ou produire des effets nocifs (article 3, paragraphe 3) et que dans la pratique la substance nocive puisse être récupérée; et

b) Qu'elles fassent figurer dans les renseignements statistiques (article 20) qu'elles four-

nissent la quantité de chaque stupéfiant ainsi employé.

ARTICLE 3

Modifications du champ d'application du contrôle

1. Si une Partie ou l'Organisation mondiale de la santé est en possession de renseignements qui, à son avis, rendent nécessaire de modifier l'un ou l'autre des Tableaux, elle adressera au Secrétaire général une notification accompagnée de tous les renseignements pertinents à l'appui de celle-ci.

2. Le Secrétaire général communiquera cette notification et les renseignements qu'il jugera pertinents aux Parties, à la Commission et, si la notification a été adressée par une Partie, à l'Organisation mondiale de la santé.

3. Si une notification se rapporte à une substance qui n'est pas déjà inscrite au Tableau I ou au Tableau II,

i) Toutes les Parties examineront, compte tenu des renseignements disponibles, la possibilité d'appliquer provisoirement à la substance toutes les mesures de contrôle applicables aux stupéfiants du Tableau I;

ii) En attendant sa décision, prise en vertu du sous-paragraphe iii du présent paragraphe, la Commission peut décider que les Parties appliquent provisoirement à ladite substance toutes les mesures de contrôle applicables aux stupéfiants du Tableau I. Les Parties appliqueront provisoirement ces mesures à la substance en question;

iii) Si l'Organisation mondiale de la santé constate que cette substance peut donner lieu à des abus analogues et produire des effets nocifs analogues à ceux des stupéfiants du Tableau I ou du Tableau II, ou qu'elle est transformable en un stupéfiant, elle en avisera la Commission, et celle-ci pourra alors décider, selon la recommandation de l'Organisation

mondiale de la santé, que cette substance sera inscrite au Tableau I ou au Tableau II.

4. Si l'Organisation mondiale de la santé constate qu'une préparation ne peut, en raison des substances qu'elle contient, donner lieu à des abus ni produire d'effets nocifs (paragraphe 3) et que le stupéfiant qu'elle contient n'est pas facilement récupérable, la Commission, selon la recommandation de l'Organisation mondiale de la santé, pourra inscrire cette préparation au Tableau III.

5. Si l'Organisation mondiale de la santé constate qu'un stupéfiant du Tableau I est particulièrement susceptible de donner lieu à des abus et de produire des effets nocifs (paragraphe 3), et que ce danger n'est pas compensé par des avantages thérapeutiques appréciables que ne posséderaient pas des substances autres que celles du Tableau IV, la Commission peut, selon la recommandation de l'Organisation mondiale de la santé, inscrire ce stupéfiant au Tableau IV.

6. Lorsqu'une notification a trait à un stupéfiant du Tableau I ou du Tableau II ou à une préparation du Tableau III, la Commission, mise à part l'action prévue par le paragraphe 5, peut, selon la recommandation de l'Organisation mondiale de la santé, modifier l'un ou l'autre des Tableaux, soit:

a) En transférant un stupéfiant du Tableau I au Tableau II ou du Tableau II au Tableau I; ou

b) En rayant un stupéfiant ou une préparation, selon le cas, d'un Tableau.

7. Toute décision de la Commission prise en application du présent article sera communiquée par le Secrétaire général à tous les Etats Membres de l'Organisation des Nations Unies, aux Etats non membres Parties à la présente Convention, à l'Organisation mondiale de la santé et à l'Organe. La décision prendra effet à l'égard de chaque Partie à la date de réception

de la communication susvisée, et les Parties prendront alors toutes mesures requises par la présente Convention.

8. a) Toute décision de la Commission de modifier un tableau sera soumise à l'examen du Conseil si une Partie en fait la demande dans les quatre-vingt-dix jours qui suivront la réception de la notification de la décision. Cette demande sera présentée au Secrétaire général avec tous renseignements pertinents à l'appui.

b) Le Secrétaire général communiquera copie de cette demande et des renseignements pertinents à la Commission, à l'Organisation mondiale de la santé et à toutes les Parties, qu'il invitera à présenter leurs observations dans les quatre-vingt-dix jours. Toutes les observations reçues seront soumises à l'examen du Conseil.

c) Le Conseil pourra confirmer, modifier ou annuler la décision de la Commission; il statuera en dernier ressort. Sa décision sera notifiée à tous les Etats Membres de l'Organisation des Nations Unies, aux Etats non membres Parties à la présente Convention, à la Commission, à l'Organisation mondiale de la santé et à l'Organe.

d) En attendant son examen par le Conseil, la décision de la Commission restera en vigueur.

9. Les décisions de la Commission prises en application du présent article ne seront pas soumises à l'examen prévu à l'article 7.

ARTICLE 4

Obligations générales

Les Parties prendront les mesures législatives et administratives qui pourront être nécessaires:

a) Pour exécuter les dispositions de la présente Convention dans leurs propres territoires;

b) Pour coopérer avec les autres Etats à l'exécution des dispositions de ladite Convention; et

c) Sous réserve des dispositions de la présente Convention, pour limiter exclusivement aux fins médicales et scientifiques la production, la fabrication, l'exportation, l'importation, la distribution, le commerce, l'emploi et la détention des stupéfiants.

ARTICLE 5

Les organes internationaux de contrôle

Reconnaissant la compétence de l'Organisation des Nations Unies en matière de contrôle international des stupéfiants, les Parties conviennent de confier à la Commission des stupéfiants du Conseil économique et social et à l'Organe international de contrôle des stupéfiants les fonctions qui sont respectivement attribuées à ces organes par la présente Convention.

ARTICLE 6

Dépenses des organes internationaux de contrôle

L'Organisation des Nations Unies assume les dépenses de la Commission et de l'Organe dans des conditions qui seront déterminées par l'Assemblée générale. Les Parties qui ne sont pas membres de l'Organisation des Nations Unies contribueront aux frais des organes internationaux de contrôle, l'Assemblée générale fixant périodiquement, après avoir consulté les gouvernements de ces Parties, le montant des contributions qu'elle jugera équitable.

ARTICLE 7

Revision des décisions et recommandations de la Commission

Sauf en ce qui concerne les décisions prévues à l'article 3, toute décision ou recommandation adoptée par la Commission en exécution des dispositions de la présente Convention est prise sous réserve de l'approbation du Conseil ou de

l'Assemblée générale ou de toute modification adoptée par l'un ou l'autre de ces organes de la même manière que les autres décisions ou recommandations de la Commission.

ARTICLE 8

Fonctions de la Commission

La Commission est habilitée à examiner toutes les questions ayant trait aux buts de la présente Convention, et en particulier:

- a) A modifier les tableaux conformément à l'article 3;
- b) A appeler l'attention de l'Organe sur toutes les questions qui peuvent avoir trait aux fonctions de celui-ci;
- c) A formuler des recommandations pour mettre en œuvre les dispositions de la présente Convention ou atteindre les buts qu'elle vise, y compris des programmes de recherche scientifique et les échanges de renseignements de caractère scientifique ou technique; et
- d) A attirer l'attention des Etats non parties sur les décisions et recommandations qu'elle adopte conformément aux fonctions que lui confère la présente Convention de façon qu'ils examinent les mesures qu'elle peut être amenée à prendre en vertu de la présente Convention.

ARTICLE 9

Composition de l'Organe

1. L'Organe se compose de onze membres élus par le Conseil ainsi qu'il suit:
 - a) Trois membres ayant l'expérience de la médecine, de la pharmacologie ou de la pharmacie et choisis sur une liste d'au moins cinq personnes désignées par l'Organisation mondiale de la santé; et
 - b) Huit membres choisis sur une liste de personnes désignées par les Membres de l'Organisation des Nations Unies et par les Parties qui n'en sont pas membres.

2. Les membres de l'Organe doivent être des personnes qui, par leur compétence, leur impartialité et leur désintéressement, inspirent la confiance générale. Pendant la durée de leur mandat, elles ne doivent occuper aucun poste ni se livrer à aucune activité qui soit de nature à les empêcher d'exercer avec impartialité leurs fonctions. Le Conseil prend, en consultation avec l'Organe, toutes les dispositions nécessaires pour assurer la pleine indépendance technique de ce dernier dans l'exercice de ses fonctions.

3. Le Conseil, eu égard au principe d'une représentation géographique équitable, doit tenir compte de l'intérêt qu'il y a à faire entrer dans l'Organe, en proportion équitable, des personnes qui soient au courant de la situation en matière de stupéfiants dans les pays producteurs, fabricants et consommateurs et qui aient des attaches avec lesdits pays.

ARTICLE 10

Durée du mandat et rémunération des membres de l'Organe

1. Le mandat des membres de l'Organe est de trois ans et il est renouvelable.
2. Le mandat de chaque membre de l'Organe se termine la veille de la première séance de l'Organe à laquelle son successeur a le droit de siéger.
3. Un membre de l'Organe qui a été absent lors de trois sessions consécutives sera considéré comme démissionnaire.
4. Le Conseil peut, sur la recommandation de l'Organe, révoquer un membre de l'Organe qui ne remplit plus les conditions requises au paragraphe 2 de l'article 9. Cette recommandation doit être formulée par un vote affirmatif de huit membres de l'Organe.
5. Lorsque le siège d'un membre de l'Organe devient vacant au cours du mandat de son titulaire, le Conseil pourvoit à cette vacance en

élisant un autre membre aussitôt que possible pour le reste de la durée du mandat, conformément aux dispositions applicables de l'article 9.

6. Les membres de l'Organe reçoivent une rémunération appropriée dont le montant est fixé par l'Assemblée générale.

ARTICLE 11

Règlement intérieur de l'Organe

1. L'Organe élit son président et les membres dont l'élection lui paraît nécessaire pour constituer son bureau; il adopte son règlement intérieur.
2. L'Organe se réunit aussi souvent qu'il le juge nécessaire à l'accomplissement satisfaisant de ses fonctions, mais il doit tenir au moins deux sessions par année civile.
3. Le quorum indispensable pour les réunions de l'Organe est de sept membres.

ARTICLE 12

Application du régime des évaluations

1. L'Organe fixera la date ou les dates auxquelles les évaluations devront être fournies, conformément à l'article 19, ainsi que la forme sous laquelle elles devront être présentées, et il prescrira des formulaires à cette fin.
2. En ce qui concerne les pays et territoires auxquels ne s'applique pas la présente Convention, l'Organe invitera les gouvernements intéressés à fournir des évaluations conformément aux dispositions de celle-ci.
3. Au cas où un Etat ne fournirait pas conformément à la date fixée les évaluations relatives à l'un de ses territoires, l'Organe les établira lui-même dans la mesure du possible, et, autant que faire se pourra, en coopération avec le gouvernement intéressé.
4. L'Organe examinera les évaluations, y compris les évaluations supplémentaires, et, sauf en ce qui concerne les besoins spéciaux, il

pourra demander pour chaque pays ou territoire pour lequel une évaluation aura été fournie, les renseignements qu'il estimera nécessaires afin de compléter les évaluations ou d'élucider telle indication qui s'y trouve.

5. L'Organe confirmera ensuite, dans le plus bref délai possible, les évaluations, y compris les évaluations supplémentaires; il pourra également les modifier avec le consentement du gouvernement intéressé.

6. Outre la documentation prévue à l'article 15, l'Organe publiera, aux dates qu'il aura fixées, mais au moins une fois par an, les renseignements relatifs aux évaluations qui lui paraîtront devoir faciliter l'application de la présente Convention.

ARTICLE 13

Application du régime des statistiques

1. L'Organe fixera la manière et la forme sous lesquelles les statistiques devront être fournies comme prévu à l'article 20 et prescrira les formulaires à cette fin.
2. L'Organe examinera les statistiques afin de déterminer si les Parties ou tous autres Etats se sont conformés aux dispositions de la présente Convention.
3. L'Organe pourra demander les renseignements supplémentaires qu'il estimera nécessaires pour compléter ces statistiques ou élucider telle indication qui s'y trouve.
4. L'Organe n'aura pas compétence pour poser des questions ou exprimer une opinion au sujet des statistiques relatives aux stupéfiants requis pour les besoins spéciaux.

ARTICLE 14

Mesures à prendre par l'Organe pour assurer l'exécution des dispositions de la Convention

1. a) Si, après examen des renseignements adressés à l'Organe par le gouvernement con-

formément aux dispositions de la présente Convention ou des renseignements communiqués par des organes des Nations Unies et ayant trait à des questions relevant desdites dispositions, l'Organe a motif de croire que les buts de la présente Convention sont sérieusement compromis du fait qu'une Partie ou un pays ou territoire manque d'exécuter les dispositions de la Convention, l'Organe a le droit de demander des explications au gouvernement du pays ou territoire intéressé. Sous réserve du droit qu'il possède d'appeler l'attention des Parties et du Conseil et de la Commission sur la question, ainsi qu'il est prévu à l'alinéa c ci-dessous, l'Organe considérera comme confidentielle une demande de renseignements ou une explication fournie par un gouvernement conformément au présent alinéa.

b) Après avoir agi conformément à l'alinéa a ci-dessus, l'Organe peut, s'il juge nécessaire de le faire, demander au gouvernement intéressé de prendre les mesures correctives qui, en raison des circonstances, peuvent paraître nécessaires pour assurer l'exécution des dispositions de la présente Convention.

c) Si l'Organe constate que le gouvernement intéressé a manqué de donner des explications satisfaisantes lorsqu'il a été invité à le faire conformément à l'alinéa a ci-dessus, ou a négligé d'adopter toute mesure corrective qu'il a été invité à prendre conformément à l'alinéa b ci-dessus, il peut appeler l'attention des Parties, du Conseil et de la Commission sur la question.

2. Lorsqu'il appelle l'attention des Parties, du Conseil et de la Commission sur une question conformément à l'alinéa c du paragraphe 1 ci-dessus, l'Organe peut, s'il juge une telle mesure nécessaire, recommander aux Parties d'arrêter l'importation de stupéfiants en provenance du pays intéressé, ou l'exportation de stupéfiants à destination de ce pays ou territoire, ou, à la fois, l'importation et l'exportation, soit pour une période déterminée, soit

jusqu'à ce que la situation dans ce pays ou territoire lui donne satisfaction. L'Etat intéressé a le droit de porter la question devant le Conseil.

3. L'Organe a le droit de publier un rapport sur toute question visée par les dispositions du présent article, et de le communiquer au Conseil, qui le transmettra à toutes les Parties. Si l'Organe publie dans ce rapport une décision prise en vertu du présent article, ou des renseignements concernant cette décision, il doit également y publier l'avis du gouvernement intéressé si celui-ci le demande.

4. Dans les cas où une décision de l'Organe publiée conformément au présent article n'a pas été prise à l'unanimité, l'opinion de la minorité doit être exposée.

5. Tout Etat sera invité à se faire représenter aux séances de l'Organe au cours desquelles est examinée une question l'intéressant directement aux termes du présent article.

6. Les décisions de l'Organe prises en vertu du présent article doivent être adoptées à la majorité des deux tiers du nombre total des membres de l'Organe.

ARTICLE 15 *Rapports de l'Organe*

1. L'Organe établit un rapport annuel sur ses travaux et tous autres rapports supplémentaires qu'il peut estimer nécessaires et dans lesquels figurent également une analyse des évaluations et des renseignements statistiques dont il dispose et, dans les cas appropriés, un exposé des explications que les gouvernements ont pu fournir ou ont été requis de fournir, ainsi que toute observation et recommandation que l'Organe peut vouloir formuler. Ces rapports sont présentés au Conseil par l'intermédiaire de la Commission, qui peut formuler les observations qu'elle juge opportunes.

2. Les rapports sont communiqués aux Parties et publiés ultérieurement par le Secrétaire

général. Les Parties autorisent la libre distribution de ces rapports.

ARTICLE 16 *Secrétariat*

Les services de secrétariat de la Commission et de l'Organe seront fournis par le Secrétaire général.

ARTICLE 17 *Administration spéciale*

Les Parties maintiendront une administration spéciale chargée d'appliquer les dispositions de la présente Convention.

ARTICLE 18 *Renseignements à fournir au Secrétaire général par les Parties*

1. Les Parties fourniront au Secrétaire général les renseignements que la Commission peut demander en tant que nécessaires pour l'exercice de ses fonctions, et notamment:

a) Un rapport annuel relatif au fonctionnement de la Convention dans chacun de leurs territoires;

b) De temps à autre, les textes de toutes les lois et de tous les règlements promulgués pour donner effet à la présente Convention;

c) Toutes précisions que la Commission demandera sur les affaires de trafic illicite, et notamment les détails de chaque affaire de trafic illicite découverte qui pourront présenter de l'importance soit en raison de la lumière qu'ils jettent sur les sources d'approvisionnement en stupéfiants du trafic illicite, soit en raison des quantités en cause ou de la méthode utilisée par les trafiquants illicites; et

d) Les noms et adresses des autorités administratives habilitées à délivrer les autorisations ou certificats d'exportation et d'importation.

2. Les Parties fourniront les renseignements prévus au paragraphe précédent, sous la forme et aux dates indiquées et en utilisant tels formulaires dont la Commission pourra demander l'emploi.

ARTICLE 19 *Evaluations des besoins en stupéfiants*

1. Les Parties adresseront à l'Organe, chaque année et pour chacun de leurs territoires, de la manière et sous la forme qu'il prescrira, des évaluations ayant trait aux sujets suivants et établies sur des formulaires fournis par l'Organe:

a) Les quantités de stupéfiants qui seront consommées à des fins médicales et scientifiques;

b) Les quantités de stupéfiants qui seront utilisées pour la fabrication d'autres stupéfiants, de préparations du Tableau III et de substances non visées par la présente Convention;

c) Les quantités de stupéfiants qui seront en stock au 31 décembre de l'année à laquelle les évaluations se rapportent; et

d) Les quantités de stupéfiants qu'il est nécessaire d'ajouter aux stocks spéciaux.

2. Sous réserve des déductions prévues au paragraphe 3 de l'article 21, le total des évaluations pour chaque territoire et pour chaque stupéfiant sera la somme des quantités spécifiées aux alinéas a, b et d du paragraphe 1 du présent article, augmentée de toute quantité nécessaire pour porter les stocks existant au 31 décembre de l'année précédente au niveau évalué conformément aux dispositions de l'alinéa c du paragraphe 1.

3. Tout Etat pourra fournir en cours d'année des évaluations supplémentaires en exposant les circonstances qui les rendent nécessaires.

4. Les Parties feront connaître à l'Organe la méthode employée pour déterminer les quan-

tités indiquées dans les évaluations et les modifications qui auront pu être apportées à cette méthode.

5. Sous réserve des déductions prévues au paragraphe 3 de l'article 21, les évaluations ne devront pas être dépassées.

ARTICLE 20

Statistiques à fournir à l'Organe

1. Les Parties adresseront à l'Organe, pour chacun de leurs territoires, de la manière et sous la forme qu'il prescrira, des statistiques ayant trait aux sujets suivants et établies sur des formulaires fournis par l'Organe:

- a) Production ou fabrication de stupéfiants;
- b) Utilisation de stupéfiants pour la fabrication d'autres stupéfiants, de préparations du Tableau III et de substances non visées par la présente Convention et utilisation de la paille de pavot pour la fabrication de stupéfiants;
- c) Consommation de stupéfiants;
- d) Importations et exportations de stupéfiants et de paille de pavot;
- e) Saisies de stupéfiants et affectation des quantités saisies; et
- f) Stocks de stupéfiants au 31 décembre de l'année à laquelle les statistiques se rapportent.

2. a) Les statistiques ayant trait aux sujets mentionnés au paragraphe 1, exception faite de l'alinéa d, seront établies annuellement et seront fournies à l'Organe au plus tard le 30 juin de l'année suivant celle à laquelle elles se rapportent;

b) Les statistiques ayant trait aux sujets mentionnés à l'alinéa d du paragraphe 1 seront établies trimestriellement et seront fournies à l'Organe dans le délai d'un mois à compter de la fin du trimestre auquel elles se rapportent.

3. Outre les renseignements visés au paragraphe 1 du présent article, les Parties peuvent

adresser à l'Organe, dans toute la mesure du possible, pour chacun de leurs territoires, les renseignements concernant les superficies (en hectares) cultivées en vue de la production de l'opium.

4. Les Parties ne sont pas tenues de fournir de statistiques ayant trait aux stocks spéciaux, mais elles fourniront séparément des statistiques ayant trait aux stupéfiants importés ou acquis dans le pays ou territoire pour les besoins spéciaux, ainsi qu'aux quantités de stupéfiants prélevés sur les stocks spéciaux pour satisfaire aux besoins de la population civile.

ARTICLE 21

Limitation de la fabrication et de l'importation

1. La quantité totale de chaque stupéfiant qui sera fabriquée et importée par un pays ou territoire quelconque au cours d'une année donnée ne devra pas être supérieure à la somme des éléments suivants:

- a) La quantité consommée, dans la limite de l'évaluation correspondante, à des fins médicales et scientifiques;
- b) La quantité utilisée, dans la limite de l'évaluation correspondante, en vue de la fabrication d'autres stupéfiants, de préparations du Tableau III et de substances non visées par la présente Convention;
- c) La quantité exportée;
- d) La quantité versée au stock afin de porter celui-ci au niveau spécifié dans l'évaluation correspondante; et
- e) La quantité acquise, dans la limite de l'évaluation correspondante, pour les besoins spéciaux.

2. De la somme des éléments énumérés au paragraphe 1, il sera déduit toute quantité qui aura été saisie et mise sur le marché licite, ainsi que toute quantité prélevée sur les stocks spéciaux pour satisfaire aux besoins de la population civile.

3. Si l'Organe constate que la quantité fabriquée et importée au cours d'une année donnée excède la somme des quantités énumérées au paragraphe 1, compte tenu des déductions prévues au paragraphe 2 du présent article, l'excédent ainsi constaté qui subsisterait à la fin de l'année sera déduit, l'année suivante, des quantités qui doivent être fabriquées ou importées, ainsi que du total des évaluations défini au paragraphe 2 de l'article 19.

4. a) S'il ressort des statistiques des importations ou des exportations (article 20) que la quantité exportée à destination d'un pays ou territoire quelconque dépasse le total des évaluations relatives à ce pays ou territoire, tel qu'il est défini au paragraphe 2 de l'article 19, augmenté des quantités déclarées comme ayant été exportées et déduction faite de tout excédent constaté aux termes du paragraphe 3 du présent article, l'Organe peut en faire notification aux Etats, qui, à son avis, devraient en être informés.

b) Dès réception d'une telle notification, les Parties n'autoriseront plus, pendant l'année en cours, aucune exportation nouvelle du stupéfiant dont il s'agit à destination du pays ou territoire en cause, sauf:

i) Dans le cas où une évaluation supplémentaire aura été fournie pour ce pays ou territoire en ce qui concerne à la fois toute quantité importée en excédent et la quantité supplémentaire requise; ou

ii) Dans les cas exceptionnels où l'exportation est, de l'avis du gouvernement du pays exportateur, indispensable au traitement des malades.

ARTICLE 22

Disposition spéciale applicable à la culture

Lorsque la situation dans le pays ou un territoire d'une Partie est telle que l'interdiction de la culture du pavot à opium, du cocaïer ou de la plante de cannabis est, à son avis, la mesure

la plus appropriée pour protéger la santé publique, et empêcher que des stupéfiants ne soient détournés vers le trafic illicite, la Partie intéressée en interdira la culture.

ARTICLE 23

Organismes nationaux de l'opium

1. Toute Partie qui autorise la culture du pavot à opium en vue de la production d'opium établira, si elle ne l'a déjà fait, et maintiendra un ou plusieurs organismes d'Etat (désignés ci-après dans le présent article par le terme "organisme") chargés d'exercer les fonctions stipulées au présent article.

2. Toute Partie visée au paragraphe précédent appliquera les dispositions ci-après à la culture du pavot à opium pour la production de l'opium et à l'opium:

a) L'organisme délimitera les régions et désignera les parcelles de terrain où la culture du pavot à opium en vue de la production d'opium sera autorisée;

b) Les cultivateurs titulaires d'une licence délivrée par l'organisme seront seuls autorisés à se livrer à cette culture;

c) Chaque licence spécifiera la superficie du terrain sur lequel cette culture est autorisée;

d) Tout cultivateur de pavot à opium sera tenu de livrer à l'organisme la totalité de sa récolte d'opium; l'organisme achètera cette récolte et en prendra matériellement possession dès que possible, mais au plus tard dans un délai de quatre mois à compter de la fin de la récolte; et

e) L'organisme aura seul le droit, en ce qui concerne l'opium, d'importer, d'exporter, de se livrer au commerce de gros et de conserver des stocks, à l'exception des stocks détenus par les fabricants d'alcaloïdes de l'opium, d'opium médicinal ou de préparations à base d'opium. Les Parties ne sont pas tenues d'étendre cette

clause à l'opium médicinal et aux préparations à base d'opium.

3. Les fonctions administratives prévues au paragraphe 2 seront exercées par un seul organisme d'Etat si la constitution de la Partie intéressée le permet.

ARTICLE 24

Restrictions à la production de l'opium destiné au commerce international

1. a) Si l'une des Parties a l'intention de commencer à produire de l'opium ou d'augmenter sa production d'opium, elle tiendra compte de la demande mondiale d'opium existante, conformément aux évaluations publiées par l'Organe, afin que sa production d'opium n'entraîne pas une surproduction d'opium dans l'ensemble du monde.

b) Aucune Partie n'autorisera la production de l'opium ou n'augmentera sa production d'opium si, à son avis, une telle production ou augmentation de la production sur son territoire risque d'alimenter le trafic illicite de l'opium.

2. a) Sous réserve des dispositions du paragraphe 1, si une Partie, qui au 1er janvier 1961 ne produisait pas d'opium pour l'exportation, désire exporter sur l'opium qu'elle produit des quantités n'excédant pas cinq tonnes par an, elle le notifiera à l'Organe, en joignant à cette notification des renseignements concernant:

i) Les contrôles en vigueur exigés par la présente Convention en ce qui concerne la production et l'exportation de l'opium; et

ii) Le nom du pays ou des pays vers lesquels elle compte exporter l'opium; et l'Organe pourra soit approuver cette notification, soit recommander à la Partie intéressée de ne pas produire d'opium pour l'exportation.

b) Si une Partie autre qu'une Partie désignée au paragraphe 3 désire produire plus

de cinq tonnes d'opium destiné à l'exportation par an, elle le notifiera au Conseil, en joignant à cette notification des renseignements appropriés, y compris:

i) L'évaluation des quantités qui doivent être produites pour l'exportation;

ii) Les contrôles existants ou proposés en ce qui concerne l'opium qui doit être produit;

iii) Le nom du pays ou des pays vers lesquels elle compte exporter cet opium; et le Conseil pourra soit approuver la notification soit recommander à la Partie intéressée de ne pas produire d'opium pour l'exportation.

3. Nonobstant les dispositions des alinéas a et b du paragraphe 2, une Partie qui, pendant les dix années qui ont précédé immédiatement le 1er janvier 1961, a exporté l'opium produit par elle pourra continuer à exporter l'opium qu'elle produit.

4. a) Une Partie n'importera d'opium d'aucun pays ou territoire sauf si l'opium est produit sur le territoire:

i) D'une Partie mentionnée au paragraphe 3;

ii) D'une Partie qui a adressé une notification à l'Organe conformément aux dispositions de l'alinéa a du paragraphe 2; ou

iii) D'une Partie qui a reçu l'approbation du Conseil conformément aux dispositions de l'alinéa b du paragraphe 2.

b) Nonobstant les dispositions de l'alinéa a du présent paragraphe, une Partie peut importer l'opium produit par tout pays qui a produit et exporté de l'opium pendant les dix années qui ont précédé le 1er janvier 1961, si un organisme ou agence de contrôle national a été établi et fonctionne aux fins définies à l'article 23 dans le pays intéressé et si celui-ci possède des moyens efficaces de faire en sorte que l'opium qu'il produit n'alimente pas le trafic illicite.

5. Les dispositions du présent article n'empêcheront pas une Partie:

a) De produire de l'opium en quantité suffisante pour ses besoins; ou

b) D'exporter de l'opium saisi dans le trafic illicite à une autre Partie, conformément aux exigences de la présente Convention.

ARTICLE 25

Contrôle de la paille de pavot

1. Une Partie qui permet la culture du pavot à opium pour des buts autres que la production de l'opium prendra toutes les mesures nécessaires pour assurer:

a) Que de l'opium n'est pas produit à partir de tels pavots à opium; et

b) Que la fabrication de stupéfiants à partir de la paille de pavot est contrôlée de façon satisfaisante.

2. Les Parties appliqueront à la paille de pavot le système de certificats d'importation et d'autorisations d'exportation prévu aux paragraphes 4 à 15 de l'article 31.

3. Les Parties fourniront les mêmes statistiques sur l'importation et l'exportation de la paille de pavot que celles qui sont prévues pour les stupéfiants aux paragraphes 1. d. et 2. b. de l'article 20.

ARTICLE 26

Le cocaïer et la feuille de coca

1. Si une Partie autorise la culture du cocaïer, elle lui appliquera, ainsi qu'à la feuille de coca, le régime de contrôle prévu à l'article 23 pour le pavot à opium; en ce qui concerne l'alinéa d du paragraphe 2 de cet article, l'obligation imposée à l'organisme mentionné sera seulement d'entrer matériellement en possession de la récolte, aussitôt que possible après qu'elle aura été faite.

2. Dans la mesure du possible, les Parties feront procéder à l'arrachage de tous les cocaïers existant à l'état sauvage. Elles détruiront les cocaïers cultivés illégalement.

ARTICLE 27

Dispositions supplémentaires relatives à la feuille de coca

1. Les Parties peuvent permettre l'utilisation de feuilles de coca pour la préparation d'un produit aromatique qui ne devra contenir aucun alcaloïde et elles peuvent, dans la mesure nécessaire à cette utilisation, permettre la production, l'importation, l'exportation, le commerce et la détention de ces feuilles.

2. Les Parties fourniront séparément les évaluations (article 19) et les statistiques (article 20) concernant les feuilles de coca destinées à la préparation d'un tel produit aromatique; toutefois, il n'y aura pas lieu de le faire si les mêmes feuilles de coca sont utilisées pour l'extraction d'alcaloïdes ainsi que pour celle de produits aromatiques, et si ce fait est précisé dans les évaluations et les statistiques.

ARTICLE 28

Contrôle du cannabis

1. Si une Partie autorise la culture de la plante de cannabis en vue de la production de cannabis ou de résine de cannabis, elle lui appliquera le régime de contrôle prévu à l'article 23 en ce qui concerne le contrôle du pavot à opium.

2. La présente Convention ne s'appliquera pas à la culture de la plante de cannabis exclusivement à des fins industrielles (fibres et graines) ou pour des buts horticulturaux.

3. Les Parties adopteront les mesures qui peuvent être nécessaires pour empêcher l'abus des feuilles de la plante de cannabis ou le trafic illicite de celles-ci.

ARTICLE 29

Fabrication

1. Les Parties exigeront que la fabrication des stupéfiants s'effectue sous licence, sauf quand cette fabrication est effectuée par une ou des entreprises d'Etat.

2. Les Parties:

a) Exerceront une surveillance sur toutes les personnes et entreprises se livrant à la fabrication de stupéfiants ou y participant;

b) Soumettront à un régime de licences les établissements et les locaux dans lesquels la fabrication peut se faire; et

c) Exigeront que les fabricants de stupéfiants titulaires d'une licence se munissent de permis périodiques précisant les catégories et les quantités de stupéfiants qu'ils auront le droit de fabriquer. Cependant, un permis périodique ne sera pas nécessaire pour les préparations.

3. Les Parties empêcheront l'accumulation, en la possession des fabricants de stupéfiants, de quantités de stupéfiants et de paille de pavot excédant celles qui sont nécessaires au fonctionnement normal de l'entreprise, compte tenu de la situation du marché.

ARTICLE 30

Commerce et distribution

1. a) Les Parties exigeront que le commerce et la distribution des stupéfiants s'effectuent sous licence, sauf si ce commerce ou cette distribution sont effectués par une ou des entreprises d'Etat.

b) Les Parties:

i) Exerceront une surveillance sur toutes les personnes et entreprises se livrant au commerce ou à la distribution des stupéfiants ou y participant; et

ii) Soumettront à un régime de licence les établissements et les locaux dans lesquels ce

commerce et cette distribution peuvent se faire. Cependant, une licence ne sera pas nécessairement requise pour les préparations.

c) Les dispositions des alinéas a et b concernant le régime des licences ne s'appliqueront pas nécessairement aux personnes dûment autorisées à exercer des fonctions thérapeutiques ou scientifiques et agissant dans l'exercice de ces fonctions.

2. En outre, les Parties:

a) Empêcheront aussi l'accumulation, en la possession des commerçants, des distributeurs, des entreprises d'Etat, ou des personnes dûment autorisées visées ci-dessus, de quantités de stupéfiants et de paille de pavot excédant celles qui sont nécessaires au fonctionnement normal de l'entreprise, compte tenu de la situation du marché;

b) i) Exigeront que les stupéfiants ne soient fournis ou dispensés à des particuliers que sur ordonnance médicale. Cette disposition n'est pas nécessairement applicable aux stupéfiants que des particuliers peuvent légalement obtenir, utiliser, dispenser ou administrer à l'occasion de l'exercice dûment autorisé de leurs fonctions thérapeutiques; et

ii) Si les Parties jugent ces mesures nécessaires ou souhaitables, elles exigeront que les ordonnances prescrivant des stupéfiants du Tableau I soient écrites sur des formules officielles qui seront fournies sous la forme de carnet à souches par les autorités administratives compétentes ou par les associations professionnelles autorisées.

3. Il est souhaitable que les Parties exigent que les offres écrites ou imprimées de stupéfiants, les annonces publicitaires de quelque nature qu'elles soient ainsi que les notices descriptives relatives aux stupéfiants et utilisées à des fins commerciales, les conditionnements contenant des stupéfiants et les étiquettes sous lesquelles les stupéfiants sont mis en vente,

indiquent la dénomination commune internationale communiquée par l'Organisation mondiale de la santé.

4. Si une Partie juge qu'une telle mesure est nécessaire ou souhaitable, elle exigera que tout conditionnement contenant un stupéfiant porte un double filet rouge très apparent. Le colis dans lequel ce conditionnement est expédié ne portera pas ce double filet rouge.

5. Les Parties exigeront que l'étiquette sous laquelle une drogue est mise en vente indique nommément le ou les stupéfiants qu'elle contient ainsi que leur poids ou leur pourcentage. L'obligation de fournir ces renseignements sur l'étiquette ne s'appliquera pas nécessairement à un stupéfiant dispensé à un particulier sur prescription médicale.

6. Les dispositions des paragraphes 2 et 5 ne s'appliqueront pas nécessairement au commerce de détail ni à la distribution au détail des stupéfiants du Tableau II.

ARTICLE 31

*Dispositions spéciales
relatives au commerce international*

1. Les Parties ne permettront pas sciemment l'exportation de stupéfiants à destination d'un pays ou territoire quelconque, si ce n'est:

a) Conformément aux lois et règlements de ce pays ou territoire; et

b) Dans les limites du total des évaluations afférentes à ce pays ou territoire, tel qu'il est défini au paragraphe 2 de l'article 19, en y ajoutant les quantités qui doivent être réexportées.

2. Les Parties exerceront dans les ports francs et les zones franches la même surveillance et le même contrôle que dans les autres parties de leurs territoires, étant entendu, toutefois, qu'elles pourront appliquer un régime plus sévère.

3. a) Les Parties contrôleront au moyen d'une licence l'importation et l'exportation des stupéfiants sauf dans les cas où cette importation ou cette exportation est effectuée par une ou des entreprises d'Etat.

b) Les Parties exerceront une surveillance sur toutes les personnes et entreprises se livrant à une telle importation ou exportation ou y participant.

4. a) Chaque Partie autorisant l'importation ou l'exportation d'un stupéfiant exigera l'obtention d'une autorisation d'importation ou d'exportation distincte pour chaque importation ou exportation, qu'il s'agisse d'un ou de plusieurs stupéfiants.

b) Cette autorisation indiquera le nom du stupéfiant, la dénomination commune internationale si elle existe, la quantité à importer ou à exporter, les noms et adresses de l'importateur et de l'exportateur et spécifiera la période durant laquelle l'importation ou l'exportation doit être effectuée.

c) L'autorisation d'exportation indiquera en outre le numéro et la date du certificat d'importation (paragraphe 5) ainsi que l'autorité qui l'a délivré.

d) L'autorisation d'importation pourra permettre d'importer en plusieurs envois.

5. Avant de délivrer une autorisation d'exportation, les Parties exigeront un certificat d'importation, délivré par les autorités compétentes du pays ou territoire importateur et attestant que l'importation du stupéfiant ou des stupéfiants dont il est question est approuvée et ce certificat sera produit par la personne ou l'établissement demandant l'autorisation d'exportation. Les Parties se conformeront autant que faire se pourra au modèle de certificat d'importation approuvé par la Commission.

6. Une copie de l'autorisation d'exportation sera jointe à chaque envoi, et le gouvernement qui délivre l'autorisation d'exportation en

adressera une copie au gouvernement du pays ou territoire importateur.

7. a) Lorsque l'importation a été effectuée ou lorsque la période fixée pour l'importation prend fin, le gouvernement du pays ou territoire importateur renverra au gouvernement du pays ou territoire exportateur l'autorisation d'exportation, avec une mention spéciale à cet effet.

b) La mention précitée spécifiera la quantité effectivement importée.

c) Si la quantité effectivement exportée est inférieure à celle qui est indiquée dans l'autorisation d'exportation, les autorités compétentes indiqueront la quantité effectivement exportée sur l'autorisation d'exportation et sur toute copie officielle de celle-ci.

8. Les exportations sous forme d'envois adressés à une banque au compte d'une personne différente de celle dont le nom figure sur l'autorisation d'exportation ou à une boîte postale seront interdites.

9. Les exportations sous forme d'envois adressés à un entrepôt de douane seront interdites, sauf si le gouvernement du pays importateur précise sur le certificat d'importation produit par la personne ou l'établissement qui demande l'autorisation d'exportation qu'il a approuvé l'importation de l'envoi afin que celui-ci soit déposé dans un entrepôt de douane. En pareil cas, l'autorisation d'exportation précisera que l'envoi est effectué à cette fin. Tout retrait de l'entrepôt de douane sera subordonné à la présentation d'un permis émanant des autorités dont relève l'entrepôt, et, dans le cas d'un envoi à destination de l'étranger, il sera assimilé à une exportation nouvelle au sens de la présente Convention.

10. Les envois de stupéfiants entrant dans le territoire d'une Partie ou en sortant sans être accompagnés d'une autorisation d'exportation seront retenus par les autorités compétentes.

11. Une Partie n'autorisera pas le passage en transit sur son territoire, en direction d'un autre pays, d'un envoi quelconque de stupéfiants, que cet envoi soit ou non déchargé du véhicule qui le transporte, sauf si la copie de l'autorisation d'exportation pour cet envoi est présentée aux autorités compétentes de ladite Partie.

12. Les autorités compétentes d'un pays ou territoire quelconque à travers lequel le passage d'un envoi de stupéfiants est autorisé prendront toutes les mesures nécessaires pour empêcher le détournement dudit envoi vers une destination autre que celle qui figure sur la copie de l'autorisation d'exportation jointe à l'envoi, à moins que le gouvernement du pays ou territoire à travers lequel ledit envoi s'effectue n'autorise ce détournement. Le gouvernement de ce pays ou territoire traitera toute demande de détournement comme s'il s'agissait d'une exportation du pays ou territoire de transit vers le pays ou territoire de la nouvelle destination. Si le détournement est autorisé, les dispositions des alinéas a et b du paragraphe 7 s'appliqueront également entre le pays ou territoire de transit et le pays ou territoire d'où l'envoi a primitivement été exporté.

13. Aucun envoi de stupéfiants en transit ou déposé dans un entrepôt de douane ne peut être soumis à un traitement quelconque qui modifierait la nature de ces stupéfiants. L'emballage ne peut être modifié sans l'autorisation des autorités compétentes.

14. Les dispositions des paragraphes 11 à 13 relatives au transit des stupéfiants sur le territoire d'une Partie ne sont pas applicables si cet envoi est transporté par la voie aérienne à condition que l'aéronef n'atterrisse pas dans le pays ou le territoire de transit. Si l'aéronef fait un atterrissage dans ce pays ou territoire, ces dispositions s'appliqueront dans la mesure où les circonstances l'exigent.

15. Les dispositions du présent article ne portent pas préjudice à celles de tout accord

international qui limite le contrôle pouvant être exercé par toute partie sur les stupéfiants en transit.

16. Aucune des dispositions de cet article, à part les paragraphes 1, a, et 2, ne s'appliquera nécessairement aux préparations du Tableau III.

ARTICLE 32

Dispositions spéciales concernant le transport des stupéfiants dans les trousseaux de premiers secours des navires ou aéronefs effectuant des parcours internationaux

1. Le transport international par navires ou aéronefs de quantités limitées de stupéfiants susceptibles d'être nécessaires pendant le voyage pour l'administration des premiers secours et pour les cas d'urgence ne sera pas considéré comme une importation ou une exportation au sens de la présente Convention.

2. Des précautions appropriées seront prises par le pays d'immatriculation pour empêcher l'usage indu des stupéfiants mentionnés au paragraphe 1 ou leur détournement à des fins illicites. La Commission recommandera ces précautions en consultation avec les organisations internationales compétentes.

3. Les stupéfiants transportés par navires ou aéronefs conformément aux dispositions du paragraphe 1 seront soumis aux lois, règlements, permis et licences du pays d'immatriculation sans préjudice du droit des autorités locales compétentes de procéder à des vérifications, inspections et autres opérations de contrôle à bord des navires ou aéronefs. L'administration de ces stupéfiants en cas d'urgence ne sera pas considérée comme contrevenant aux dispositions de l'article 30, paragraphe 2, b.

ARTICLE 33

Détention de stupéfiants

Les Parties ne permettront pas la détention de stupéfiants sans autorisation légale.

ARTICLE 34

Mesures de surveillance et d'inspection

Les Parties exigeront:

a) Que toutes les personnes à qui des licences sont délivrées en application de la présente Convention ou qui occupent des postes de direction ou de surveillance dans une entreprise d'Etat établie conformément à la présente Convention réunissent les qualités nécessaires pour appliquer effectivement et fidèlement les dispositions des lois et règlements édictés en exécution de la présente Convention; et

b) Que les autorités administratives, les fabricants, les commerçants, les hommes de science, les établissements scientifiques et les hôpitaux tiennent des registres où seront consignées les quantités de chaque stupéfiant fabriqué et chaque opération portant sur l'acquisition et l'aliénation de stupéfiants. Ces registres seront conservés pendant une période qui ne sera pas inférieure à deux ans. Dans les cas où des carnets à souches (article 30, paragraphe 2, alinéa b) d'ordonnances médicales sont utilisés, ces carnets à souches, y compris les souches, seront également conservés pendant une période qui ne sera pas inférieure à deux ans.

ARTICLE 35

Lutte contre le trafic illicite

Compte dûment tenu de leurs régimes constitutionnel, juridique et administratif, les Parties:

a) Assureront sur le plan national une coordination de l'action préventive et répressive contre le trafic illicite; à cette fin, elles pourront utilement désigner un service approprié chargé de cette coordination;

b) S'assisteront mutuellement dans la lutte contre le trafic illicite;

c) Coopéreront étroitement entre elles et avec les organisations internationales compé-

tentes dont elles sont membres afin de mener une lutte coordonnée contre le trafic illicite;

d) Veilleront à ce que la coopération internationale des services appropriés soit effectuée par des voies rapides; et

e) S'assureront que, lorsque des pièces de justice sont transmises entre des pays pour la poursuite d'une action judiciaire, la transmission soit effectuée par des voies rapides à l'adresse des instances désignées par les Parties; cette disposition ne porte pas atteinte au droit des Parties de demander que les pièces de justice leur soient envoyées par la voie diplomatique.

ARTICLE 36

Dispositions pénales

1. Sous réserve de ses dispositions constitutionnelles, chaque Partie adoptera les mesures nécessaires pour que la culture et la production, la fabrication, l'extraction, la préparation, la détention, l'offre, la mise en vente, la distribution, l'achat, la vente, la livraison, à quelque titre que ce soit, le courtage, l'envoi, l'expédition en transit, le transport, l'importation et l'exportation de stupéfiants non conformes aux dispositions de la présente Convention, ou tout autre acte qui, de l'avis de ladite Partie, serait contraire aux dispositions de la présente Convention, constituent des infractions punissables lorsqu'elles sont commises intentionnellement et pour que les infractions graves soient passibles d'un châtement adéquat, notamment de peines de prison ou d'autres peines privatives de liberté.

2. Sous réserve des dispositions constitutionnelles de chaque Partie, de son système juridique et de sa législation nationale,

a) i) Chacune des infractions énumérées au paragraphe 1 sera considérée comme une infraction distincte, si elles sont commises dans des pays différents;

ii) La participation intentionnelle à l'une quelconque desdites infractions, l'association ou l'entente en vue de la commettre ou la tentative de la commettre, ainsi que les actes préparatoires et les opérations financières intentionnellement accomplis, relatifs aux infractions dont il est question dans cet article, constitueront des infractions passibles des peines prévues au paragraphe 1;

iii) Les condamnations prononcées à l'étranger pour ces infractions seront prises en considération aux fins d'établissement de la récidive; et

iv) Les infractions graves précitées, qu'elles soient commises par des nationaux ou des étrangers, seront poursuivies par la Partie sur le territoire de laquelle l'infraction a été commise, ou par la Partie sur le territoire de laquelle le délinquant se trouvera si son extradition n'est pas acceptable conformément à la législation de la Partie à laquelle la demande est adressée, et si ledit délinquant n'a pas été déjà poursuivi et jugé.

b) Il est souhaitable que les infractions mentionnées au paragraphe 1 et dans la partie ii de l'alinéa a du paragraphe 2 soient considérées comme des cas d'extradition aux termes de tout traité d'extradition conclu ou à conclure entre des Parties et soient reconnues comme cas d'extradition entre elles par les Parties qui ne subordonnent pas l'extradition à l'existence d'un traité ou à la réciprocité, étant entendu, toutefois, que l'extradition sera accordée conformément à la législation de la Partie à qui la demande d'extradition est adressée et que ladite Partie aura le droit de refuser de procéder à l'arrestation du délinquant ou de refuser d'accorder son extradition si les autorités compétentes considèrent que l'infraction n'est pas suffisamment grave.

3. Aucune disposition du présent article ne portera atteinte aux dispositions du droit pénal d'une Partie en matière de juridiction.

4. Les dispositions du présent article seront limitées en matière de compétence par la législation pénale de chacune des Parties.

ARTICLE 37

Saisie et confiscation

Tous stupéfiants, toutes substances et tout matériel utilisés pour commettre l'une quelconque des infractions visées à l'article 36 ou destinés à commettre une telle infraction pourront être saisis et confisqués.

ARTICLE 38

Traitement des toxicomanes

1. Les Parties prendront particulièrement en considération les mesures à prendre pour faire traiter et soigner les toxicomanes et assurer leur réadaptation.

2. Si la toxicomanie constitue un grave problème pour une Partie et si ses ressources économiques le permettent, il est souhaitable qu'elle crée les services adéquats en vue du traitement efficace des toxicomanes.

ARTICLE 39

Application de mesures nationales de contrôle plus sévères que celles qu'exige la présente Convention

Nonobstant toute disposition de la présente Convention, aucune Partie ne sera, ou ne sera censée être, empêchée d'adopter des mesures de contrôle plus strictes ou plus sévères que celles qui sont prévues par la présente Convention, et notamment d'exiger que les préparations du Tableau III ou les stupéfiants du Tableau II soient soumis aux mesures de contrôle applicables aux stupéfiants du Tableau I, ou à certaines d'entre elles, si elle le juge nécessaire ou opportun pour la protection de la santé publique.

ARTICLE 40

Langues de la Convention et procédure de signature, de ratification et d'adhésion

1. La présente Convention, dont les textes anglais, chinois, espagnol, français et russe font également foi, sera ouverte jusqu'au 1er août 1961 à la signature de tous les Etats Membres de l'Organisation des Nations Unies, de tous les Etats non membres qui sont parties au Statut de la Cour internationale de Justice ou membre d'une institution spécialisée des Nations Unies et également de tout autre Etat que le Conseil peut inviter à devenir Partie.

2. La présente Convention est soumise à ratification. Les instruments de ratification seront déposés auprès du Secrétaire général.

3. La présente Convention sera ouverte à l'adhésion des Etats visés au paragraphe 1 après le 1er août 1961. Les instruments d'adhésion seront déposés auprès du Secrétaire général.

ARTICLE 41

Entrée en vigueur

1. La présente Convention entrera en vigueur à l'expiration du trentième jour qui suivra la date du dépôt du quarantième instrument de ratification ou d'adhésion, conformément à l'article 40.

2. Pour tout autre Etat déposant un instrument de ratification ou d'adhésion après la date de dépôt dudit quarantième instrument, la présente Convention entrera en vigueur à l'expiration du trentième jour qui suivra le dépôt par cet Etat de son instrument de ratification ou d'adhésion.

ARTICLE 42

Application territoriale

La présente Convention s'appliquera à tous les territoires non métropolitains qu'une Partie

représente sur le plan international, sauf si le consentement préalable d'un tel territoire est nécessaire en vertu soit de la constitution de la Partie ou du territoire intéressé, soit de la coutume. En ce cas, la Partie s'efforcera d'obtenir dans le plus bref délai le consentement du territoire qui est nécessaire et, lorsque ce consentement aura été obtenu, elle le notifiera au Secrétaire général. La présente Convention s'appliquera au territoire ou territoires désignés par la notification, dès la date de la réception de cette dernière par le Secrétaire général. Dans les cas où le consentement préalable du territoire non métropolitain n'est pas nécessaire, la Partie intéressée déclarera, au moment de la signature, de la ratification ou de l'adhésion, à quel territoire ou territoires non métropolitains s'applique la présente Convention.

ARTICLE 43

Territoires aux fins des articles 19, 20, 21 et 31

1. Toute Partie peut notifier au Secrétaire général qu'aux fins des articles 19, 20, 21 et 31 l'un de ses territoires est divisé en deux ou plusieurs territoires ou que deux ou plusieurs de ses territoires sont groupés en un seul.

2. Deux ou plusieurs Parties peuvent notifier au Secrétaire général qu'à la suite de l'institution d'une union douanière entre elles, ces Parties constituent un seul territoire aux fins des articles 19, 20, 21 et 31.

3. Toute notification faite en vertu du paragraphe 1 ou 2 ci-dessus prendra effet au 1er janvier de l'année qui suivra celle où ladite notification est faite.

ARTICLE 44

Abrogation des traités internationaux antérieurs

1. Dès l'entrée en vigueur de la présente Convention, ses dispositions abrogeront et rem-

placeront, entre les Parties, les dispositions des traités ci-après:

a) Convention internationale de l'opium, signée à La Haye, le 23 janvier 1912;

b) Accord concernant la fabrication, le commerce intérieur et l'usage de l'opium préparé, signé à Genève, le 11 février 1925;

c) Convention internationale de l'opium, signée à Genève, le 19 février 1925;

d) Convention pour limiter la fabrication et réglementer la distribution des stupéfiants, signée à Genève, le 13 juillet 1931;

e) Accord pour le contrôle de la consommation de l'opium à fumer en Extrême-Orient, signé à Bangkok, le 27 novembre 1931;

f) Protocole signé à Lake Success, le 11 décembre 1946, amendement des Accords, Conventions et Protocoles sur les stupéfiants conclus à La Haye, le 23 janvier 1912, à Genève, le 11 février 1925, le 19 février 1925 et le 13 juillet 1931, à Bangkok, le 27 novembre 1931, et à Genève, le 26 juin 1936, sauf en ce qui concerne ses effets sur la dernière de ces Conventions;

g) Les Conventions et Accords visés aux alinéas a à e, tels qu'ils ont été amendés par le Protocole de 1946 visé à l'alinéa f;

h) Protocole signé à Paris, le 19 novembre 1948, plaçant sous contrôle international certaines drogues non visées par la Convention du 13 juillet 1931 pour limiter la fabrication et réglementer la distribution des stupéfiants, amendée par le Protocole signé à Lake Success, le 11 décembre 1946;

i) Protocole visant à limiter et à réglementer la culture du pavot, ainsi que la production, le commerce international, le commerce de gros et l'emploi de l'opium, signé à New York, le 23 juin 1953, si ce Protocole entre en vigueur.

2. Dès l'entrée en vigueur de la présente Convention, l'article 9 de la Convention pour la répression du trafic illicite des drogues nui-

sibles, signée à Genève, le 26 juin 1936, sera, entre les Parties à ladite Convention, qui sont aussi Parties à la présente Convention, abrogé et remplacé par l'alinéa b du paragraphe 2 de l'article 36 de la présente Convention; toutefois, une telle Partie pourra, après en avoir informé le Secrétaire général, maintenir en vigueur ledit article 9.

ARTICLE 45

Dispositions transitoires

1. Les fonctions de l'Organe dont la création est prévue à l'article 9 seront, à partir de la date d'entrée en vigueur de la présente Convention (article 41, paragraphe 1) exercées provisoirement, selon leur nature, par le Comité central permanent créé en exécution des dispositions du chapitre VI de la Convention mentionnée à l'alinéa c de l'article 44, telle qu'elle a été amendée, et par l'Organe de contrôle, créé en exécution des dispositions du chapitre II de la Convention mentionnée à l'alinéa d de l'article 44, telle qu'elle a été amendée.

2. Le Conseil fixera la date à laquelle le nouvel Organe mentionné à l'article 9 entrera en fonctions. A cette date, ledit Organe assumera les fonctions du Comité central permanent et celles de l'Organe de contrôle mentionnés au paragraphe 1, à l'égard des Etats qui sont Parties aux traités énumérés à l'article 44 et qui ne sont pas Parties à la présente Convention.

ARTICLE 46

Dénonciation

1. A l'expiration d'un délai de deux ans à compter de la date de l'entrée en vigueur de la présente Convention (article 41, paragraphe 1), toute Partie pourra, en son nom ou au nom d'un territoire qu'elle représente sur le plan international et qui a retiré le consente-

ment donné en vertu de l'article 42, dénoncer la présente Convention en déposant un instrument à cet effet auprès du Secrétaire général.

2. Si le Secrétaire général reçoit la dénonciation avant le 1er juillet ou à cette date, elle prendra effet le 1er janvier de l'année suivante; si la dénonciation est reçue après le 1er juillet, elle prendra effet comme si elle avait été reçue l'année suivante avant le 1er juillet ou à cette date.

3. La présente Convention viendra à expiration si, par suite de dénonciations notifiées conformément aux dispositions du paragraphe 1, les conditions de son entrée en vigueur prévues au paragraphe 1 de l'article 41 cessent d'être remplies.

ARTICLE 47

Amendements

1. Toute Partie pourra proposer un amendement à la présente Convention. Le texte dudit amendement et les raisons qui l'ont motivé seront communiqués au Secrétaire général qui les communiquera aux Parties et au Conseil. Le Conseil pourra décider soit:

a) De convoquer une conférence, conformément au paragraphe 4 de l'Article 62 de la Charte des Nations Unies, en vue d'étudier l'amendement proposé; soit

b) De demander aux Parties si elles acceptent l'amendement proposé et aussi de les prier de présenter éventuellement au Conseil leurs observations sur cette proposition.

2. Si un projet d'amendement distribué conformément au paragraphe 1, b, du présent article n'a été rejeté par aucune Partie dans les dix-huit mois qui suivent sa communication, il entrera immédiatement en vigueur. Si toutefois il est rejeté par une Partie, le Conseil pourra décider, compte tenu des observations des Parties, s'il convient de convoquer une conférence chargée d'étudier ledit amendement.

ARTICLE 48

Différends

1. S'ils s'élève entre deux ou plusieurs Parties un différend concernant l'interprétation ou l'application de la présente Convention, lesdites Parties se consulteront en vue de régler ce différend par voie de négociation, d'enquête, de médiation, de conciliation, d'arbitrage, de recours à des organismes régionaux, par voie judiciaire ou par d'autres moyens pacifiques de leur choix.

2. Tout différend de ce genre qui n'aura pas été réglé par les moyens prévus au paragraphe 1 sera soumis à la Cour internationale de Justice.

ARTICLE 49

Réserves transitoires

1. Une Partie peut, au moment de la signature, de la ratification ou de l'adhésion, se réserver le droit d'autoriser temporairement dans l'un de ses territoires:

- a) L'usage de l'opium à des fins quasi médicales;
- b) L'usage de l'opium à fumer;
- c) La mastication de la feuille de coca;
- d) L'usage du cannabis, de la résine de cannabis, d'extraits et teintures de cannabis à des fins non médicales; et
- e) La production, la fabrication et le commerce des stupéfiants visés aux alinéas a à d aux fins mentionnées dans lesdits alinéas.

2. Les réserves faites en vertu du paragraphe 1 seront soumises aux restrictions suivantes:

- a) Les activités mentionnées au paragraphe 1 ne pourront être autorisées que dans la mesure où elles étaient traditionnelles dans les territoires pour lesquels la réserve est faite et y étaient autorisées au 1er janvier 1961;

b) Aucune exportation des stupéfiants visés au paragraphe 1 aux fins mentionnées dans ledit paragraphe ne pourra être autorisée à destination d'un Etat non partie ou d'un territoire auquel la présente Convention ne s'applique pas aux termes de l'article 42;

c) Seules pourront être autorisées à fumer l'opium les personnes immatriculées à cet effet avant le 1er janvier 1964 par les autorités compétentes;

d) L'usage de l'opium à des fins quasi médicales devra être aboli dans un délai de quinze ans à compter de l'entrée en vigueur de la présente Convention, comme prévu au paragraphe 1 de l'article 41;

e) La mastication de la feuille de coca devra être abolie dans un délai de vingt-cinq ans à compter de l'entrée en vigueur de la présente Convention, comme prévu au paragraphe 1 de l'article 41;

f) L'usage du cannabis à des fins autres que médicales et scientifiques devra cesser aussitôt que possible mais en tout cas dans un délai de vingt-cinq ans à compter de l'entrée en vigueur de la présente Convention, comme prévu au paragraphe 1 de l'article 41;

g) La production, la fabrication et le commerce des stupéfiants visés au paragraphe 1 pour les usages mentionnés audit paragraphe devront être réduits et finalement supprimés en même temps que ces usages.

3. Toute Partie faisant une réserve en vertu du paragraphe 1 devra:

a) Inclure dans le rapport annuel qu'elle adressera au Secrétaire général, conformément à l'alinéa a du paragraphe 1 de l'article 18, un exposé des progrès accomplis au cours de l'année précédente en vue de rendre effective l'abolition de l'usage, de la production, de la fabrication ou du commerce visée au paragraphe 1; et

b) Fournir à l'Organe des évaluations (article 19) et des statistiques (article 20) sépa-

rées pour les activités au sujet desquelles une réserve aura été faite, de la manière et sous la forme prescrites par l'Organe.

4. a) Si une Partie qui fait une réserve en vertu du paragraphe 1 ne fournit pas:

i) Le rapport mentionné à l'alinéa a du paragraphe 3 dans les six mois suivant la fin de l'année à laquelle ont trait les renseignements qu'il contient;

ii) Les évaluations mentionnées à l'alinéa b du paragraphe 3 dans les trois mois suivant la date fixée à cet égard par l'Organe conformément au paragraphe 1 de l'article 12;

iii) Les statistiques mentionnées à l'alinéa b du paragraphe 3 dans les trois mois suivant la date où elles doivent être fournies conformément au paragraphe 2 de l'article 20;

l'Organe ou le Secrétaire général, selon le cas, adressera à la Partie en cause une notification indiquant son retard et lui demandera de fournir ces renseignements dans un délai de trois mois à compter de la réception de cette notification.

b) Si une Partie ne se conforme pas, dans le délai indiqué ci-dessus, à la demande de l'Organe ou du Secrétaire général, la réserve en question faite en vertu du paragraphe 1 cessera d'avoir effet.

5. L'Etat qui aura fait des réserves pourra à tout moment et par voie de notification écrite retirer tout ou partie de ses réserves.

ARTICLE 50

Autres réserves

1. Aucune réserve n'est autorisée en dehors des réserves faites conformément à l'article 49 ou aux paragraphes suivants.

2. Tout Etat peut, au moment de la signature, de la ratification ou de l'adhésion, faire des réserves sur les dispositions suivantes de la présente Convention: paragraphes 2 et 3 de l'article 12; paragraphe 2 de l'article 13; para-

graphes 1 et 2 de l'article 14; alinéa b du paragraphe 1 de l'article 31; et article 48.

3. Tout Etat qui désire devenir Partie à la Convention mais qui veut être autorisé à faire des réserves autres que celles qui sont énumérées au paragraphe 2 du présent article ou à l'article 49 peut aviser le Secrétaire général de cette intention. A moins qu'à l'expiration de douze mois après la date de la communication de la réserve en question par le Secrétaire général, un tiers des Etats qui ont ratifié la Convention ou y ont adhéré avant la fin de ladite période n'aient élevé des objections contre elle, elle sera considérée comme autorisée, étant entendu toutefois que les Etats qui auront élevé des objections contre cette réserve n'auront pas à assumer à l'égard de l'Etat qui l'a formulée d'obligation juridique découlant de la présente Convention, sur laquelle porte la réserve.

4. L'Etat qui aura fait des réserves pourra à tout moment et par voie de notification écrite retirer tout ou partie de ses réserves.

ARTICLE 51

Notifications

Le Secrétaire général notifiera à tous les Etats mentionnés au paragraphe 1 de l'article 40:

a) Les signatures, ratifications ou adhésions conformément à l'article 40;

b) La date à laquelle la présente Convention entrera en vigueur conformément à l'article 41;

c) Les dénonciations conformément à l'article 46; et

d) Les déclarations et notifications conformément aux articles 42, 43, 47, 49 et 50.

EN FOI DE QUOI les soussignés, dûment autorisés, ont signé la présente Convention au nom de leurs gouvernements respectifs.

FAIT à New York, le trente mars mil neuf cent soixante et un, en un seul exemplaire qui sera conservé dans les archives de l'Organisation des Nations Unies et dont les copies certi-

fiées conformes seront envoyées à tous les Etats Membres de l'Organisation des Nations Unies et aux autres Etats visés au paragraphe 1 de l'article 40.

FOR AFGHANISTAN:
POUR L'AFGHANISTAN:
阿富汗:
᠑᠎ ᠠᠹᠠᠬᠠᠨᠢᠰᠲᠠᠨ:
~~FOR EL AFGANISTÁN:~~

Abdul H. TABIBI

FOR ALBANIA:
POUR L'ALBANIE:
阿爾巴尼亞:
᠑᠎ ᠠᠯᠪᠠᠨᠢᠶ᠋ᠠ:
~~FOR ALBANIA:~~

FOR ARGENTINA:
POUR L'ARGENTINE:
阿根廷:
᠑᠎ ᠠᠷᠭᠡᠨᠲᠢᠨᠠ:
~~FOR LA ARGENTINA:~~

¹ Reservation to article 48, paragraph 2: The Argentine Republic does not recognise the compulsory jurisdiction of the International Court of Justice.

Reservation to article 49: The Argentine Republic reserves the rights conferred by paragraph 1 (c) "Coca leaf chewing" and paragraph 1 (e) "Trade in the drug referred to under (c) for the purposes mentioned therein".

M. AMADRO
31 de julio de 1961

~~Translation by the Secretariat of the United Nations:~~

~~¹ Reservation to article 48, paragraph 2: The Argentine Republic does not recognise the compulsory jurisdiction of the International Court of Justice.~~

~~Reservation to article 49: The Argentine Republic reserves the rights conferred by paragraph 1 (c) "Coca leaf chewing" and paragraph 1 (e) "Trade in the drug referred to under (c) for the purposes mentioned therein".~~

~~Traduction du Secrétariat des Nations Unies:~~

~~¹ Réserve au paragraphe 2 de l'article 48: La République Argentine ne reconnaît pas la juridiction obligatoire de la Cour internationale de Justice.~~

~~Réserve à l'article 49: La République Argentine se réserve les droits conférés par l'alinéa c du paragraphe 1 "Mastication de la feuille de coca" et par l'alinéa e du même paragraphe "Commerce du stupéfiant visé à l'alinéa c aux fins mentionnées dans ledit alinéa".~~

FOR AUSTRALIA:
POUR L'AUSTRALIE:
澳大利亞:
За Австралия:
FOR AUSTRALIA:

H. S. WARREN

FOR AUSTRIA:
POUR L'AUTRICHE:
奧地利:
За Австрия:
FOR AUSTRIA:

FOR BELGIUM:
POUR LA BELGIQUE:
比利時:
За Бельгия:
FOR BELGICA:

Walter LORIDAN
28 juillet 1961

FOR BOLIVIA:
POUR LA BOLIVIE:
玻利維亞:
За Боливия:
FOR BOLIVIA:

FOR BRAZIL:
POUR LE BRÉSIL:
巴西:
За Бразилия:
FOR EL BRASIL:

Ad referendum

Aluysio Guedes Regis BITTENCOURT

FOR BULGARIA:
POUR LA BULGARIE:
保加利亞:
За България:
FOR BULGARIA:

With reservations* concerning article 12, points 2 and 3; article 13, point 2; article 14, points 1 and 2; article 31, sub-point 1 (b); and article 48, point 2 (see attached note).¹

A. GEORGIEV

31 July 1961

* Text of reservations:

(1) The Government of the People's Republic of Bulgaria accepts the provision of paragraph 2 of article 48 with the reservation that for any dispute to be referred to the International Court of Justice for decision, the agreement of all parties to the dispute shall be necessary in each individual case.

(2) As regards countries which have been deprived of the opportunity of becoming parties, on the basis of the provisions of article 40 of the Single Convention on Narcotic Drugs, 1961, to the Convention, the Government of the People's Republic of Bulgaria does not consider as obligatory upon herself points 2 and 3 of article 12, point 2 of article 13, points 1 and 2 of article 14 and sub-point 1 (b) of article 31.

FOR BURMA:
POUR LA BIRMANIE:
緬甸:
За Бирма:
~~FOR BURMA:~~

I declare that my signature to this Single Convention is subject to the understanding that the Shan State is being allowed to have reservation of the right:

- (1) to allow addicts in the Shan State to smoke opium for a transitory period of 20 years with effect from the date of coming into force of this Single Convention;
- (2) to produce and manufacture opium for the above purpose;
- (3) to furnish list of opium consumers in the Shan State after the Shan State Government has completed the taking of such list on the 31st December, 1963.¹

TIN MAUNG

FOR THE BYELORUSSIAN SOVIET SOCIALIST REPUBLIC:
POUR LA RÉPUBLIQUE SOCIALISTE SOVIÉTIQUE DE BIÉLORUSSIE:
白俄羅斯蘇維埃社會主義共和國:
За Белорусскую Советскую Социалистическую Республику:
~~FOR LA REPUBLICA SOCIALISTA SOVIÉTICA DE BIÉLORUSSIA:~~

¹ With reservation* to article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b); text attached.

F. GRYZANOV
31 July 1961

* Text of the reservation:

The Government of the Byelorussian Soviet Socialist Republic will not consider itself bound by the provisions of article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b) of the Single Convention on Narcotic Drugs as applied to States not entitled to become Parties to the Single Convention on the basis of the procedure provided for in article 40 of that Convention.

FOR CAMBODIA:
POUR LE CAMBODGE:
柬埔寨:
За Камбоджу:
~~FOR CAMBODIA:~~

Sous réserve de la ratification par le Parlement cambodgien¹.

NONG KIMNY

FOR CAMEROUN:
POUR LE CAMEROUN:
喀麥隆:
За Камерун:
~~FOR EL CAMERÓN:~~

FOR CANADA:
POUR LE CANADA:
加拿大:
За Канаду:
~~FOR EL CANADÁ:~~

R. E. CURRAN

~~Translation by the Secretariat of the United Nations:
Subject to ratification by the Cambodian Parliament.~~

FOR THE CENTRAL AFRICAN REPUBLIC:
POUR LA RÉPUBLIQUE CENTRAFRICAINE:
中非共和國:
За Центральноафриканскую Республику:
~~FOR LA REPÚBLICA CENTROAFRICANA:~~

FOR CEYLON:
POUR CEYLAN:
錫蘭:
За Цейлон:
~~FOR CEILÁN:~~

FOR CHAD:
POUR LE TCHAD:
查德:
За Чад:
~~FOR EL CHAD:~~

J. CHARLOT
Sous réserve de ratification

FOR CHILE:
POUR LE CHILI:
智利:
За Чили:
~~FOR CHILE:~~

D. SCHWEITZER
Sujeto a ratificación

FOR CHINA:
POUR LA CHINE:
中國:
За Китай:
~~FOR LA CHINA:~~

WEI Hsioh-Ren

FOR COLOMBIA:
POUR LA COLOMBIE:
哥倫比亞:
За Колумбия:
~~FOR COLOMBIA:~~

FOR THE CONGO (BRAZZAVILLE):
POUR LE CONGO (BRAZZAVILLE):
剛果(伯拉沙維爾):
~~За Конго (Браззавиль):~~
~~FOR EL CONGO (BRAZZAVILLE):~~

E. DADET

FOR THE CONGO (LÉOPOLDVILLE):
POUR LE CONGO (LÉOPOLDVILLE):
剛果(雷堡市):
~~За Конго (Леопольдвилль):~~
~~FOR EL CONGO (LEOPOLDVILLE):~~

Gervais P. BAHIZI
28/4/1961

FOR COSTA RICA:
POUR LE COSTA RICA:
哥斯夫黎加:
~~За Коста-Рика:~~
~~FOR COSTA RICA:~~

G. ORTIZ MARTÍN

FOR CUBA:
POUR CUBA:
~~古巴:~~
~~За Кубу:~~
~~FOR CUBA:~~

FOR CYPRUS:
POUR CHYPRE:
賽普勒斯:
~~За Кипр:~~
~~FOR CHYPRE:~~

FOR CZECHOSLOVAKIA:
POUR LA TCHÉCOSLOVAQUIE:
捷克斯拉夫:
~~За Чехословакия:~~
~~FOR CZECHOSLOVAKIA:~~

Signature with the reservation* to the following articles: article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b). The text of the reservation is attached.¹

Dr. Zdeněk ČERNÍK
31 July 1961

* Text of the reservation:

The Government of the Czechoslovak Socialist Republic is not bound by the provisions of article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b) of the Single Convention on Narcotic Drugs, 1953, concerning those States, which have been deprived of the possibility to become Parties of the Single Convention on Narcotic Drugs, 1953, according to the procedure embodied in the article 40 of the aforesaid Convention.

FOR DAHOMEY:
POUR LE DAHOMEY:
達荷美:
За Дагомею:
FOR EL DAHOMEY:

Louis IGNACIO-PINTO

FOR DENMARK:
POUR LE DANEMARK:
丹麥:
За Данию:
FOR DENAMARCA:

A. HESSELUND JENSEN

FOR THE DOMINICAN REPUBLIC:
POUR LA RÉPUBLIQUE DOMINICAINE:
多明尼加共和國:
За Доминиканскую Республику:
FOR LA REPÚBLICA DOMINICANA:

FOR ECUADOR:
POUR L'ÉQUATEUR:
厄瓜多:
За Эквадор:
FOR EL ECUADOR:

FOR EL SALVADOR:
POUR LE SALVADOR:
薩爾瓦多:
За Сальвадор:
FOR EL SALVADOR:

M. Rafael Urquí

FOR ETHIOPIA:
POUR L'ÉTHIOPIE:
衣索比亞:
За Эфиопию:
FOR ETHIOPIA:

FOR THE FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY:
POUR LA RÉPUBLIQUE FÉDÉRALE D'ALLEMAGNE:
德意志聯邦共和國:
За Федеративную Республику Германии:
POR LA REPÚBLICA FEDERAL DE ALEMANIA:

FOR THE FEDERATION OF MALAYA:
POUR LA FÉDÉRATION DE MALAISIE:
馬來亞聯邦:
За Малайскую Федерацию:
POR LA FEDERACIÓN MALAYA:

FOR FINLAND:
POUR LA FINLANDE:
芬蘭:
За Финляндию:
POR FINLANDIA:

Henrik BLOMSTEDT

FOR FRANCE:
POUR LA FRANCE:
法蘭西:
За Францию:
POR FRANCIA:

FOR GABON:
POUR LE GABON:
加彭:
За Габон:
POR EL GABÓN:

FOR GHANA:
POUR LE GHANA:
迦納:
За Гану:
POR GHANA:

Alex SACKEY
Ad referendum

FOR GREECE:
POUR LA GRÈCE:
希臘:
~~За Греция:~~
~~FOR GRECIA:~~

FOR GUATEMALA:
POUR LE GUATEMALA:
瓜地馬拉:
~~За Гватемала:~~
~~FOR GUATEMALA:~~

FOR GUINEA:
POUR LA GUINÉE:
幾內亞:
~~За Гвинея:~~
~~FOR GUINEA:~~

FOR HAITI:
POUR HAÏTI:
海地:
~~За Гаити:~~
~~FOR HAÏTI:~~

Ernest JEAN-LOUIS
3 avril 1961

FOR THE HOLY SEE:
POUR LE SAINT-SIÈGE:
教廷:
~~За Святейший Престол:~~
~~FOR LA SANTA SEDE:~~

James H. GRIFFITHS
Subject to ratification

FOR HONDURAS:
POUR LE HONDURAS:
宏都拉斯:
~~За Гондурас:~~
~~FOR HONDURAS:~~

FOR HUNGARY:
POUR LA HONGRIE:
匈牙利:
~~За Венгрия:~~
~~FOR HUNGRIA:~~

With reservations* concerning: article 12, points 2 and 3; article 13, point 2; article 14, points 1 and 2; article 31, sub-point 1 (b); and article 48, point 2. (See attached note, No. 139—31 July 1961.)¹

LÖRINC Tamás
31 July 1961

* Text of the reservations:

1. The Government of the Hungarian People's Republic accepts the provision of paragraph 2 of article 48 with the reservation that for any dispute to be referred to the International Court of Justice for decision, the agreement of all parties to the dispute shall be necessary in each individual case.

2. As regards countries which have been deprived of the possibility of becoming parties, on the basis of the provisions of article 40 of the Single Convention on Narcotic Drugs, 1953, to the Convention, the Government of the Hungarian People's Republic does not consider as obligatory upon herself points 2 and 3 of article 12, point 2 of article 13, points 1 and 2 of article 14 and sub-point 1 (b) of article 31.

FOR ICELAND:
POUR L'ISLANDE:
冰島:
~~За Исландия:~~
~~FOR ISLANDIA:~~

Traduction du Secrétariat des Nations Unies:

¹ Avec réserves* aux paragraphes 2 et 3 de l'article 12, au paragraphe 2 de l'article 13, aux paragraphes 1 et 2 de l'article 14, à l'alinéa b du paragraphe 1 de l'article 31 et au paragraphe 2 de l'article 48. (Voir ci-joint la note n° 139 du 31 juillet 1961.)

* Text of the reservations:

1. The Government of the Hungarian People's Republic accepts the provision of paragraph 2 of article 48 with the reservation that for any dispute to be referred to the International Court of Justice for decision, the agreement of all parties to the dispute shall be necessary in each individual case.

2. As regards countries which have been deprived of the possibility of becoming parties, on the basis of the provisions of article 40 of the Single Convention on Narcotic Drugs, 1953, to the Convention, the Government of the Hungarian People's Republic does not consider as obligatory upon herself points 2 and 3 of article 12, point 2 of article 13, points 1 and 2 of article 14 and sub-point 1 (b) of article 31.

* Texte des réserves:

1. Le Gouvernement de la République populaire de Hongrie accepte les dispositions du paragraphe 2 de l'article 48 sous réserve que, pour qu'un différend soit soumis pour décision à la Cour internationale de Justice, il faudra obtenir dans chaque cas l'accord de toutes les parties au différend.

2. En ce qui concerne les pays privés de la possibilité de devenir parties à la Convention en vertu des dispositions de l'article 40 de la Convention unique sur les stupéfiants de 1953, le Gouvernement de la République populaire de Hongrie ne se considère pas comme lié par les paragraphes 2 et 3 de l'article 12, le paragraphe 2 de l'article 13, les paragraphes 1 et 2 de l'article 14 et l'alinéa b du paragraphe 1 de l'article 31.

FOR INDIA:
POUR L'INDE:
印度:
~~За Индия:~~
~~FOR INDIA:~~

B. N. BANERJI

Subject to ratification and to the reservations provided for in Art. 49, paragraph 1 (a), (b), (d) and (e). The Government of India will, in accordance with the second sub-alinea of Article 42, endeavour to secure, within the shortest time possible, the consent of Sikkim to the application of the Convention to that territory.¹

FOR INDONESIA:
POUR L'INDONÉSIE:
印度尼西亚:
~~За Индонезия:~~
~~FOR INDONESIA:~~

Subject to ratification and to reservation to article 48, para. 2 and to a declaration of intention to make reservations to articles 40 and 42 in accordance with the attached statement.*²

S. WIRJOPRANOTO
28 July 1961

* Text of the statement:

1. With respect to article 48, paragraph 1, the Indonesian Government does not agree to the present formulation which does not permit any State which wishes to become a Party to this Convention to do so.

2. With respect to article 42, the Indonesian Government does not agree to the present formulation which may prevent the application of this Convention to non-metropolitan territories.

3. With respect to article 48, paragraph 2, the Indonesian Government does not consider itself bound by the provisions of this paragraph which provide for a mandatory reference to the International Court of Justice of any dispute which cannot be resolved according to the terms of paragraph 1. The Indonesian Government takes the position that for any dispute to be referred to the International Court of Justice for decision the agreement of all the parties to the dispute shall be necessary in each individual case.

FOR IRAN:
POUR L'IRAN:
~~伊朗:~~
~~За Иран:~~
~~FOR IRAN:~~

Sous réserve de ratification ultérieure
Dr. AZARAKHSH

FOR IRAQ:
POUR L'IRAK:
~~伊拉克:~~
~~За Ирак:~~
~~FOR IRAK:~~

Adnan PACHACHI
Subject to ratification

FOR IRELAND:
POUR L'IRLANDE:
~~爱尔兰:~~
~~За Ирландию:~~
~~FOR IRLANDA:~~

FOR ISRAEL:
POUR ISRAËL:
~~以色列:~~
~~За Израиль:~~
~~FOR ISRAEL:~~

FOR ITALY:
POUR L'ITALIE:
~~義大利:~~
~~За Италию:~~
~~FOR ITALIA:~~

Subject to ratification
G. ORTONA
April 4, 1961

FOR THE IVORY COAST:
POUR LA CÔTE-D'IVOIRE:
~~象牙海岸:~~
~~За Берег Слоновой Кости:~~
~~FOR LA COSTA DE MAREIL:~~

FOR JAPAN:
POUR LE JAPON:
日本:
~~За Японию:~~
~~FOR EL JAPÓN:~~

FOR JORDAN:
POUR LA JORDANIE:
約旦:
~~За Иорданью:~~
~~FOR JORDANIA:~~

Subject to ratification
J. JOURY

FOR KUWAIT:
POUR LE KOWEÏT:
科威特:
~~За Кувейт:~~
~~FOR KUWEÏT:~~

FOR LAOS:
POUR LE LAOS:
寮國:
~~За Лаос:~~
~~FOR LAOS:~~

FOR LEBANON:
POUR LE LIBAN:
黎巴嫩:
~~За Ливан:~~
~~FOR EL LIBANO:~~

Subject to ratification
Georges HAKIM

FOR LIBERIA:
POUR LE LIBÉRIA:
賴比瑞亞:
~~За Либерия:~~
~~FOR LIBERIA:~~

Subject to ratification
Archibald JOHNSON, M.D.

FOR LIBYA:
POUR LA LIBYE:
~~利比亞:~~
~~За ЛИБИЮ:~~
~~FOR LIBIA:~~

FOR LIECHTENSTEIN:
POUR LE LIECHTENSTEIN:
~~列支敦斯登:~~
~~За Лихтенштейн:~~
~~FOR LIECHTENSTEIN:~~

FOR LUXEMBOURG:
POUR LE LUXEMBOURG:
~~盧森堡:~~
~~За Люксембург:~~
~~FOR LUXEMBURGO:~~

FOR MADAGASCAR:
POUR MADAGASCAR:
~~馬達加斯加:~~
~~За Мадагаскар:~~
~~FOR MADAGASCAR:~~

ANDRIAMAHARO

FOR MALI:
POUR LE MALI:
~~馬利:~~
~~За Мали:~~
~~FOR MALI:~~

FOR MAURITANIA
POUR LA MAURITANIE:
~~茅利塔尼亞:~~
~~За Мавританию:~~
~~FOR MAURITANIA:~~

FOR MEXICO:
POUR LE MEXIQUE:
~~墨西哥:~~
~~За Мексика:~~
~~POUR MÉXICO:~~

FOR MONACO:
POUR MONACO:
~~摩納哥:~~
~~За Монако:~~
~~POUR MONACO:~~

FOR MOROCCO:
POUR LE MAROC:
~~摩洛哥:~~
~~За Марокко:~~
~~POUR MARRUECOS:~~

FOR NEPAL:
POUR LE NÉPAL:
~~尼泊爾:~~
~~За Непал:~~
~~POUR NEPAL:~~

FOR THE NETHERLANDS:
POUR LES PAYS-BAS:
~~荷蘭:~~
~~За Нидерланды:~~
~~POUR LES PAYS-BAS:~~

¹ In view of the equality from the point of view of public law between the Netherlands, Surinam and the Netherlands Antilles, the term "non-metropolitan" mentioned in article 42 of this Convention no longer has its original meaning so far as Surinam and the Netherlands Antilles are concerned, and will consequently be deemed to mean "non-European".

J. POLDERMAN
31 juillet 1961

FOR NEW ZEALAND:
POUR LA NOUVELLE-ZÉLANDE:
~~紐西蘭:~~
~~За Новую Зеландию:~~
~~POUR NUEVA ZELANDIA:~~

D. P. KENNEDY
R. W. SHARP

Translation by the Secretariat of the United Nations:

¹ In view of the equality from the point of view of public law between the Netherlands, Surinam and the Netherlands Antilles, the term "non-metropolitan" mentioned in article 42 of this Convention no longer has its original meaning so far as Surinam and the Netherlands Antilles are concerned, and will consequently be deemed to mean "non-European".

FOR NICARAGUA:
POUR LE NICARAGUA:
~~尼加拉瓜:~~
~~За Никарагуа:~~
~~FOR NICARAGUA:~~

Luis Manuel DEBAYLE

FOR THE NIGER:
POUR LE NIGER:
~~奈及爾:~~
~~За Нигер:~~
~~FOR EL NIGER:~~

FOR NIGERIA:
POUR LA NIGÉRIA:
~~奈及利亞:~~
~~За Нигерия:~~
~~FOR NIGERIA:~~

Alhaji MUHAMMAD

FOR NORWAY:
POUR LA NORVÈGE:
~~挪威:~~
~~За Норвегия:~~
~~FOR NORUEGA:~~

Subject to ratification
Sivert A. NIELSEN

FOR PAKISTAN:
POUR LE PAKISTAN:
~~巴基斯坦:~~
~~За Пакистан:~~
~~FOR EL PAKISTÁN:~~

M. ASLAM

FOR PANAMA:
POUR LE PANAMA:
~~巴拿馬:~~
~~За Панама:~~
~~FOR PANAMÁ:~~

César A. QUINTERO

FOR PARAGUAY:
POUR LE PARAGUAY:
巴拉圭:
За Парагвай:
POR EL PARAGUAY:

Miguel SOLANO LÓPEZ

FOR PERU:
POUR LE PÉROU:
秘魯:
За Перу:
POR EL PERÚ:

¹Ad referendum with reservation regarding article 49, paragraphs 2 (b) and 4 (b).

M. F. MAÚRTUA

FOR THE PHILIPPINES:
POUR LES PHILIPPINES:
菲律賓:
За Филиппины:
POR FILIPINAS:

F. A. DELCADO

~~Translation by the Secretariat of the United Nations:
Ad referendum with reservation regarding article 49, paragraphs 2 (b) and 4 (b).~~

~~Traduction du Secrétariat des Nations Unies:~~

~~Ad referendum, avec une réserve concernant l'alinéa b du paragraphe 2 et l'alinéa b du paragraphe 4 de l'article 49.~~

FOR POLAND:
POUR LA POLOGNE:
波蘭:
За Польшу:
POR POLONIA:

With the reservations* to article 12, paragraphs 2 and 3; article 13, paragraph 2; article 14, paragraphs 1 and 2; article 31, paragraph 1 (b)—as explained in the attached note.¹

B. LEWANDOWSKI
31.VII.1961

^{*}Text of the reservations:

The Government of the Polish People's Republic does not consider itself being bound by the provisions of article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b) of the Single Convention on Narcotic Drugs, 1953, and concerning States deprived of the opportunity to participate in the above Convention.

In the opinion of the Government of the Polish People's Republic it is inadmissible to impose obligations contained in the mentioned provisions, upon States, which in result of other provisions of the same Convention may be deprived of the opportunity to adhere to it.

Luís SOARES DE OLIVEIRA
Ad referendum

FOR PORTUGAL:
POUR LE PORTUGAL:
葡萄牙:
За Португалию:
POR PORTUGAL:

FOR THE REPUBLIC OF KOREA:
POUR LA RÉPUBLIQUE DE CORÉE:
大韓民國:
За Республику Корею:
POR LA REPÚBLICA DE COREA:

MOON D. C.

~~Traduction du Secrétariat des Nations Unies:~~

~~Avec les réserves* aux paragraphes 2 et 3 de l'article 12, au paragraphe 2 de l'article 13, aux paragraphes 1 et 2 de l'article 14 et à l'alinéa b du paragraphe 1 de l'article 31 énoncées dans la note jointe en annexe.~~

^{*}Texte des réserves:

~~Le Gouvernement de la République populaire de Pologne ne se considère pas comme lié par les dispositions des paragraphes 2 et 3 de l'article 12, du paragraphe 2 de l'article 13, des paragraphes 1 et 2 de l'article 14 et de l'alinéa b du paragraphe 1 de l'article 31 de la Convention unique sur les stupéfiants de 1953 en ce qui concerne les États privés de la possibilité de devenir parties à ladite Convention.~~

~~De l'avis du Gouvernement de la République populaire de Pologne, il est inadmissible d'imposer les obligations énoncées dans les dispositions précitées à des États qui, en vertu d'autres dispositions de la même Convention, peuvent être privés de la possibilité d'y adhérer.~~

^{*}Text of the reservations:

The Government of the Polish People's Republic does not consider itself being bound by the provisions of article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b) of the Single Convention on Narcotic Drugs, 1953, and concerning States deprived of the opportunity to participate in the above Convention.

In the opinion of the Government of the Polish People's Republic it is inadmissible to impose obligations contained in the mentioned provisions, upon States, which in result of other provisions of the same Convention may be deprived of the opportunity to adhere to it.

FOR THE REPUBLIC OF VIET-NAM:
POUR LA RÉPUBLIQUE DU VIET-NAM:
~~越南共和國:~~
~~За Республику Вьетнам:~~
~~FOR LA REPUBLICA DE VIET-NAM:~~

FOR ROMANIA:
POUR LA ROUMANIE:
~~羅馬尼亞:~~
~~За Румынию:~~
~~FOR ROMANIA:~~

FOR SAN MARINO:
POUR SAINT-MARIN:
~~聖馬利諾:~~
~~За Сан-Марино:~~
~~FOR SAN MARINO:~~

FOR SAUDI ARABIA:
POUR L'ARABIE SAOUDITE:
~~沙烏地阿拉伯:~~
~~За Саудовскую Аравию:~~
~~FOR ARABIA SAUDITA:~~

FOR SENEGAL:
POUR LE SÉNÉGAL:
~~塞內加爾:~~
~~За Сенегал:~~
~~FOR EL SENEGAL:~~

FOR SOMALIA:
POUR LA SOMALIE:
~~索馬利亞:~~
~~За Сомали:~~
~~FOR SOMALIA:~~

FOR SPAIN:
POUR L'ESPAGNE:
~~西班牙:~~
~~3e ИСПАНИЯ:~~
~~FOR ESPAÑA:~~

FOR THE SUDAN:
POUR LE SOUDAN:
~~蘇丹:~~
~~3e Судан:~~
~~FOR EL SUDÁN:~~

FOR SWEDEN:
POUR LA SUÈDE:
~~瑞典:~~
~~3e ШВЕЦИЯ:~~
~~FOR SUECIA:~~

Agda RÖSSEL
April 3, 1961

FOR SWITZERLAND:
POUR LA SUISSE:
~~瑞士:~~
~~3e ШВЕЙЦАРИЯ:~~
~~FOR SUZZA:~~

Michael VON SCHENCK
20 avril 1961

FOR THAILAND:
POUR LA THAÏLANDE:
~~泰國:~~
~~3e ТИЛЬАНДИ:~~
~~FOR THAILANDIA:~~

FOR TOGO:
POUR LE TOGO:
~~多哥:~~
~~3e ТОГО:~~
~~FOR EL TOGO:~~

FOR TUNISIA:
POUR LA TUNISIE:
~~突尼西亚:~~
~~За Тунис:~~
~~FOR TUNIZ:~~

AYARI

FOR TURKEY:
POUR LA TURQUIE:
~~土耳其:~~
~~За Турцию:~~
~~FOR TURQUIA:~~

FOR THE UKRAINIAN SOVIET SOCIALIST REPUBLIC:
POUR LA RÉPUBLIQUE SOCIALISTE SOVIÉTIQUE D'UKRAINE:
烏克蘭蘇維埃社會主義共和國:
~~За Украинскую Советскую Социалистическую Республику:~~
~~FOR LA REPÚBLICA SOCIALISTA SOVIÉTICA DE UCRANIA:~~

¹ With reservation* to article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b); text attached.

L. KIZIA
31 July 1961

* Text of the reservation:

The Government of the Ukrainian Soviet Socialist Republic will not consider itself bound by the provisions of article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b) of the Single Convention on Narcotic Drugs as applied to States not entitled to become Parties to the Single Convention on the basis of the procedure provided for in article 40 of that Convention.

FOR THE UNION OF SOUTH AFRICA:
POUR L'UNION SUD-AFRICAINE:
~~南非聯邦:~~
~~За Южно-Африканский Союз:~~
~~FOR LA UNIÓN SUDAFRICANA:~~

~~Translation by the Secretariat of the United Nations:~~

~~¹ With reservation* to article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b); text attached.~~

~~L. KIZIA
31 July 1961~~

~~* Text of the reservation:~~

~~The Government of the Ukrainian Soviet Socialist Republic will not consider itself bound by the provisions of article 12, paragraphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and article 31, paragraph 1 (b) of the Single Convention on Narcotic Drugs as applied to States not entitled to become Parties to the Single Convention on the basis of the procedure provided for in article 40 of that Convention.~~

~~Traduction du Secrétariat des Nations Unies:~~

~~¹ Avec réserve* aux paragraphes 2 et 3 de l'article 12, au paragraphe 2 de l'article 13, aux paragraphes 1 et 2 de l'article 14 et à l'alinéa b du paragraphe 1 de l'article 31. Texte de la réserve joint en annexe.~~

~~L. KIZIA
31 juillet 1961~~

~~* Texte de la réserve:~~

~~Le Gouvernement de la République socialiste soviétique d'Ukraine ne se considère pas comme lié par les dispositions des paragraphes 2 et 3 de l'article 12, du paragraphe 2 de l'article 13, des paragraphes 1 et 2 de l'article 14 et de l'alinéa b du paragraphe 1 de l'article 31 de la Convention unique sur les stupéfiants en ce qui concerne les États privés de la possibilité de devenir parties à la Convention unique en vertu de la procédure prévue à l'article 40 de ladite Convention.~~

FOR THE UNION OF SOVIET SOCIALIST REPUBLICS:
POUR L'UNION DES RÉPUBLIQUES SOCIALISTES SOVIÉTIQUES:
~~蘇維埃社會主義共和國聯邦:~~
~~За Союз Советских Социалистических Республик:~~
~~FOR LA UNIÓN DE REPÚBLICAS SOCIALISTAS SOVIÉTICAS:~~

¹ With reservation* to article 12, paragraphs 2 and 3,
article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and
article 31, paragraph 1 (b); text attached.

Platon MOROZOV
31 July 1961

* Text of the reservation:
The Government of the Union of Soviet Socialist Republics will
not consider itself bound by the provisions of article 12, para-
graphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2
and article 31, paragraph 1 (b) of the Single Convention on Narcotic
Drugs as applied to States not entitled to become Parties to the
Single Convention on the basis of the procedure provided for in
article 40 of that Convention.

FOR THE UNITED ARAB REPUBLIC:
POUR LA RÉPUBLIQUE ARABE UNIE:
~~阿拉伯聯合共和國:~~
~~За Объединенную Арабскую Республику:~~
~~FOR LA REPÚBLICA ARABE UNIDA:~~

Subject to ratification

Dr. Amin ISMAIL

~~Translation by the Secretariat of the United Nations:
¹ With reservation* to article 12, paragraphs 2 and 3,
article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2 and
article 31, paragraph 1 (b); text attached.~~

~~Platon MOROZOV
31 July 1961~~

~~* Text of the reservation:
The Government of the Union of Soviet Socialist Republics will
not consider itself bound by the provisions of article 12, para-
graphs 2 and 3, article 13, paragraph 2, article 14, paragraphs 1 and 2
and article 31, paragraph 1 (b) of the Single Convention on Narcotic
Drugs as applied to States not entitled to become Parties to the
Single Convention on the basis of the procedure provided for in
article 40 of that Convention.~~

~~Traduction du Secrétariat des Nations Unies:
¹ Avec réserve* aux paragraphes 2 et 3 de l'article 12,
au paragraphe 2 de l'article 13, aux paragraphes 1 et 2 de
l'article 14 et à l'alinéa b du paragraphe 1 de l'article 31.
Texte de la réserve joint en annexe.~~

~~Platon MOROZOV
31 juillet 1961~~

~~* Texte de la réserve:
Le Gouvernement de l'Union des Républiques socialistes sovié-
tiques ne se considère pas comme lié par les dispositions des para-
graphes 2 et 3 de l'article 12, du paragraphe 2 de l'article 13, des
paragraphes 1 et 2 de l'article 14 et de l'alinéa b du paragraphe 1
de l'article 31 de la Convention unique sur les stupéfiants en ce qui
concerne les Etats privés de la possibilité de devenir parties à la
Convention unique en vertu de la procédure prévue à l'article 40
de ladite Convention.~~

FOR THE UNITED KINGDOM OF GREAT BRITAIN AND NORTHERN IRELAND:
POUR LE ROYAUME-UNI DE GRANDE-BRETAGNE ET D'IRLANDE DU NORD:
大不列顛及北愛爾蘭聯合王國:
~~За Соединенное Королевство Великобритании и Северной Ирландии:~~
~~FOR EL REINO UNIDO DE GRAN BRETAÑA E IRLANDA DEL NORTE:~~

Patrick DEAN

FOR THE UNITED STATES OF AMERICA:
POUR LES ETATS-UNIS D'AMÉRIQUE:
美利堅合衆國:
~~За Соединенные Штаты Америки:~~
~~FOR LOS ESTADOS UNIDOS DE AMÉRICA:~~

FOR THE UPPER VOLTA:
POUR LA HAUTE-VOLTA:
上伏爾他:
~~За Верхнюю Вольту:~~
~~FOR EL ALTO VOLTA:~~

FOR URUGUAY:
POUR L'URUGUAY:
烏拉圭:
За-Уругвай:
POR EL URUGUAY:

FOR VENEZUELA:
POUR LE VENEZUELA:
委內瑞拉:
За-Венецуэла:
POR VENEZUELA:

Rafael Dario BERTI
Ad referendum

FOR YEMEN:
POUR LE YÉMEN:
也門:
За-Йемен:
POR EL YEMEN:

FOR YUGOSLAVIA:
POUR LA YOUGOSLAVIE:
南斯拉夫:
За-Югославию:
POR YUGOSLAVIA:

Dragan NIKOLIĆ

SCHEDULES

List of drugs included in Schedule I

- ACETYLMETHADOL (3-acetoxy-6-dimethylamino-4,4-diphenylheptane)
ALLYLPRODINE (3-allyl-1-methyl-4-phenyl-4-propionoxypiperidine)
ALPHACETYLMETHADOL (alpha-3-acetoxy-6-dimethylamino-4,4-diphenylheptane)
ALPHAMEPRODINE (alpha-3-ethyl-1-methyl-4-phenyl-4-propionoxypiperidine)
ALPHAMETHADOL (alpha-6-dimethylamino-4,4-diphenyl-3-heptanol)
ALPHAPRODINE (alpha-1,3-dimethyl-4-phenyl-4-propionoxypiperidine)
ANILERIDINE (1-*para*-aminophenethyl-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)
BENZETHIDINE (1-(2-benzyloxyethyl)-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)
BENZYMORPHINE (3-benzylmorphine)
BETACETYLMETHADOL (beta-3-acetoxy-6-dimethylamino-4,4-diphenylheptane)
BETAMEPRODINE (beta-3-ethyl-1-methyl-4-phenyl-4-propionoxypiperidine)
BETAMETHADOL (beta-6-dimethylamino-4,4-diphenyl-3-heptanol)
BETAPRODINE (beta-1,3-dimethyl-4-phenyl-4-propionoxypiperidine)
CANNABIS and CANNABIS RESIN and EXTRACTS and TINCTURES of CANNABIS
CLONITAZENE (2-*para*-chlorobenzyl-1-diethylaminoethyl-5-nitrobenzimidazole)
COCA LEAF
COCAINE (methyl ester of benzoylcegonine)
CONCENTRATE OF POPPY STRAW (the material arising when poppy straw has entered into a process for the concentration of its alkaloids, when such material is made available in trade)
DESOMORPHINE (dihydrodeoxymorphine)
DXTROMORAMIDE ((+)-4-[2-methyl-4-oxo-3,3-diphenyl-4-(1-pyrrolidinyl) butyl] morpholine)
DIAMPROMIDE (N-[2-methylphenethylamino] propyl] propionanilide)
DIETHYLTHIAMBUTENE (3-diethylamino-1,1-di-(2'-thienyl)-1-butene)
DIHYDROMORPHINE
DIMENOXADOL (2-dimethylaminoethyl-1-ethoxy-1,1-diphenylacetate)
DIMEPHEPTANOL (6-dimethylamino-4,4-diphenyl-3-heptanol)
DIMETHYLTHIAMBUTENE (3-dimethylamino-1,1-di-(2'-thienyl)-1-butene)
DIOXAPHETYL BUTYRATE (ethyl 4-morpholino-2,2-diphenylbutyrate)
DIPHENOXYLATE (1-(3-cyano-3,3-diphenylpropyl)-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)
DIPIPANONE (4,4-diphenyl-6-piperidine-3-heptanone)
ECCONINE, its esters and derivatives which are convertible to ecgonine and cocaine

ETHYLMETHYLTHIAMBUTENE (3-ethylmethylamino-1,1-di-(2'-thienyl)-1-butene)
 ETONITAZENE (1-diethylaminoethyl-2-*para*-ethoxybenzyl-5-nitrobenzimidazole)
 ETOKERIDINE (1-[2-(2-hydroxyethoxy) ethyl]-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)
 FURETHIDINE (1-(2-tetrahydrofurfuryloxyethyl)-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)
 HEROIN (diacetylmorphine)
 HYDROCODONE (dihydrocodeinone)
 HYDROMORPHINOL (14-hydroxydihydromorphine)
 HYDROMORPHONE (dihydromorphinone)
 HYDROXPETHIDINE (4-*meta*-hydroxyphenyl-1-methylpiperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)
 ISOMETHADONE (6-dimethylamino-5-methyl-4,4-diphenyl-3-hexanone)
 KETOBE MIDONE (4-*meta*-hydroxyphenyl-1-methyl-4-propionylpiperidine)
 LEVOMETHORPHAN* ((-)-3-methoxy-N-methylmorphinan)
 LEVOMORAMIDE ((-)-4-[2-methyl-4-oxo-3,3-diphenyl-4-(1-pyrrolidinyl) butyl] morpholine)
 LEVOPHENACYLMORPHAN ((-)-3-hydroxy-N-phenacylmorphinan)
 LEVORPHANOL* ((-)-3-hydroxy-N-methylmorphinan)
 METAZOCINE (2'-hydroxy-2,5,9-trimethyl-6,7-benzomorphan)
 METHADONE (6-dimethylamino-4,4-diphenyl-3-heptanone)
 METHYLDESORPHINE (6-methyl-delta 6-deoxymorphine)
 METHYLDIHYDROMORPHINE (6-methyldihydromorphine)
 1-Methyl-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid
 METOPON (5-methyldihydromorphinone)
 MORPHERIDINE (1-(2-morpholinoethyl)-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)
 MORPHINE
 MORPHINE METHOBROMIDE and other pentavalent nitrogen morphine derivatives
 MORPHINE-N-OXIDE
 MYROPHINE (myristylbenzylmorphine)
 NICOMORPHINE (3,6-dinicotinylmorphine)
 NORLEVORPHANOL ((-)-3-hydroxymorphinan)
 NORMETHADONE (6-dimethylamino-4,4-diphenyl-3-hexanone)
 NORMORPHINE (demethylmorphine)
 OPIUM
 OXYCODONE (14-hydroxydihydrocodeinone)
 OXYMORPHONE (14-hydroxydihydromorphinone)
 PETHIDINE (1-methyl-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)

* Dextromethorphan ((+)-3-methoxy-N-methylmorphinan) and dextrorphan ((+)-3-Hydroxy-N-methylmorphinan) are specifically excluded from this Schedule.

PHENADOXONE (6-morpholino-4,4-diphenyl-3-heptanone)
 PHENAMPROMIDE (N-(1-methyl-2-piperidinoethyl) propionanilide)
 PHENAZOCINE (2'-hydroxy-5,9-dimethyl-2-phenethyl-6,7-benzomorphan)
 PHENOMORPHAN (3-hydroxy-N-phenethylmorphinan)
 PHENOPERIDINE (1-(3-hydroxy-3-phenylpropyl)-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)
 PIMINODINE (4-phenyl-1-(3-phenylaminopropyl) piperidine-4-carboxylic acid ethyl ester)
 PROHEPTAZINE (1,3-dimethyl-4-phenyl-4-propionoxyazacycloheptane)
 PROPERIDINE (1-methyl-4-phenylpiperidine-4-carboxylic acid isopropyl ester)
 RACEMETHORPHAN ((±)-3-methoxy-N-methylmorphinan)
 RACEMORAMIDE ((±)-4-[2-methyl-4-oxo-3,3-diphenyl-4-(1-pyrrolidinyl) butyl] morpholine)
 RACEMORPHAN ((±)-3-hydroxy-N-methylmorphinan)
 THEBACON (acetyldihydrocodeinone)
 THEBAINE
 TRIMEPERIDINE (1,2,5-trimethyl-4-phenyl-4-propionoxypiperidine); and

The isomers, unless specifically excepted, of the drugs in this Schedule whenever the existence of such isomers is possible within the specific chemical designation;

The esters and ethers, unless appearing in another Schedule, of the drugs in this Schedule whenever the existence of such esters or ethers is possible;

The salts of the drugs listed in this Schedule, including the salts of esters, ethers and isomers as provided above whenever the existence of such salts is possible.

List of drugs included in Schedule II

ACETYLDIHYDROCODEINE

CODEINE (3-methylmorphine)

DEXTROPROPOXYPHENE ((+)-4-dimethylamino-3-methyl-1,2-diphenyl-2-propionyxybutane)

DIIHYDROCODEINE

ETHYLMORPHINE (3-ethylmorphine)

NORCODEINE (N-demethylcodeine)

PHOLCODINE (morpholinylethylmorphine); and

The isomers, unless specifically excepted, of the drugs in this Schedule whenever the existence of such isomers is possible within the specific chemical designation;

The salts of the drugs listed in this Schedule, including the salts of the isomers as provided above whenever the existence of such salts is possible.

List of preparations included in Schedule III

1. Preparations of:

Acetyldihydrocodeine,
Codeine,
Dextropropoxyphene,
Dihydrocodeine,
Ethylmorphine,
Norcodeine, and
Pholcodine

when

(a) Compounded with one or more other ingredients in such a way that the preparation has no, or a negligible, risk of abuse, and in such a way that the drug cannot be recovered by readily applicable means or in a yield which would constitute a risk to public health; and

(b) Containing not more than 100 milligrammes of the drug per dosage unit and with a concentration of not more than 2.5 per cent in undivided preparations.

2. Preparations of cocaine containing not more than 0.1 per cent of cocaine calculated as cocaine base and preparations of opium or morphine containing not more than 0.2 per cent of morphine calculated as anhydrous morphine base and compounded with one or more other ingredients in such a way that the preparation has no, or a negligible, risk of abuse, and in such a way that the drug cannot be recovered by readily applicable means or in a yield which would constitute a risk to public health.

3. Solid dose preparations of diphenoxylate containing not more than 2.5 milligrammes of diphenoxylate calculated as base and not less than 25 microgrammes of atropine sulphate per dosage unit.

4. *Pulvis ipecacuanhae et opii compositus*

10 per cent opium in powder

10 per cent ipecacuanha root, in powder
well mixed with

80 per cent of any other powdered ingredient containing no drug.

5. Preparations conforming to any of the formulae listed in this Schedule and mixtures of such preparations with any material which contains no drug.

List of drugs included in Schedule IV

CANNABIS and CANNABIS RESIN

DESOMORPHINE (dihydrodeoxymorphine)

HEROIN (diacetylmorphine)

KETOBEMIDONE (4-meta-hydroxyphenyl-1-methyl-4-propionylpiperidine); and

The salts of the drugs listed in this Schedule whenever the formation of such salts is possible.

TABLEAUX

Liste des stupéfiants inclus au Tableau I

ACÉTYLMÉTHADOL (acétoxy-3 diméthylamino-6 diphényl-4,4 heptane)
ALLYLPRODINE (allyl-3 méthyl-1 phényl-4 propionoxy-4 pipéridine)
ALPHACÉTYLMÉTHADOL (alpha-acétoxy-3 diméthylamino-6 diphényl-4,4 heptane)
ALPHAMÉPRODINE (alpha-éthyl-3 méthyl-1 phényl-4 propionoxy-4 pipéridine)
ALPHAMÉTHADOL (alpha-diméthylamino-6 diphényl-4,4 heptanol-3)
ALPHAPRODINE (alpha-diméthyl-3,3 phényl-4 propionoxy-4 pipéridine)
ANILÉRIDINE (ester éthylique de l'acide para-aminophénéthyl-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4)
BENZÉTHIDINE (ester éthylique de l'acide (benzyloxy-2 éthyl)-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4)
BENZYMORPHINE (benzyl-3 morphine)
BÉTACÉTYLMÉTHADOL (bêta-acétoxy-3 diméthylamino-6 diphényl-4,4 heptane)
BÉTAMÉPRODINE (bêta-éthyl-3 méthyl-1 phényl-4 propionoxy-4 pipéridine)
BÉTAMÉTHADOL (bêta-diméthylamino-6 diphényl-4,4 heptanol-3)
BÉTAPRODINE (bêta-diméthyl-1,3 phényl-4 propionoxy-4 pipéridine)
CANNABIS, RÉSINE DE CANNABIS, EXTRAITS ET TEINTURES DE CANNABIS
CÉTOBÉMIDONE (méta-hydroxyphényl-4 méthyl-1 propionyl-4 pipéridine)
CLONITAZÈNE (para-chlorobenzyl-2 diéthylaminoéthyl-1 nitro-5 benzimidazole)
COCA (FEUILLE DE)
COCAÏNE (ester méthylique de la benzoylécgonine)
CONCENTRÉ DE PAILLE DE PAVOT. Matière obtenue lorsque la paille de pavot a subi un traitement en vue de la concentration de ses alcaloïdes, lorsque cette matière est mise dans le commerce)
DÉSOMORPHINE (dihydrodésomorphine)
DEXTROMORAMIDE ((+)[méthyl-2 oxo-4 diphényl-3,3 (pyrrolidinyl-1)-4 butyl]-4 morpholine)
DIAMPROMIDE (N-[méthylphénéthylamino]-2 propyl)propionanilide)
DIÉTHYLTHIAMBUTÈNE (diéthylamino-3 di-(thiényl-2')-1,1 butène-1)
DIHYDROMORPHINE
DIMÉNOXADOL (diméthylaminoéthyl-2 éthoxy-1 diphényl-1,1 acétate)
DIMÉPHEPTANOL (diméthylamino-6 diphényl-4,4 heptanol-3)
DIMÉTHYLTHIAMBUTÈNE (diméthylamino-3 di-(thiényl-2')-1,1 butène-1)
BUTYRATE DE DIOXAPHÉTYLE (morpholino-4 diphényl-2,2 butyrate d'éthyl)
DIPHÉNOXYLATE (ester éthylique de l'acide (cyano-3 diphényl-3,3 propyl)-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4)

DIPIANONE (diphényl-4,4 pipéridine-6 heptanone-3)
 ECGONINE, ses esters et dérivés qui sont transformables en ecgonine et cocaïne
 ETHYLMÉTHYLTHIAMBUTÈNE (éthylméthylamino-3 di-(thiényl-2')-1,1 butène-1)
 ETONITAZÈNE ((diéthylaminoéthyl)-1 para-éthoxybenzyl-2 nitro-5 benzimidazole)
 ETOXÉRIDINE (ester éthylique de l'acide [(hydroxy-2 éthoxy)-2 éthyl]-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4)
 FURÉTHIDINE (ester éthylique de l'acide (tétrahydrofurfuryloxyéthyl-2)-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4)
 HÉROÏNE (diacétylmorphine)
 HYDROCODONE (dihydrocodéinone)
 HYDROMORPHINOL (hydroxy-14 dihydromorphine)
 HYDROMORPHONE (dihydromorphinone)
 HYDROXYPÉTHIDINE (ester éthylique de l'acide *mé*ta-hydroxyphényl-4 méthyl-1 pipéridine carboxylique-4)
 ISOMÉTHADONE (diméthylamino-6 méthyl-5 diphényl-4,4 hexanone-3)
 LÉVOMÉTHORPHANE* ((-)-méthoxy-3 N-méthylmorphinane)
 LÉVOMORAMIDE ((-)-[méthyl-2 oxo-4 diphényl-3,3 (pyrrolidinyl-1)-4 butyl]-4 morpholine)
 LÉVOPHÉNACYLMORPHANE ((-)-hydroxy-3 N-phénacylmorphinane)
 LÉVORPHANOL* ((-)-hydroxy-3 N-méthylmorphinane)
 MÉTAZOCINE (hydroxy-2' triméthyl-2,5,9 benzomorphane-6,7)
 MÉTHADONE (diméthylamino-6 diphényl-4,4 heptanone-3)
 MÉTHYLDÉSOPHINE (méthyl-6 delta6-désoxymorphine)
 MÉTHYLDIHYDROMORPHINE (méthyl-6 dihydromorphine)
 Méthyl-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4 (acide)
 MÉTOPON (méthyl-5 dihydromorphinone)
 MORPHÉRIDINE (ester éthylique de l'acide (morpholino-2 éthyl)-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4)
 MORPHINE
 MORPHINE MÉTHOBROMIDE et autres dérivés morphiniques à azote pentavalent
 N-OXYMORPHINE
 MYROPHINE (myristylbenzylmorphine)
 NICOMORPHINE (dinicotinyl-3,6 morphine)
 NORLÉVORPHANOL ((-)-hydroxy-3 morphinane)
 NORMÉTHADONE (diméthylamino-6 diphényl-4,4 hexanone-3)
 NORMORPHINE (déméthylmorphine)
 OPIUM
 OXYCODONE (hydroxy-14 dihydrocodéinone)
 OXYMORPHONE (hydroxy-14 dihydromorphinone)

* Le dextrométhorphan ((+)-méthoxy-3 N-méthylmorphinane) et le dextrorphan ((+)-hydroxy-3 N-méthylmorphinane) sont expressément exclus du présent Tableau.

PÉTHIDINE (ester éthylique de l'acide méthyl-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4)
 PHÉNADOXONE (morpholino-6 diphényl-4,4 heptanone-3)
 PHÉNAMPROMIDE (N-(méthyl-1 pipéridino-2 éthyl) propionanilide)
 PHÉNAZOCINE (hydroxy-2' diméthyl-5,9 phénéthyl-2 benzomorphane-6,7)
 PHÉNOMORPHANE (hydroxy-3 N-phénéthylmorphinane)
 PHÉNOPÉRIDINE (ester éthylique de l'acide (hydroxy-3 phényl-3 propyl)-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4)
 PIMINODINE (ester éthylique de l'acide phényl-4 (phénylamino-3 propyl)-1 pipéridine carboxylique-4)
 PROHEPTAZINE (diméthyl-1,3 phényl-4 propionoxy-4 azacycloheptane)
 PROPÉRIDINE (ester isopropylique de l'acide méthyl-1 phényl-4 pipéridine carboxylique-4)
 RACÉMÉTHORPHANE ((±)-méthoxy-3 N-méthylmorphinane)
 RACÉMORAMIDE ((±)-[méthyl-2 oxo-4 diphényl-3,3 (pyrrolidinyl-1)-4 butyl]-4 morpholine)
 RACÉMORPHANE ((±)-hydroxy-3 N-méthylmorphinane)
 THÉBACONE (acétyldihydrocodéinone)
 THÉBAÏNE
 TRIMÉPÉRIDINE (triméthyl-1,2,5 phényl-4 propionoxy-4 pipéridine); et

Les isomères des stupéfiants inscrits au Tableau, sauf exception expresse, dans tous les cas où ces isomères peuvent exister conformément à la désignation chimique spécifiée:

Les esters et les éthers des stupéfiants inscrits au présent Tableau, à moins qu'ils ne figurent dans un autre tableau, dans tous les cas où ces esters et éthers peuvent exister;

Les sels des stupéfiants inscrits au présent Tableau, y compris les sels d'esters, d'éthers et d'isomères visés ci-dessus, dans tous les cas où ces sels peuvent exister.

Liste des stupéfiants inclus au Tableau II

ACÉTYLDIHYDROCODÉINE
CODÉINE (3-méthylmorphine)
DEXTROPROPOXYPHÈNE ((+)-diméthylamino-4 méthyl-3 diphényl-1,2 propionoxy-2 butane)
DIHYDROCODÉINE
ETHYLMORPHINE (3-éthylmorphine)
NORCODÉINE (N-déméthylcodéine)
PHOLCODINE (morphelinyléthylmorphine); et

Les isomères des stupéfiants inscrits au Tableau, sauf exception expresse, dans tous les cas où ces isomères peuvent exister conformément à la désignation chimique spécifiée;

Les sels des stupéfiants inscrits au présent Tableau, y compris les sels de leurs isomères visés ci-dessus, dans tous les cas où ces sels peuvent exister.

Liste des préparations incluses au Tableau III

1. Préparations des stupéfiants suivants:

Acétyldihydrocodéine,
Codéine,
Dextropropoxyphène,
Dihydrocodéine,
Éthylmorphine,
Norcodéine et
Pholcodine

lorsque:

a) Ces préparations contiendront un ou plusieurs autres composants de telle manière qu'elles ne présentent pratiquement pas de risque d'abus et que le stupéfiant ne puisse être récupéré par des moyens aisément mis en œuvre ou dans une proportion qui constituerait un danger pour la santé publique;

b) La quantité de stupéfiants n'excédera pas 100 milligrammes par unité de prise et la concentration ne sera pas supérieure à 2,5 pour 100 dans les préparations de forme non divisée.

2. Préparations de cocaïne renfermant au maximum 0,1 pour 100 de cocaïne calculée en cocaïne base et préparations d'opium ou de morphine contenant au maximum 0,2 pour 100 de morphine calculée en morphine base anhydre, et contenant un ou plusieurs autres composants de telle manière qu'elles ne présentent pratiquement pas de risque d'abus et que le stupéfiant ne puisse être récupéré par des moyens aisément mis en œuvre ou dans une proportion qui constituerait un danger pour la santé publique.

3. Préparations sèches divisées de diphénoxylate en unités d'administration contenant au maximum 2,5 milligrammes de diphénoxylate calculé en base et au moins 25 microgrammes de sulfate d'atropine par unité d'administration.

4. *Pulvis ipecacuanhae et opii compositus*

10 pour 100 de poudre d'opium
10 pour 100 de poudre de racine d'ipécacuanha,
bien mélangées avec
80 pour 100 d'un autre composant pulvérulent non stupéfiant.

5. Préparations correspondant à l'une quelconque des formules énumérées dans le présent Tableau, et mélanges de ces préparations avec toute substance ne contenant pas de stupéfiant.

Liste des stupéfiants inclus au Tableau IV

CANNABIS ET RÉSINE DE CANNABIS

DÉSOMORPHINE (dihydrodésoxymorphine)

HÉROÏNE (diacétylmorphine)

CÉTOBÉMIDONE (méta-hydroxyphényl-4 méthyl-1 propionyl-4 pipéridine)

Les sels des stupéfiants inscrits au présent Tableau, dans tous les cas où ces sels peuvent exister.

ケトベミドン (四メターヒドロキシフェニル-一メチル-四プロピオニルベリジン)
この附表IVに掲げる薬品の塩類が存在しうるときはその塩類

外務大臣

椎名 義郎

厚生大臣

伊田 博

内閣総理大臣

坂 本 栄 作

(右条約の英文及訳文)

SINGLE CONVENTION ON NARCOTIC DRUGS, 1961

PREAMBLE

The Parties,

Concerned with the health and welfare of mankind,

Recognizing that the medical use of narcotic drugs continues to be indispensable for the relief of pain and suffering and that adequate provision must be made to ensure the availability of narcotic drugs for such purposes,

Recognizing that addiction to narcotic drugs constitutes a serious evil for the individual and is fraught with social and economic danger to mankind,

Conscious of their duty to prevent and combat this evil,

Considering that effective measures against abuse of narcotic drugs require co-ordinated and universal action,

Understanding that such universal action calls for international co-operation guided by the same principles and aimed at common objectives,

Acknowledging the competence of the United Nations in the field of narcotics control and desirous that the international organs concerned should be within the framework of that Organization,

Desiring to conclude a generally acceptable international convention replacing existing treaties on narcotic drugs, limiting such drugs to medical and scientific use, and providing for continuous international co-operation and control for the achievement of such aims and objectives,

Hereby agree as follows:

ARTICLE I

Definitions

1. Except where otherwise expressly indicated or where the context otherwise requires, the following definitions shall apply throughout the Convention:

(a) "Board" means the International Narcotics Control Board.

(b) "Cannabis" means the flowering or fruiting tops of the cannabis plant (excluding the seeds and leaves when not accompanied by the tops) from which the resin has not been extracted, by whatever name they may be designated.

(c) "Cannabis plant" means any plant of the genus cannabis.

(d) "Cannabis resin" means the separated resin, whether crude or purified, obtained from the cannabis plant.

(e) "Coca bush" means the plant of any species of the genus erythroxylon.

(f) "Coca leaf" means the leaf of the coca bush except a leaf from which all ecgonine, cocaine and any other ecgonine alkaloids have been removed.

(g) "Commission" means the Commission on Narcotic Drugs of the Council.

(h) "Council" means the Economic and Social Council of the United Nations.

(i) "Cultivation" means the cultivation of the opium poppy, coca bush or cannabis plant.

(j) "Drug" means any of the substances in Schedules I and II, whether natural or synthetic.